



天皇杯

# 全日本柔道

## 選手権大会

令和6年

4月 **29** 日

祝

日本武道館

東西線・半蔵門線・都営新宿線 地下鉄「九段下」下車

9:00開場/10:00開始

テレビ放映

[NHK総合テレビ] 16:00～17:30 (予定)

[NHK BS1] 13:00～15:50 (予定)

主催◎(公財)講道館・(公財)全日本柔道連盟  
後援◎朝日新聞社・NHK・(公財)日本武道館  
特別協賛◎東洋水産株式会社

# Mobility Link

タイムズは、駐車場を含めたすべてのサービス拠点を、  
快適なモビリティライフを送るために必要不可欠な場所に変え、  
人々にとって魅力的な、モビリティ・リンクを形成していきます。



**We make life better**

当たり前になる快適さを、次々と。

(国内) パーク24株式会社 タイムズ24株式会社 タイムズモビリティ株式会社 タイムズサービス株式会社 タイムズコミュニケーション株式会社  
パーク24ビジネスサポート株式会社 タイムズサポート株式会社 タイムズイノベーションキャピタル合同会社  
(海外) 台湾普客二四股份有限公司 SECURE PARKING PTY LTD. TIMES24 SINGAPORE PTE. LTD.  
TIMES24 MALAYSIA SDN. BHD. NATIONAL CAR PARKS LIMITED

パーク24グループは、ニッポン柔道を応援しています。





大会会長  
**中村 真一**

先の能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復旧と復興を祈念いたします。

伝統の全日本柔道選手権大会が、本年も日本武道館において盛大に開催されるに至りましたことを大変喜ばしく思います。

本大会は、体重無差別で「小よく大を制す」という柔道本来の醍醐味を味わえる、男子柔道の日本一を決める大会です。長年、柔道関係者のみならず、多くの方々からの注目を集め、数多くの名勝負が繰り広げられてきました。本年も、全国10地区から選出された選手が、心技体の限りを尽くして頂点を目指します。

厳しい地区予選を勝ち抜いて本大会に出場する選手の皆様は、日本柔道界、そして社会全体を元気づけられるよう、日本中が注目する各地の代表としての誇りと自覚を持ち、日頃の鍛錬の成果を遺憾なく発揮し、日本一を目指していただきたいと思います。

さて、本連盟では、現代社会における柔道の役割と価値を再定義すべく、長期育成指針を策定しました。「みんなの柔道」というスローガンのもと、多様性を認め合い、性別、年齢の違いや障がいの有無にかかわらず、すべての人々が個人の成長を感じ、助け合う。このような自他共栄の精神が広がっていくよう、活動を続けていきます。柔道の「競技性」のみに固執せず、「人生の道」としての価値に焦点をあて、個人の成長、社会への貢献を目指していただきたいと思います。

おわりに、本大会を開催するにあたり、ご尽力いただいた関係各位に対し、厚く御礼を申し上げます。



## 目次

大会次第 .....	03
大会役員 .....	04
大会要項 .....	06
組合せ表 .....	08
出場選手一覧 .....	11

### 【特別企画】

前年優勝者インタビュー	王子谷剛志 .....	20
有力選手インタビュー		
令和2年全日本選手権優勝、令和4年準優勝	羽賀龍之介 .....	23
2021年世界選手権優勝	影浦 心 .....	25
10回出場記念インタビュー	原沢 久喜 .....	27

予想座談会 .....	29
出場選手データ .....	34
令和6年 地区予選主要記録 .....	36
全日本柔道選手権の記録 .....	49
令和5年 全日本柔道選手権大会 戦績表 & ダイジェスト .....	56

【連載】全日本選手権を彩った名選手たち Vol.11 .....	40
【特別寄稿】「柔道はルール以前に技がある」吉田寛治ー 津村弘三 .....	44

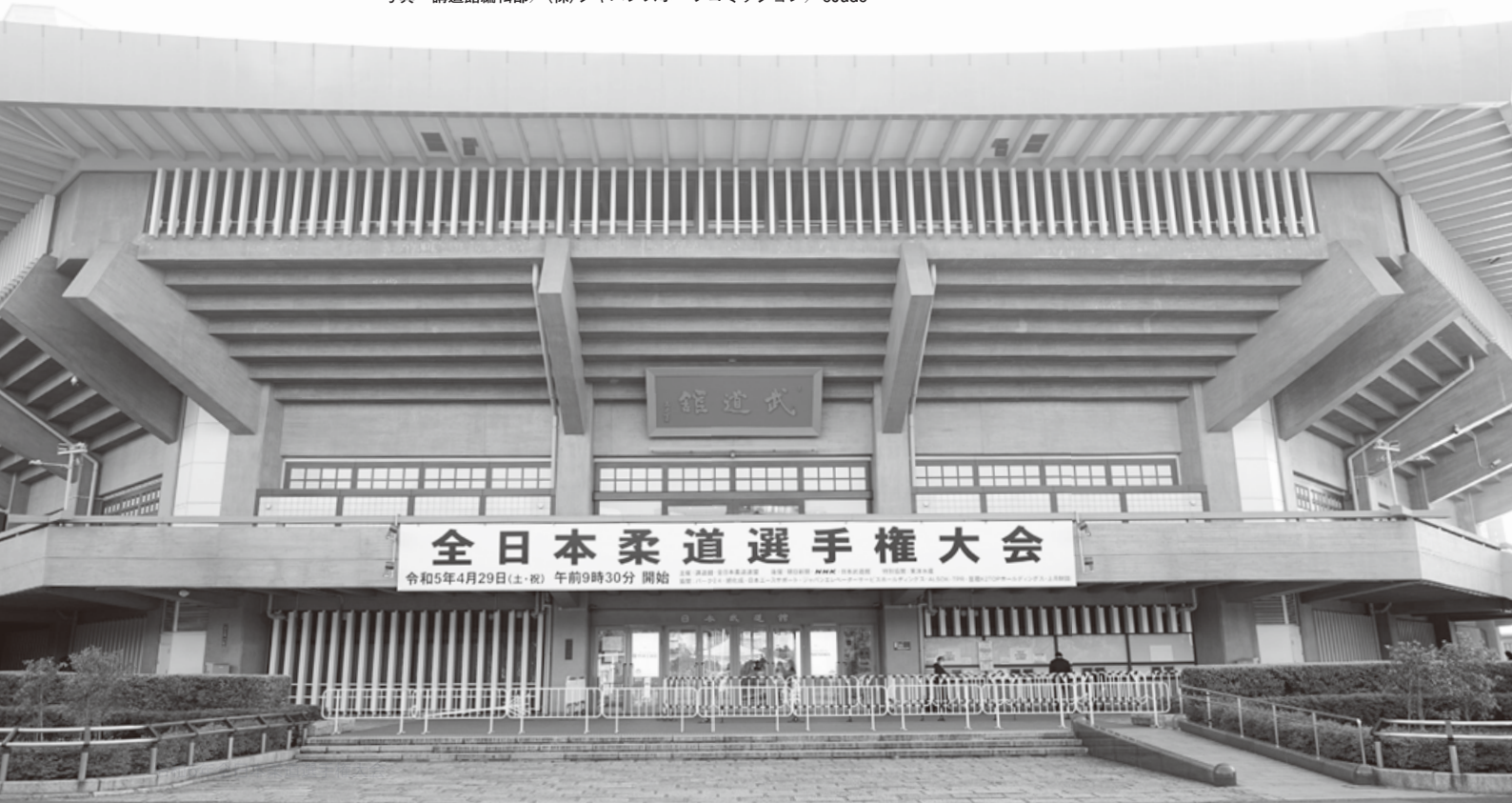
技名称一覧 .....	53
全日本選手権大会のルール .....	54

優秀指導者表彰 .....	51
大会係員 .....	80

2024パリ・オリンピック(7/27～8/3)日本代表 .....	58
-----------------------------------	----

2024世界選手権アブダビ大会(5/19～5/24)日本代表 .....	60
--------------------------------------	----

写真：講道館編輯部／(株)ジャパンスポーツコミッション／eJudo





## 開会式

1. 役員選手整列
2. 開会宣言 大会委員長 中里 壮也
3. 君が代斉唱
4. 会長挨拶 大会会長 中村 真一
5. 選手宣誓 選手代表 五段 羽賀龍之介
6. 10回出場表彰 原沢 久善
7. 役員選手退場
8. 優秀指導者表彰
9. 記者クラブ表彰
10. 投の形 取 六段 若菜 大介  
受 六段 赤坂 洋輔

## 試 合

1. 第一回戦 10試合
2. 第二回戦 16試合
3. 第三回戦 8試合
4. 第四回戦 4試合
5. 講道館護身術 取 七段 南保 徳双  
受 六段 有川 勇貴
6. 準決勝戦 2試合
7. 古式の形 取 八段 中西 英敏  
受 七段 松本 勇治
8. 決勝戦

## 閉会式

1. 役員選手整列
2. 成績発表
3. 表彰
4. 閉会宣言 大会副委員長 道場 良久
5. 役員選手退場



# 大会役員

〈敬称略・順不同〉

【名誉会長】	上村 春樹	山下 泰裕				
【会長】	中村 真一					
【副会長】	伊藤 一郎	西田 孝宏				
【顧問】	中村 史郎	稲葉 延雄	高村 正彦	室伏 広治	茂里 毅	遠藤 利明
	石井 淳子	沖永 佳史	露木 康浩	緒方 禎己		
【参与】	伊藤 鉄男	二村 雄次	福田 富昭	西川 徹矢	嘉納 明石	内海 章雄
	森 吉平	村田 啓子	東 行雄	天野安喜子	井手 孝浩	大迫 明伸
	尾形 敬史	小野沢弘史	川口 孝夫	小俣 幸嗣	塩澤 一彦	須坂 春樹
	高梨 幸輔	田中 等	千葉 翠	塚原 光男	鳥海又五郎	中谷 雄英
	二宮 和弘	藤田 弘明	細川 伸二	真砂 靖	柳澤 久	山本 洋祐
	山本 四郎	佐藤 宣践	関 勝治	園田 勇	五十嵐寛司	中村 良三
	遠藤 純男	梅津 勝子	諸井 三義	棟田 利幸	福島美智男	三上 和廣
	北 哲郎	加藤 弘人	郷田 博史	春日井淳夫	松井 勲	小志田憲一
	鮫島 元成	本郷 亮	山本 国博	黒田 一彦	鳥居 吉二	八本木通秋
	正木 嘉美	山藤 哲夫	小形 健二	中村 佳央	天野 玲子	高村江津子
	渡辺 涼子	塗師 純子	松田 基子	中村 淳子	田中秀一郎	佐藤 信英
	増地千代里	吉田 秀彦	岩下 富夫	藤村 利行	有井 克己	吉村 昭吾
	大西 誠	穴井 隆信	徳田 眞三	蘭 信三	石角 洋子	岩田 三代
	大江裕一郎	大森三起子	尾崎久仁子	桐原 弘毅	久保啓太郎	坂本 森男
	清水 昭子	園田 教子	谷本 歩実	塚崎 裕子	樋口 眞人	宗岡 正二
	近石 康宏	梶木 壽	笹木 正信	野瀬 清喜	小野山修平	三戸 範之
	岡泉 茂	小池 雅彦	吉田 敏男	山岸 裕二	高山 健	赤羽由加子
	高橋 進	鎌塚 智樹	森 英也	鯨井 甫	山本 良	金野 潤
	井上 康生	山田 利彦	上水研一朗	三上 靖夫	吉田 優也	山部 佳苗
	磯村 元信	木村 昌彦	小山 勝弘	與儀 幸朝	石井 孝法	立川 克雄
	平賀 秀忠	藤木 崇博	川人 芳正	豊嶋 弘文	平間 哲雄	村上 幸士
	平田 裕康	上田 重隆	野田 昭一	河原 月夫	今尾 省司	河本 英典
	火箱 保之	高澤 雅樹	吉村 昭吾	正司 直樹	高木 謙治	佐原 恭輔
	河津 修司	鳥居 敏文	吉川 英夫	先崎 卓歩	和田 訓	日比謙一郎
	長尾 淳彦	辻本 修	寛藤 次男	兒玉 篤	神谷 兼正	近藤 智子
	北村 康央	前田 肇	御嶽 知昭	古川 隆士	矢野 賢悟	薪谷 翠
	田川 晋治	奈木 宏昌	飯屋 力	松永 大吾	神谷 宣広	井汲 彰
	柿元 將希	中村 美里	年藤 忍	平岡 拓晃	山田 永子	岩崎 満
	清水 定明	鈴木 賢一	中島 政司	向井 廣志	高橋 一之	上江洲智明
	小堀 秀毅	川端 達夫	米山 徳彦	小茂田 敦	西村 泰彦	吉田 尚正



# 全日本柔道選手権大会

【委員長】中里 壮也

【副委員長】道場 良久

【委員】	貝瀬 輝夫	佐藤 正	高木 志行	石橋 桂子	秋山 澄子	若松 節子
	菅波 盛雄	菅原 正明	永井多恵子	齋藤 芳才	平沼 正治	宗 義明
	佐藤 幸夫	坂本 恒夫	三浦 照幸	平 文紀	鷹津 誠	佐藤 毅
	宇津木俊博	森脇 保彦	佐藤 勝	花岡 重喜	塩野 知継	河崎 武夫
	大橋 恵	手塚 政孝	林 弘典	廣瀬 伸良	久保田浩史	小谷 泰則
	松岡 義之	貝山 仁美	諏訪 剛	鉄谷 竜三	大川 和也	小嶋 新太
	金丸 雄介	塘内 将彦	小橋 秀規	加瀬 次郎	榎 義治	伊志嶺朝秋
	高橋 慎三	大島 修次	原田 新一	岩村 衡	福地賢志郎	高橋 宏明
	千品 洋一	竹澤 稔裕	新井 栄二	山本 弘樹	斉藤 制剛	瀧本 誠
	岡村 忠彦	竹渕 典子	中島 裕幸	奥 超雄	内海まゆみ	濱名三代子
	灰原 茉美	手島 奈美	萩野 元祐	橋本 眞二	柳浦 康宏	竹内 猛
	田村 和也	鮫島 康太	紺野 直能	大澤 利之	齊藤 志織	坂下 誠
	高木 志貴	大竹 雄介	井上 芳明	西幅 孝弘	佐久間俊輔	平野 弘幸
	向井 幹博	山本三四郎	眞喜志慶治	南保 徳双	大辻 広文	下山 陽邦
	秋山日向子	長沼 太	桐生 習作	畠山 洋平	藤中 拓馬	岩永 憲門
	有川 勇貴	深沢 規夫	木田 将量	岩渕 公一	永福 栄治	川島 一見
	大八木 諭	岡部 洋興	浅田 千秋	落合 俊保	本田 宗哉	小山 泰文
	西村 義人	吉井 利夫	山田 保行	黒澤 安博	青木 富雄	松戸 鶴男
	澁田 政盛	渡邊 建一	川嶋 直司	牧瀬 敏文	長田 好雄	星野 博
	市島大二郎	楢木 豊秀	濱本 敏典	松田 幸次	尻無 清孝	砂田 慶二
	菊地 雄司	長内 康生	鈴木 伝一	園田 雅明	高橋 健司	田辺 陽子
	高澤 雅宏					

【実行委員長】中里 壮也

【実行委員】	郷田 博史	加藤 弘人	道場 良久	松井 勲	小志田憲一	春日井淳夫
	高山 健	西田 孝宏	岡泉 茂	大迫 明伸	金野 潤	鳥海又五郎
	渡辺 軍三	松本 麻美	福田 健二			

【審判長】大迫 明伸

【審判委員】鯨井 甫

【審判員】	安藤 弥	金子 将也	武田 淳子	兒玉 篤	天野安喜子	大島 修次
	岡田 保彦	平野 弘幸	眞喜志慶治	近藤 克幸	山本 良	樽谷 哲子
	福岡 幸司	中橋 政彦	伊志嶺朝広			

【大会事務局】(事務局長)

(事務局員)

郷田 博史	黒田 正人	大塚 由香	渡辺 崇	竹村 誠司	蒲原 光一
関口 裕喜	城地 直輝	三浦 健一	向井 幹博	山本三四郎	
南保 徳双	大辻 広文	飯屋 力	長沼 太	畠山 洋平	
金子 浩幸					

# 大会要項

①期 日 令和6年4月29日(月・祝)午前10時00分開始(9時00分開場)  
②会 場 日本武道館  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5100

③主 催 公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟

④後 援 朝日新聞社、NHK、公益財団法人日本武道館

⑤特別協賛 東洋水産株式会社

⑥参加選手 (1)推薦選手

①前年度優勝者、準優勝者

②2023年世界柔道選手権大会優勝者

(2)地区選出選手

40名とし、地区別の選出数は以下のとおりとする。

北海道	東北	関東	東京	北信越	東海	近畿	中 国	四国	九州
2	2	6	10	2	2	6	2	2	6

(3)欠場の取り扱い

①推薦選手が欠場する場合は、これを補充しない。

②地区選出選手が欠場する場合

(ア)欠場が出た地区がこれを補充する。

(イ)地区が補充できない場合には、開催地区(東京)がこれを補充する。

(ウ)欠場の補充は、令和6年4月26日(金)12:00までに届出のあったものまで認める。

⑦出場資格 (1)日本国籍を有し、当該年度全日本柔道連盟に登録している者。

(2)地区選出選手は、その地区を構成する都道府県柔道連盟(協会)を通して、前年度の全日本柔道連盟登録手続きを行っており、その地区において居住、勤務、在学の実体の伴ういずれかの条件を満たしていること。

(3)卒業、転勤等により、実体の伴う現住所の変更、勤務する会社、通学する学校の変更がある場合には、変更先の地区から出場することができる。ただし、この場合は速やかに登録変更の手続きを行わなければならない。

⑧地区大会及び (1)各地区柔道連盟(連合会・協会)は、地区大会の日時・場所等が決定次第、大会事務局(講道館)まで連絡すること。

参加申し込み (2)各地区柔道連盟(連合会・協会)は、必要事項を記入した所定の選手名簿に地区大会の記録を添付し、令和6年3月20日(水・祝)迄に大会事務局に必着するよう提出すること。

(3)選手は、令和6年3月20日(水・祝)迄に全柔連HPから参加申込フォームに回答すること。

⑨審判規定 (1)国際柔道連盟試合審判規程および全日本柔道選手権大会申し合わせ事項にて行う。

①試合時間は、準決勝まで5分間、決勝戦は8分間とする。

②スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」2つで合せ技「一本」とする。抑え込みの時間は、20秒で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。

③「指導」による罰則は、4回目を与えられた時点で「反則負け」とする。

④試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行わず、旗判定にて僅少差をもって勝敗を決する。その基準は試合態度、技の効果と巧拙、及び反則の有無等を総合的に比較する。攻撃を高く評価するため「指導」の数のみを持って判定の材料とはしない。

(2)試合場は、10m×10mの試合場内とし、周囲に4mの安全地帯を設ける。

(3)2022年1月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。※詳しくは別紙参照全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。(主催者は予備の柔道衣を準備しない)

(4)また、今大会は、衛生上の理由で変更しなければならない場合のリザーブ柔道衣を主催者で用意しないため、各自で2着分用意することを推奨する。

⑩試合方法 トーナメント戦で行う。(敗者復活戦は行わない)

⑪組合せ抽選 令和6年3月27日(水)講道館において行う。

⑫選手経費 交通費および宿泊費は主催者が、規定に基づいて支給する。航空券及び特急券を含むJR乗車券等は、主催者が手配してチケットを送付する。

※交通の申し込み方法については、別紙申込書を参照のこと。



- ⑬審判会議 令和6年4月28日(日) 17:00～18:00 講道館本館3階 第1会議室にて行う。
- ⑭選手説明会 令和6年4月28日(日) 15:00～ 講道館新館2階 教室にて行う。
- ⑮表彰 優勝者、2位、3位(2名)、5位(4名)を表彰する。
- ⑯ドーピング検査 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
- ⑰その他
- (1)皮膚真菌症(トンスランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。大会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
  - (2)脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。
    - ・大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
    - ・大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。(受傷した時点で必ず専門医を受診すること)
    - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
    - ・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。
  - (3)傷害保険については、出場選手の傷害保険は、主催者が加入しその費用を負担する。本大会の会場において事故が発生した場合、予め主催者が手配した医師、看護師等の医療関係者が応急処置を行ったり、医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行わないことがあるが、これらの処置、判断等について故意または重過失が無い限り主催者、医療関係者は責任を負いません。
  - (4)個人情報、肖像権の取り扱いについて
    - ・参加申込フォームに記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページ、大会ホームページ、セイコースポーツリンクに掲載される場合がある。
    - ・全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
    - ・大会時に撮影する映像(ケアシステム等)を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合があります。
    - ・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。
    - ・参加申込フォームへの記載により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱い、及び下記に関する承諾を得たものとして対応する。
  - (5)大会事務局
 

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30

公益財団法人講道館 総務部

TEL 03-3811-7152 / FAX 03-3811-7151 / E-mail soumu@kodokan.org

## 【大会日程】

期日	時間	内容	場所
4月28日(日)	14:30～	選手受付(ID支給)	講道館新館2階 教室
	15:00～	選手説明会	講道館新館2階 教室
	17:00～18:00	審判会議	講道館本館3階 第1会議室
4月29日(月・祝)	08:30～	選手開場	
	09:00～	観客入場	
	10:00～	開会式	
	17:30～	閉会式	

# 令和6年全日本柔道選手権大会





# 全日本柔道選手権大会

22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
羽賀龍之介 HAGA Ryunosuke	高木 育純 TAKAGI Yasuyoshi	奥野 友輝 OKUNO Tomoki	佐藤 和哉 SATO Kazuya	畠山 竜弥 HATAKEYAMA Tatsuya	石内 裕貴 ISHIUCHI Yuki	グリーンカラニ海斗 GREEN Kalani kaito	横内 晋介 YOKOUCHI Shinsuke	川端 倖明 KAWABATA Koumei	近藤 弘孝 KONDO Hiroaka	影浦 心 KAGEURA Kokoro	廣海 隼人 HIROUMI Hayato	千野根有我 CHINONE Yuga	酒井 晃輝 SAKAI Kouki	尾方 寿應 OGATA Toshimasa	星野 太駆 HOSHINO Taku	原沢 久喜 HARASAWA Hisayoshi	新田 朋哉 NITTA Tomoya	小川 雄勢 OGAWA Yusei	後藤 龍真 GOTO Ryushin	佐藤佑治郎 SATO Yujiro	
5	4	3	3	3	4	3	4	3	5	5	3	4	3	4	4	5	3	3	3	3	
推 薦	四 国	近 畿	東 京	関 東	九 州	東 京	関 東	東 京	東 海	東 京	北 海 道	九 州	近 畿	関 東	北 信 越	中 国	近 畿	東 京	九 州	東 北	
旭化成(株)	香川県警察	大阪府警察	日本製鉄(株)	京葉ガス(株)	旭化成(株)	パーク24(株)	山梨県立農林高校教員	国士舘大学1年	愛知県警察	日本中央競馬会	北海道警察	旭化成(株)	東レエンジニアリング西日本(株)	神奈川県警察	新潟県警察	長府工産(株)	天理大学3年	パーク24(株)	旭化成(株)	山形県警察	
7	5	初	6	初	5	2	初	初	3	7	2	4	2	2	2	10	初	7	2	初	



# 満足したら、



クッタくん

# みんな笑顔。



しっかり麺とうまコクスープで  
満たされる。

MARUCHAN  
クッタ

# QTTA




東洋水産



令和  
6  
年

# 全日本柔道 選手権大会 出場選手一覧

整理 番号	地 区
	<div>なまえ <b>名前</b></div> <div>① 生年月日(年齢) ② 身長・体重 ③ 出身校 ④ 出身道場 ⑤ 予選出場都道府県 ⑥ 所属 ⑦ 出場回数</div> <div>主な戦績 ※全日本シニア選手権大会は開催年度を表記</div> <div>大会への意気込み</div>

選手  
プロフィール  
記載内容

開会式

9:30

礼儀は僕ら 得意技 洋水産

全日本柔道選手

AsahiKASEI 洋水産





1 推薦


おうじたに たけし

王子谷剛志 六段

①平成4.6.9(31歳)  
 ②186cm・145kg  
 ③東海大相模中学校・東海大相模高校・東海大学  
 ④やまびこ少年柔道クラブ  
 ⑤宮崎県  
 ⑥旭化成(株)  
 ⑦12回目

H26,H28,H29,R5全日本選手権優勝,H30 2位,R3 3位

昨年の優勝を自信に変えて準備してきました。隙を見せずに前に出る柔道を貫き通します。



2 中国

みの だいすけ

美濃 大将 五段

①平成6.5.21(29歳)  
 ②178cm・108kg  
 ③高島中学校・岡山理科大高校・岡山商科大学  
 ④岡山武道館  
 ⑤鳥取県  
 ⑥鳥取刑務所  
 ⑦2回目

2度目の出場を果たすことができましたので、応援してくださるすべての方に感謝の気持ちを持ち初戦突破を目指して頑張ります。



3 近畿

せきね きよたか

関根 聖隆 参段

①平成11.7.5(24歳)  
 ②173cm・100kg  
 ③灘中学校・桐蔭学園高校・筑波大学  
 ④港武館道場  
 ⑤滋賀県  
 ⑥日本エースサポート(株)  
 ⑦2回目

2018世界ジュニア(-100kg)優勝

今年からルールが変わり、自分の柔道スタイルの良さを発揮できる大会になったと思うので優勝を目指して頑張りたい。



4 関東

すなだ ゆうと

砂田 勇登 五段

①平成6.6.30(29歳)  
 ②180cm・112kg  
 ③相原中学校・国士館高校・国士館大学  
 ④相武館吉田道場  
 ⑤神奈川県  
 ⑥神奈川県警察  
 ⑦初出場

H27全日本学生体重別(+100kg)3位

初めての全日本選手権なので、一戦一戦全力で戦い抜いて楽しみたいと思います。応援の程よろしくお願いします。



5 東京

いしやま じゅんぺい

石山 潤平 参段

①平成9.8.10(26歳)  
 ②176cm・100kg  
 ③望海中学校・神戸国際大高校・天理大学  
 ④神刑ジュニア柔道クラブ  
 ⑤東京都  
 ⑥パーク24(株)  
 ⑦3回目

R3全日本実業個人(-100kg)優勝,R4 2位,R5 3位/R4全日本シニア(-100kg)優勝

3度目の全日本選手権大会を東京都から出場できることを嬉しく思います。優勝目指して頑張ります。



6 東京

とうべ なおき

東部 直希 参段

①平成11.7.13(24歳)  
 ②172cm・120kg  
 ③大成中学校・大成高校・日本大学  
 ④ミキハウス少年柔道教室  
 ⑤東京都  
 ⑥日本中央競馬会  
 ⑦初出場

R3全日本学生体重別(+100kg)2位/R4全日本実業個人(+100kg)2位/R4全日本シニア(+100kg)2位

本大会が初出場となりますが、気負うことなく自分の柔道を貫いて、初出場で初優勝を目標に頑張ります。





## 7 東海

しみず たくみ  
**清水 拓実** 四段

- ①平成9.4.18(27歳)
- ②185cm・145kg
- ③御野場中学校・秋田工業高校・東海大学
- ④御野場石川道場
- ⑤愛知県
- ⑥愛知県警察
- ⑦初出場

R5全国警察(+100kg)3位

応援して頂ける方や今の環境に感謝し自分らしい柔道を見せられるように精一杯全力で頑張ります。



## 8 近畿

にしお とおる  
**西尾 徹** 五段

- ①平成7.6.24(28歳)
- ②180cm・123kg
- ③大川中学校・天理高校・天理大学
- ④牟礼スポーツ少年団
- ⑤大阪府
- ⑥大阪府警察
- ⑦4回目

R4全国警察(+100kg)優勝/R4全日本シニア(+100kg)優勝

今まで積み重ねてきた練習の成果を最大限に発揮して、自分らしい柔道で一試合一試合を大切に戦い抜きます。府警魂!



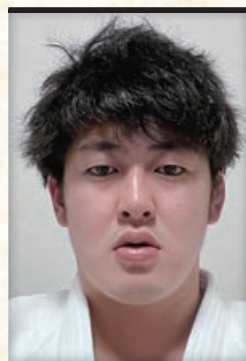
## 9 九州

おはら たくひと  
**尾原 琢仁** 四段

- ①平成6.11.18(29歳)
- ②193cm・130kg
- ③西代中学校・科学技術高校・筑波大学
- ④蟻クラブ
- ⑤宮崎県
- ⑥旭化成(株)
- ⑦7回目

H30全日本実業個人(+100kg)優勝/R4強化選手選考会(+100kg)3位

今年も全日本選手権に出場できることを嬉しく思います。一戦一戦全力で戦い勝てるよう頑張ります。



## 10 北海道

たかだ だいき  
**高田 大樹** 参段

- ①平成9.1.6(27歳)
- ②187cm・100kg
- ③土別中学校・旭川龍谷高校・星槎道都大学
- ④土別誠心館道場
- ⑤北海道
- ⑥旭川刑務所
- ⑦2回目

6年ぶりに本大会に出場するので、前回より思いきりのいい柔道ができるよう頑張りたいと思います。



## 11 近畿

なかの かんた  
**中野 寛太** 四段

- ①平成12.9.30(23歳)
- ②182cm・128kg
- ③天理中学校・天理高校・天理大学
- ④桜井市柔道連盟
- ⑤奈良県
- ⑥旭化成(株)
- ⑦6回目

R1,R4全日本学生体重別(+100kg)2位/R5講道館杯(+100kg)優勝/R6GSパリ(+100kg)3位

今年も全日本選手権という舞台に立てることを光栄に思います。憧れの舞台で優勝できるように一戦一戦全力で戦います。



## 12 東京

かがわ だいが  
**香川 大吾** 五段

- ①平成9.2.9(27歳)
- ②180cm・135kg
- ③可部中学校・崇徳高校・東海大学
- ④可部道場
- ⑤東京都
- ⑥ALSOK
- ⑦6回目

R4全日本実業個人(+100kg)優勝,R5 2位/R4講道館杯(+100kg)3位/R5,R6全日本選抜体重別(+100kg)3位

今年で6度目の挑戦です。一戦一戦、全力で戦い優勝を狙います。記録にも記憶にも残る、そんな戦いを魅せます。






13 四 国

むらかみ だい き

村上 大樹 四段

①平成7.6.26(28歳)  
 ②180cm・100kg  
 ③日本学園中学校・日本学園高校・日本大学  
 ④今治柔道会  
 ⑤愛媛県  
 ⑥愛媛県警察  
 ⑦初出場

名誉ある全日本柔道選手権大会に出場できることを誇りに思い、一戦一戦全力で戦い、1つでも多く上を目指します。



14 九 州

よしの あつ や

吉野 敦哉 参段

①平成9.5.18(26歳)  
 ②183cm・90kg  
 ③野田中学校・れいめい高校・鹿屋体育大学  
 ④野田柔道スポーツ少年団  
 ⑤鹿児島県  
 ⑥鹿児島刑務所  
 ⑦初出場

本大会初出場となり、日本武道館で試合ができる喜び、日頃からお世話になっている方々に感謝の気持ちをもちながら試合に挑んでいきたいと思ひます。



15 関 東


まえだ か ず や

前田 宗哉 四段

①平成7.6.11(28歳)  
 ②185cm・95kg  
 ③武蔵第六中学校・東海大浦安高校・東海大学  
 ④松前柔道塾  
 ⑤埼玉県  
 ⑥自衛隊体育学校  
 ⑦5回目

R1講道館杯(-90kg)3位/R4, H30全日本実業個人(-90kg)優勝, R3 3位/R5全日本シニア(-90kg)2位

今大会に出場できることを光栄に思ひます。見てる人が楽しいと思える試合をします!!



16 関 東

おうりょう じりゅう せい

押領司 龍星 参段

①平成12.12.27(23歳)  
 ②175cm・96kg  
 ③成田西中学校・足立学園高校・國學院大学  
 ④成田柔道教室・矢野道場田中塾  
 ⑤千葉県  
 ⑥京葉ガス(株)  
 ⑦初出場

R3全日本学生体重別(-90kg)優勝/R5全日本実業個人(-90kg)3位

全日本選手権は小さい頃から憧れていた夢の舞台です。何か爪痕を残せるよう精一杯頑張りたいと思ひます。



17 東 京

いい だ けん た ろ う

飯田健太郎 四段

①平成10.5.4(25歳)  
 ②190cm・99kg  
 ③大野北中学校・国士館高校・国士館大学  
 ④湘南宮本塾  
 ⑤東京都  
 ⑥旭化成(株)  
 ⑦4回目

R3全日本選抜体重別(-100kg)優勝, R4 3位/2022GSブダペスト(-100kg)優勝, GS東京(-100kg)2位

全日本選手権という特別な大会に今年出場できることを光栄に思ひます。4度目の大会出場、優勝狙い戦います。



18 東 北

あ べ た く ま

阿部 拓馬 参段

①平成11.7.25(24歳)  
 ②176cm・95kg  
 ③最上中学校・新庄東高校・筑波大学  
 ④新庄錬成会、戸沢道場  
 ⑤山形県  
 ⑥山形県警察  
 ⑦2回目

応援して頂いている方々への感謝を忘れずに、1つでも多く試合ができるように頑張ります。





## 19 九州

まつゆき なおと  
**松雪 直斗** 五段

- ①平成4.11.20(31歳)
- ②180cm・120kg
- ③鳥栖中学校・東海大相模高校・東海大学
- ④鳥栖少年柔道会
- ⑤福岡県
- ⑥福岡県警察
- ⑦2回目

H30全国警察(+100kg)優勝/R5全日本シニア(+100kg)3位

日頃から応援、サポートをいただいている方々へ感謝の気持ちを持って最後まで精一杯戦います。



## 20 北信越

まるやま こうし  
**丸山 晃志** 参段

- ①平成11.4.22(25歳)
- ②168cm・95kg
- ③白根第一中学校・神戸国際高校・天理大学
- ④白根柔道連盟鳳雛塾
- ⑤新潟県
- ⑥新潟県警察
- ⑦初出場

このような大会に出場できることに感謝しています。自分の持っている力を全てぶつけて戦います。



## 21 東京

はまだ てった  
**濱田 哲太** 参段

- ①平成15.7.31(20歳)
- ②174cm・104kg
- ③修徳中学校・修徳高校
- ④警視庁武蔵野警察署少年柔道会
- ⑤東京都
- ⑥日本大学3年
- ⑦初出場

R4全日本ジュニア(-100kg)3位

昔からテレビで見ていた憧れの全日本選手権に出ることができて嬉しいです。しかし今回は憧れなどは捨てて仲間、家族、先生への感謝の気持ちを忘れずに頑張ります。



## 22 推薦

は がりゅうのすけ  
**羽賀 龍之介** 五段

- ①平成3.4.28(33歳)
- ②188cm・100kg
- ③六角橋中学校・東海大相模高校・東海大学
- ④朝飛道場
- ⑤東京都
- ⑥旭化成(株)
- ⑦7回目

R2全日本選手権優勝,R3,R5 2位/2015アスタナ世界選手権(-100kg)優勝/2016リオ五輪(-100kg)銅メダル

日頃応援してくれている方々に対して、感謝の気持ちを持って最後まで精一杯戦います。



## 23 四国

たかぎ やすよし  
**高木 育純** 四段

- ①平成9.2.19(27歳)
- ②173cm・93kg
- ③灘中学校・神戸国際大高校・天理大学
- ④社少年柔道
- ⑤香川県
- ⑥香川県警察
- ⑦5回目

本大会で5度目の出場。昨年より良い結果を出せるよう、自分自身どこまで行けるかチャレンジャーとして挑みたい。



## 24 近畿

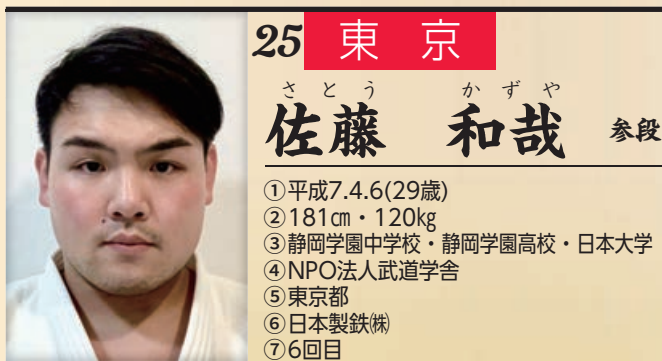
おくの ともき  
**奥野 友輝** 参段

- ①平成11.11.11(24歳)
- ②180cm・100kg
- ③寝屋川第三中学校・東海大大阪仰星高校・関西大学
- ④守口東部少年柔道教室
- ⑤大阪府
- ⑥大阪府警察
- ⑦初出場

R5全国警察(-100kg)3位

大阪府警察のスローガンである「捲土重来」を胸に、1試合1試合全力で試合したいと思います。府警魂!





## 25 東京

さとう かずや  
**佐藤 和哉** 参段

- ①平成7.4.6(29歳)
- ②181cm・120kg
- ③静岡学園中学校・静岡学園高校・日本大学
- ④NPO法人武道学舎
- ⑤東京都
- ⑥日本製鉄㈱
- ⑦6回目

R2講道館杯兼選抜体重別(+100kg)2位/R3全日本選抜体重別(+100kg)優勝

日頃の皆様からの応援、この大会に出場できること、  
全てに感謝をして精一杯戦います。



## 26 関東

はたけやま たつや  
**畠山 竜弥** 参段

- ①平成12.2.3(24歳)
- ②180cm・100kg
- ③中野第十中学校・東海大浦安高校・山梨学院大学
- ④松前柔道塾
- ⑤千葉県
- ⑥京葉ガス㈱
- ⑦初出場

R4全日本実業個人(-100kg)優勝

初の全日本選手権出場になります。応援してくださ  
る方に感謝し、一戦一戦を全力で戦います。



## 27 九州

いしうち ゆうき  
**石内 裕貴** 四段

- ①平成5.4.2(31歳)
- ②183cm・105kg
- ③大刀洗中学校・高水高校・天理大学
- ④大刀洗豪武館
- ⑤宮崎県
- ⑥旭化成㈱
- ⑦5回目

R2全日本選手権3位/R1講道館杯(-100kg)3位/R1,R5全日本実業個人(-100kg)優勝/R5全日本シニア(-100kg)優勝

3年ぶりにこの大会に出場できることを大変嬉しく思  
います。一戦一戦集中して全力で戦います。



## 28 東京

ぐりーん からにかいと  
**グリーンカラニ海斗** 参段

- ①平成14.1.29(22歳)
- ②181cm・100kg
- ③文京第一中学校・日体大荏原高校・日本体育大学
- ④春日柔道クラブ
- ⑤東京都
- ⑥パーク24㈱
- ⑦2回目

R5全日本選抜体重別(-100kg)2位/R4講道館杯(-100kg)2位,R5 3  
位/2022GS東京(-100kg)3位

柔道家の憧れの舞台で戦うことは光栄です。全力  
で戦って優勝目指して頑張ります。応援のほどよろ  
しくお願いします。



## 29 関東

よこうち しんすけ  
**横内 晋介** 四段

- ①平成10.4.17(26歳)
- ②174cm・95kg
- ③石和中学校・日川高校・筑波大学
- ④石和柔道会
- ⑤山梨県
- ⑥山梨県立農林高校教員
- ⑦初出場

H30全日本学生体重別(-90kg)2位/H30全日本ジュニア(-90kg)3位

自分の柔道で一番大きな大会となるため、全力を  
尽くしていく。また、教員として教え子たちに目標  
に向かって挑戦する姿勢を見せられるように頑張  
りたい。



## 30 東京

かわばた こうめい  
**川端 倅明** 参段

- ①平成17.11.5(18歳)
- ②175cm・90kg
- ③船橋旭中学校・国士舘高校
- ④中山柔道会
- ⑤東京都
- ⑥国士舘大学1年
- ⑦初出場

R6全日本選抜体重別(-90kg)2位/R5講道館杯(-90kg)3位/R4,R5イ  
ンターハイ(-90kg)優勝/R5全日本ジュニア優勝/2023世界ジュニア  
(-90kg)優勝

小内刈でどこまでも追いかけ、背負投をかけまくり、  
寝技で蟻地獄に引きずりこむようなしぶとい戦いで  
優勝します。





## 31 東 海

こんどう

ひろたか

近藤

弘孝

五段

- ①平成6.7.23(29歳)
- ②194cm・120kg
- ③六ツ美北中学校・星城高校・東海大学
- ④岡崎県柔道会
- ⑤愛知県
- ⑥愛知県警察
- ⑦3回目

R4全国警察(+100kg)2位

力を出し切ること。1つでも多く勝ち上がる。昨年届かなかったベスト8を目標とする。



## 32 東 京

かげうら

こころ

影浦

心

五段

- ①平成7.12.6(28歳)
- ②180cm・120kg
- ③松山西中学校・新田高校・東海大学
- ④松前柔道会
- ⑤東京都
- ⑥日本中央競馬会
- ⑦6回目

R4全日本選手権2位/R6全日本選抜体重別(+100kg)2位H/30.R2講道館杯(+100kg)優勝/2021ブダペスト世界選手権(+100kg)優勝

歴史のある全日本選手権に出場できることを噛み締めながら気持ちのこもった試合をしたいです。



## 33 北海道

ひろうみ

はやと

廣海

隼人

参段

- ①平成10.9.10(25歳)
- ②174cm・122kg
- ③札幌中学校・札幌山の手高校・近畿大学
- ④北区体育館少年少女柔道クラブ
- ⑤北海道
- ⑥北海道警察
- ⑦2回目

昨年は初戦敗退に終わったので、貪欲に勝つことだけを考えて全日本選手権での初勝利を掴みたいと思います。



## 34 九 州

ちのねゆうが

千野根有我

四段

- ①平成12.10.7(23歳)
- ②186cm・133kg
- ③生野中学校・桐蔭学園高校・筑波大学
- ④田島柔友会
- ⑤宮崎県
- ⑥旭化成(株)
- ⑦4回目

R3全日本学生体重別(+100kg)3位/R5全日本シニア(+100kg)3位

今大会4度目の出場となります。去年よりもパワーアップした姿を見せることができるように1戦1戦全力で戦います。



## 35 近 畿

さかい

こうき

酒井

晃輝

参段

- ①平成13.7.14(22歳)
- ②185cm・115kg
- ③福井工業大福井中学校・福井工業大福井高校・天理大学
- ④金井学園Jr.柔道クラブ
- ⑤奈良県
- ⑥東レエンジニアリング西日本(株)
- ⑦2回目

R5全日本学生体重別(+100kg)優勝

新社会人となり初めての全日本選手権大会では一戦一戦全力で戦い1回でも多く戦えるように頑張ります。



## 36 関 東

おがた

としまさ

尾方

寿應


四段

- ①平成8.3.29(28歳)
- ②175cm・81kg
- ③東海大相模中学校・東海大相模高校・東海大学
- ④朝飛道場
- ⑤神奈川県
- ⑥神奈川県警察
- ⑦2回目

H27全日本学生体重別(-81kg)3位/H30全日本実業個人(-81kg)3位

夢の舞台である全日本選手権に出場できることを誇りに思います。全力を尽くして頑張ります。





37 北信越

ほしの

たく

星野

太駆

四段

①平成10.11.17(25歳)  
 ②180cm・120kg  
 ③相原中学校・作陽高校・東海大学  
 ④白根柔道連盟鳳雛塾  
 ⑤新潟県  
 ⑥新潟県警察  
 ⑦2回目

全日本の畳に立てることを嬉しく思います。去年は1回戦敗退と悔しい思いをしましたので、感謝の気持ちを忘れず一戦必勝で頑張ります。



38 中国

はらさわ

ひさよし

原沢

久喜

五段

①平成4.7.3(31歳)  
 ②191cm・120kg  
 ③日新中学校・早稲高校・日本大学  
 ④大西道場  
 ⑤山口県  
 ⑥長府工産(株)  
 ⑦10回目

H27,H30全日本選手権優勝,H25,H28,R4 3位/R4全日本選抜体重別(+100kg)3位/2016リオ五輪(+100kg)銀メダル/2018バクー世界選手権(+100kg)3位,2019日本世界選手権(+100kg)2位

今大会で10回目の出場となりました。初心を思い出し、自分らしい柔道で戦い抜きます。



39 近畿

にった

ともや

新田

朋哉

参段

①平成16.3.5(20歳)  
 ②174cm・100kg  
 ③天理中学校・天理高校  
 ④振武館柔道場  
 ⑤奈良県  
 ⑥天理大学3年  
 ⑦初出場

大学生として出場できることに感謝して、天理の学生として会場を盛り上げられるような試合をしたいです。



40 東京

おがわ

ゆうせい

小川

雄勢

参段

①平成8.7.20(27歳)  
 ②190cm・135kg  
 ③修徳中学校・修徳高校・明治大学  
 ④小川道場  
 ⑤東京都  
 ⑥パーク24(株)  
 ⑦7回目

H30,H31,R4全日本選手権3位/R4全日本選抜体重別(+100kg)優勝,H30,R3 2位/2022GSウランバトル(+100)3位

今年も本大会に出場できることを嬉しく思います。応援してくれる方の為にもベストを尽くします。



41 九州

ごとう

りゅうしん

後藤

龍真

参段

①平成11.1.3(25歳)  
 ②182cm・100kg  
 ③鎮西中学校・鎮西高校・東海大学  
 ④尚志館  
 ⑤宮崎県  
 ⑥旭化成(株)  
 ⑦2回目

R1全日本学生体重別(-100kg)2位/R5全日本シニア(-100kg)2位

日本武道館での全日本選手権大会は初めての経験です。一戦一戦確実に勝ち上がり、上位入賞を目指します。



42 東北

さとう

ゆうじろう

佐藤

佑治郎

参段

①平成14.2.26(22歳)  
 ②168cm・81kg  
 ③櫛引中学校・羽黒高校  
 ④櫛引柔道スポーツ少年団  
 ⑤山形県  
 ⑥山形県警察  
 ⑦初出場

学生の頃から憧れの大会だったので、悔いの残らないよう全力で試合に臨みたいと思います。



# *Timing*

未来につながる一瞬のために。

TEAM SEIKO

OFFICIAL TIMER  
**SEIKO**



令和5年全日本王者

# 王子谷剛志

応援してくれている人、  
支えてくれている人に  
感謝を持って戦う。  
いまも進化している自分を見せたい

昨年、6年ぶり4度目の優勝を成し遂げた王子谷剛志(31歳／旭化成)。その復活優勝にはどんな秘密が隠されていたのか。出場回数12回、ベテランと言われる現在もさらに「進化」を続ける王子谷に、現在の稽古、トレーニングについて、そして今年の大会をどう戦い、どのように勝つのかを聞いてみた。

聞き手◎林 毅



——まずは、昨年の優勝についてお話を聞かせてください。

**王子谷** 昨年は、正直、自分では優勝できると思っていなかったのですが、優勝後のインタビューであえて「奇跡」という表現をさせていただいたんですけど、周りの皆さんからは、「奇跡でもなんでもなし」と言われまして(笑)。——優勝しても、全然おかしくないよ。

**王子谷** そうですね。

——ただ、6年優勝から遠ざかっていたこと、宮崎に拠点を移したことなどを考えると、よく復活優勝したなどというのはありますよね。

**王子谷** はい。でも、実際には環境の変化が私を強くしてくれたと思っています。宮崎に来ていなかったらこの優勝もなかったんじゃないかなと思うんです。

——具体的には、宮崎に行くとどのような変化があったのでしょうか？

**王子谷** 昨年の大会の時に公表させていただいたんですが、無事に女の子が生まれて父親になりました。宮崎に来てから、家族や職場の皆さんの応援というのが、私の原動力になっていることをすごく感じますし、宮崎では仕事でいろんな人と会う機会があり、その際も多くの方に「全日本選手権がんばってください」という激励を、直接いただいたりします。声援がより近くなったことも優勝できた要因だと思います。柔道においても、自分を見つめ直す時間ができ、勝つ方法や手段を再構築したことも大きいと思います。

——練習相手の人数も少なく、恵まれた環境ではないという気がするのですが？

**王子谷** たしかに人数は少ないですけど、一人ひとりが強いですし、質の高い稽古ができているという実感はあります。あとトレーニングに関しては非常に充実していて、外には山があったり長い階段があったり、自分を追い込む場所がかなりあって、そういったところから強くなっているのかなとは思っています。私のネガティブな部分はやはりスタミナで、年齢を重ねることで普通は落ちていくものですが、今の私においては、逆に向上して、それが強みになっています。従来の私の柔道は、技一発一発に100%、120%の力を込めて全力でぶち当たっていくスタイルでしたが、それには限界があると。でも、出力高い技でないと投げることはできないので、どうしたらその回数を減らしつつ相手を追い詰められるのかを考え、戦術も変えてきたというのはあります。皆さんが考える王子谷剛志の柔道とは少し違うかもしれないのですが、昔からの柔道を貫いて負けを重ねるのか、それとも進化して勝利を求めるのかと考え、私は進化することを選んで、いま進んでいるという段階です。ベテランと言われる年齢ですが、あえて『進化』を目指したいと思っています。

——素晴らしい！体調も良さそうですね。

**王子谷** 一人暮らしの頃は、栄養バランスまで考えていなかったのですが、今は一日3食、栄養バランスを考えた妻の食事を食べて、体調もすごくいいです。

——さて、今年の大会についてうかがいたいと思います。王子谷選手は2回戦からの登場で、相手は美濃大将選手です。

**王子谷** 初戦の入りは非常に大事だと思っています。美濃選手と対戦したことはありませんが、データのない選手に、今まで何回も痛い目に遭わされているので、事前に調べて臨みたいと思います。ただ、慎重に戦うのではなく、考えていることを積極的にやる。「慎重に」と考えると、その時点で後手になるので、気持ちで前面に出たいと思います。去年優勝できたのも、勝因の一つは、そこだと思うので。

——3回戦は、関根聖隆選手、砂田勇登選手、石山潤平選手のいずれかですが。

**王子谷** 石山選手とは東京選手権で一度やったことがあります。関根選手は対戦したことはありませんが、相手の攻めるチャンスを消す戦い方が上手な選手だということは理解しているので、これからもう少し研究して、どう戦うか詰めていきたいと思います。

——4回戦は、誰が上がってくるでしょう？

**王子谷** 西尾(徹)選手か東部(直希)選手ですかね。尾原(琢仁)の可能性も十分にあると思います。私としては、誰が来てでもいいように準備しておくだけです。

——準決勝には誰が上がってくると予想しますか？ 会社の後輩、中野寛太選手の前評判が高いようですが。

**王子谷** 中野は去年の全日本実業団体あたりから急激に伸びた印象がありますね。実業団体で小川雄勢選手に勝って団体優勝を決めたのが自信になっていると思います。初戦、選抜体重別と同じ香川(大吾)が相手ですが、面白い試合になると思います。

——中野選手の他にも、このブロックには飯田健太郎選手、前田宗哉選手などがいます。

**王子谷** 誰が来ますかね…。やりたい選手で言えば、高校・大学の同級生の松雪(直斗・福岡県警察)ですけど、やはり中野ですかね。——中野選手との対戦成績は？

**王子谷** 1勝1敗。全日本選手権(平成31年)で勝って、選抜(令和3年)で負けています。——練習をやることは？

**王子谷** 普段、彼は天理なのでやっていませんが、年に何回か、旭化成の部員全員が集まって練習する時は、1日2～3本やりますね。——王子谷選手、昔はあまりライバルになる選手とは練習しなかったですよね？

**王子谷** 今は誰とでもやります、断るのはやめたので。昔から、もっと楽観的というか、

余裕のある考え方をしていればよかったなと、今となれば思います。ただ、自分を変えることで成長できるというのも理解できたので、それはそれでよかったのかなと思っています。——中野選手とは、どう戦いますか？

**王子谷** 5分間なので、受けていたら中野の一本的な攻めで終わってしまう。自分から仕掛けることが大切になるでしょうね。

——警戒している技は？

**王子谷** 内股が伸びますね。あと、払腰も伸びてきます。で、それを警戒しているとすごい足技がボンボン飛んでくる。本当にびっくりするくらい足技が効くんですよ。

——その技を警戒しつつ戦うと……。では、決勝にいきますが、誰が勝ち上がってくると思いますか？

**王子谷** 反対側のブロック、かなり難しいですね。同世代と戦いたいという気持ちもあるので、羽賀(龍之介)先輩か原沢(久喜)選手に上がってきてほしいですが、佐藤和哉選手、影浦心選手も強くなっていますからね。

——決勝は8分ですね。

**王子谷** 8分攻め続けるのは難しいと思うので、どこで攻め込み、印象付けるかということも考えないといけない。試合の駆け引きが必要になると思います。ただ、判定となると審判の見方があります。自分の試合を客観的に判断するのはなかなか難しいですし、自分で判断することで墓穴を掘ってしまうこともあります。展開によっては判定になるかもしれないですけど、しっかりと印象点を取った上で、ポイントを重ねることが大切になる。誰がどう見てもこちらに上げるくらいの差を見せないといけないとは思っています。

——優勝すれば5回目、山下泰裕さん(9回)、小川直也さん(7回)に続く、歴代単独3位の大記録です。

**王子谷** 5回目というのはあまり意識していませんが、一つ言えることは、今年連覇できるのは自分だけなので、本来はあまりそういう重みを感じて試合をするタイプではないんですが、今回に関してはその重みを感じながら戦おうと思っています。それと、応援してくれている人、支えてくれている人に感謝を持って戦いたい。今も進化している自分をお見せしたいと思います。

(電話取材／4月11日)



令和5年決勝。王子谷の意表を突いた左の一背負投。この背負投で王子谷は流れを掴んだ。31歳を超えても王子谷の「進化」は止まらない

君たちが未来だ。



旭化成に柔道部があることをご存知でしょうか。

いくつもの国際大会で優勝者を輩出しています。

そんな実力を持つ部員たちが、

ドイツでも柔道教室を開いています。

集まってくれるのは、主に小中学生の子どもたち。

初めてのことに戸惑う。

悔しい思いをする。

そしてある時、夢中になっている自分に気づく。

そんな姿を、何度も見てきました。

未来はいつだって、子どもたちの中にあります。

私たちはこれからも、

子どもたちの可能性をひらく活動を

つづけてゆこうと思います。

**AsahiKASEI**

*Creating for Tomorrow*



令和2年全日本王者

HAGA Ryunosuke

# 羽賀龍之介

「いい準備ができている。  
相手が誰でも優勝したい気持ちは  
変わらない。すべてを出し切って戦う！」

令和2年優勝、3年準優勝、5年準優勝。ここ4年間で3回ファイナリストになっている羽賀龍之介(33歳／旭化成)。今大会は最年長選手として選手宣誓も務めるベテランだ。昨年11月に強化指定辞退届を提出し、この全日本選手権一本に絞って準備を進めてきた。羽賀の代名詞、切れ味鋭い内股に注目だ！

聞き手◎林 毅



——今年是最年長、選手宣誓です。

**羽賀** 薄々感じていたんですよ、年上の選手がいないって(笑)。そうですかあ。

——選手宣誓した選手の優勝というのは、調べないとわからないですけど、おそらく初だと思います。期待しております！さて、さっそくですが、調子はいかがですか？

**羽賀** 順調ですね。去年の全日本選手権以降、6月の実業団体の準決勝と決勝だけしか試合してないですし、昨年11月に強化指定選手を辞退して、この全日本選手権に向けての準備ということで長い時間をかけているので、いい準備ができています。今までは試合が多くて身体を酷使してきましたし、全日本選手権に関しても、選抜体重別直後ということで、身体でもですけど、優勝すれば気持ちが抜けてしまったりして調整が難しかったというのはありましたから。いまは全日本選手権に、気持ちをフルに持っています。

——ベストの状態の羽賀選手が見られるというのは楽しみですね。いま練習は東海大で？

**羽賀** はい。最近は出稽古も行っていませんが、グランドスラム東京の前後で、外国人選手がけっこう来たり、いい練習ができています。

——今年の大会の大きなトピックとしては、ルールの変更があるかと思います。羽賀選手としてはいかがですか？

**羽賀** 今回私は推薦なので、予選は出ていないのですが、地区によっては、昨年までのルールで予選をしているので、そのあたりはどうかかならなかったのかなと思いますね。ルールによって選手の強さは変わりますし、準備も違いますから、本戦に出場する選手も変わった可能性もあると思うんです。

東京都選手権を見に行っただんですが、私が

初めて全日本選手権に出た時は判定で決着がつくルールだったので、私自身はまだわかるんですが、シニアにデビューした時からゴールデンスコアで戦っている選手は、判定に動揺しているところも見受けられました。

——審判の方々にも不慣れな感じがありましたし、「指導」のタイミングも審判によって違うように感じました。審判も大変でしょうね。

**羽賀** いや、本当に大変だと思います。「指導」に関して言うと、このルールにおける「指導」は、IJFルールと重さが違って、「カード1枚」くらいな感じだと思うんです。「指導」3つで反則負けというルールに慣れている選手たちの戦い方に、このルールがどう影響するのか、正直わからないですよ。

——ルールの話だけで終わってしまいそうなので、ここからは、実際の今年の羽賀選手の試合についての話をさせていただきたいと思います。羽賀選手は今大会第2シード。2回戦の高木育純選手が最初の相手となります。

**羽賀** 高木選手は大きくないですけど、天理らしい、大胆な攻めをするいい選手ですよ。相当研究してくるでしょうけど、それを上回る準備と気持ちで戦いたいと思いますね。

——3回戦には誰がくると思いますか？奥野友輝選手、佐藤和哉選手、畠山竜弥選手？

**羽賀** 畠山選手は、担ぎ技を得意としていてこのルールにあった選手ですよ。でも、実力で言うとならば佐藤選手ですかね。東京都選手権も落ち着いて柔道をしていましたが、足技とか強烈で、かなり強かったですね。

——準々決勝には誰がくるのでしょうか？

**羽賀** 石内(裕貴)、グリーン(カラニ海斗)、近藤(弘孝)あたりだと思いますが、会社の後輩の石内に上がってきてほしいですね。一時

期調子を落としていましたが、それを乗り越えて、最近の石内は強いですよ。

——18歳の川端倅明選手はいかがでしょう？

**羽賀** 選抜を見ても、なかなかしぶとい、ちゃんと柔道ができる、勝負勘の鋭い選手だと思いますね。でも、まだこの選手に勝たせちゃダメでしょという気はします。

——準決勝の相手は誰を想定しますか？

**羽賀** 影浦(心)、小川(雄勢)、原沢(久喜)。やりたいのは原沢選手ですね、今まで試合したことがないので。原沢選手とはリオ五輪の時によく練習したんですが、やはり技の威力が100kg級とは違うんですよ。原沢選手とやることになったら、自分の技術を全部あてたいですね。消耗戦になっても負けない体力を試合までに準備しておきます。激しい試合になるんじゃないですかね。

——お二人の全力勝負、ぜひ見たいです！

さて、決勝ですが。

**羽賀** 王子谷に昨年のリベンジをしたいというのはあまりなくて、どちらかというと、若い中野寛太とやりたいという気持ちですね。ただ、どちらが上がってきても、自分が優勝したいという思いは変わりませんので、すべてを出し切って戦います。(電話取材／4月9日)



昨年の3回戦。切れ味抜群、伝家の宝刀・内股で安田夢飛に一本勝ちした羽賀。今大会も羽賀の内股を見逃すな！



人と社会とともに。  
ずっと。

どんな時も、私たちは走る。

どんな時代でも、私たちは走り続ける。

この先も、この道を。

未来へ、走り続ける。

70<sup>th</sup>

ANNIVERSARY

〔 JRAの主な社会貢献活動 〕



環境への取組み  
(東京競馬場)



ホースパーク  
(キッザニア甲子園) 出展



畜産振興への支援



伝統馬事芸能の保存事業  
(チャグチャグ馬コ)



地域社会との連携・協調  
(小学校出張授業)



乗馬の普及・馬術の振興



在来馬の保存事業  
(御崎馬)

 馬券は20歳になってから、ほどよく楽しむ大人の遊び/競馬場・ウインズへは電車・バスで/馬券は正規の窓口で



## 2021年世界選手権優勝

KAGEURA Kokoro

# 影浦 心

「優勝しか見ていないですし、  
今年は、死ぬ気で獲りに行く。  
見ている人が感動する試合をしたい!」

今大会が出場7回目の影浦心(28歳/日本中央競馬会)。優勝候補の一人として名を挙げられながら、準決勝前に姿を消す大会が続いたが、一昨年、ついに壁を破り決勝へ進出。決勝では斉藤立に14分を超える死闘の末に惜敗したが、堂々の準優勝を果たした。「優勝しか見ていない。死ぬ気で獲りにいく!」と闘志を燃やす。

聞き手◎林 毅



——一昨年(令和4年)の全日本選手権では決勝へ進み、斉藤立選手との死闘の末、惜しくも準優勝でした。あの大会に関してはどのように考えていますか？

**影浦** そうですね、それまで準々決勝を突破できない自分がいたので、そこを超えられて、一つ前に進めたかなと。全日本では下の階級の選手にしか負けていないんですけど、その苦手意識が克服できた大会だと思います。

——さて、影浦選手にとって2年ぶりの全日本。今年の大会の顔ぶれを見ると、ベテランがとても元気ですし、強いそうですね？

**影浦** 本当に強いです。

——羽賀龍之介選手、王子谷剛志選手、原沢久喜選手、30代3人が優勝候補に名を連ねています。影浦選手とすれば、ここらでしっかりと力を見せつけたいところですね。

**影浦** 本当にその通りですね。今年は、組み合わせ的にもチャンスだと思いますし、ルールの自分に向いていると思うので、今年こそ優勝する、という思いは強いです。

——たしかに影浦選手の柔道スタイルを考えると、向いていそうですね。

**影浦** でも、東京都選手権で今回のルールを経験してみて、ちょっと難しいと感じる部分もありました。というのは、前半に積極的に攻めても審判が忘れてしまうとか、審判の印象に残っていないと感じられる判定もありました。そう考えると、必ずしも最初から全力で攻めるのがいいとは限らないなと。

——なるほど。そうすると、試合全体を通して、いかに優位に見せるかですね。それでは、組み合わせを見ながらお話しさせてもらいたいです。影浦選手は2回戦からで、最初の相手は廣海隼人選手です。

**影浦** 試合したことも、見たこともない選手で、まったくわからない選手です。

——それが全日本選手権の面白さであり、怖さですね。影浦選手は、事前に相手のことを調べるタイプですか？

**影浦** 調べますね。廣海選手についてもこれから調べます。いま言えるのは、初戦の入りはとても大事だと思っていて、その試合で、どれだけ自分に勢いをつけられるか。あとは隙のない展開、一瞬の隙を見逃さないような試合にしたいということです。

——なるほど。では次の3回戦、誰が上がってくると予想しますか？

**影浦** 相当微妙ですね。千野根(有我)選手と酒井(晃輝)選手は、たぶん、試合も練習もやったことがないと思います。尾方寿應は東海大学の同期で、上手いんですね。でも、確率的には千野根選手かなと。支釣込足と内股と払腰、相当力はあると思います。

——続く準々決勝は？

**影浦** 原沢(久喜)さんですね。相性的には小川(雄勢)選手もなくはないんですが、選抜体重別を見た感じでは原沢さんですね。本当に凄かったんですよ。太田彪雅選手との試合、あれは勝っていたと思います。自分としては、原沢さんは苦手なタイプではないのですが、選抜の時みたいに、ずっと攻める感じで来たら厳しい戦いになるでしょうね。

——次は準決勝ですが。

**影浦** 羽賀(龍之介)先輩ですね。佐藤和也選手も東京都選手権はよかったんですけど、羽賀先輩には釣り手を殺されてしまうんじゃないですかね。羽賀先輩、組み手が本当に上手いんですから。間合いのとり方とかも。

——影浦選手も痛い目にあっていきますね(令

和2年3回戦、「指導3」反則負け)。

**影浦** いや、本当に完敗でした。でも相四つ対策も改善できて、いまは、相四つは苦手ではなくなってきているので、前のような試合にはならないと思います。

——さて、決勝です。

**影浦** 逆のブロック、本当に難しいですね。中野(寛太)選手が1回戦で香川(大吾)に勝ったら、中野選手が来るんじゃないですかね。上側は王子谷先輩と東部(直希)だと思っすよ。で、もし東部が王子谷先輩に勝って中野選手と準決勝だとしたら、たぶん東部が決勝に上がる。でも、王子谷先輩と中野選手の準決勝だったら中野選手が勝つ。で、香川が勝った場合も香川が上がる。それぞれ相性があるので、そうなる気がします。

——影浦選手としては誰がいいというのはありますか？

**影浦** 香川が王子谷先輩ですかね？

——どう戦うかは、実際に見てのお楽しみとして、最後に今年の大会に臨む抱負を。

**影浦** 優勝しか見ていないですし、今年は死ぬ気で獲りにいきます。あと、見ている人が感動するような試合ができたかなと思います。

(電話取材/4月12日)



令和4年大会の決勝は14分21秒の激闘。途中、影浦が斉藤を崩す惜しい場面もあったが、最後は足車「技あり」で惜敗



# 共に、頂きへ。

生活スタイル・産業プロセスの革新に取り組む  
企業と共にみらいの仕組みを創造します

私たちは、東京都練馬区東大泉にある豆蔵柔道クラブを応援しています



MAMEZOU  
K2TOP HOLDINGS

株式会社豆蔵K2TOPホールディングス  
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング34F

<https://www.mzk2.com/>



「一番記憶に残っているのは、2回目の優勝。  
王子谷選手との決勝は立っているのがやっとだった。  
最後は自分の意地、執念で勝ち切れた」

平成27年、30年優勝

HARASAWA Hisayoshi

原沢 久喜

今大会が10回目の出場となる原沢久喜(31歳／長府工産)。今回は10回出場の記念インタビューではあるが、同時に有力選手インタビューでもある。初出場の平成25年に準優勝を果たし、平成27年と30年に優勝。一昨年も3位に入っており、今なお優勝候補の一人として注目される。今回は、ご自身の記憶に残る試合とともに、今大会への思い、そして、今大会いかに戦うかをうかがった。

聞き手◎林 毅

——全日本選手権10回出場おめでとうございます。実は、大会プログラムでの原沢選手へのインタビューもこれが10回目。初出場の時からインタビューしているんですね。

**原沢** ありがとうございます。

——今回は、今年の大会に関してもですが、10回記念ということで、これまでの全日本選手権を振り返ってお話をお聞きしたいと思います。さっそくですが、ご自身の中で、今までで一番記憶に残っている大会は？

**原沢** 2回目の優勝の時ですね。

——平成30年、王子谷剛志選手との死闘の末の優勝！あの試合は本当にすごかった。二人とも全力を出し尽くす感じで、見ていて熱くなりました。でも、きつかったでしょう？

**原沢** かなりきつかったですね。あの時は、決勝の前からきつくて。

——たしか準決勝は加藤博剛選手に、延長の末、内股で一本勝ち(7分35秒)。

**原沢** そうでした。あの日は、1日通してあまり調子がよくなくて、初戦(2回戦)からずっとゴールデンスコアに入る消耗戦が続いた中で、準決勝で加藤さんとやり、勝つには勝ちましたが、完全に体力がなくなって。決勝を待つ間も、座ったら立ち上がれないと思って立ったままで、とても試合できるような状態ではありませんでした。でも、そういう中でも自分の意地というか、執念を出して勝ち切れたということで、すごく印象に残っている大会です。

——2人とも、全力で技をぶつけ合う真っ向勝負。大歓声が何度も上がったことを覚えています。決勝は9分16秒の壮絶な試合でした。

**原沢** 王子谷選手が真っ向勝負に来てくれたからああいう試合ができたと思うんです。も

し、王子谷選手が「指導」狙いの試合をしてきたら、もう体力は残っていなかったので、違う結果になったんじゃないかと思います。

——逆に悔しかった試合は？

**原沢** 一番悔しかったのは去年の田嶋(剛希)選手との試合ですね。今まで下の階級の選手に負けたことがなかったので、そういう意味で、すごく悔しさがあります。

——全日本選手権では、どうしても観客が小さい選手を応援する雰囲気というのがあるかと思っています。時に大きい選手にとってはやりづらいこともあるでしょうね。

**原沢** そうですね。

——原沢選手にとって、全日本選手権は、どういった存在、どういった大会ですか。

**原沢** 初出場で決勝まで行ったというのはあるのですが、自分が一番勢いのあった時に、頂点には立てなかったということで、悔しさを感じたり、自分の成長を実感させてもらったのが全日本だったと思うので、そういう意味では、自分の原点というか 初心に帰れる場所というかそんな感じですね。

——初心に帰れる場所！その原点である日本武道館で、今年も試合することについてはどう感じていますか。



平成30年決勝。原沢と王子谷の戦いは9分を超える激戦に。全力で技を出し合う両選手に大きな拍手と声援がとんだ

**原沢** そうですね、全日本選手権に向ける思いというのは以前より強くなっていて、それは、もちろん私の立場として、オリンピックとか世界選手権の代表を競うところになくなったというのもあるんですが、それも含め、全日本選手権には他の大会とは異なる思い入れみたいなものがあります。

——原沢選手は、東京オリンピック後に引退も囁かれましたが、現役を続行し今に至るわけですが、いまま現役を続ける理由は？

**原沢** まず一つは、東京オリンピックで失敗したというのがあって、どうして失敗したのかということの答え合わせをしたかったというのがあります。それと、もう少しやれるんじゃないかと、自分の可能性を信じて続けているというところがあります。

——なるほど。原沢選手が現役を続ける限り、応援させていただきたいと思います！さて、今年の試合に関して、1回戦から細かく見ていくのは割愛させていただきます。順当に勝ち上がると準々決勝で影浦心選手、準決勝で羽賀龍之介選手が待っているのかと思います。とくに、羽賀選手からは「ぜひやりたい」とのラブコールもあります。

**原沢** 羽賀さんとは、私もぜひやりたいです。同年代で頑張っている仲間として。そのためには、影浦選手に勝たないといけないですね。


——あと、同級生ライバルの王子谷選手。

**原沢** 決勝でやりたいですね。

——真っ向勝負ですか！

**原沢** はい、と言いたいところですが、勝ちたいので、勝ちにこだわります(笑)。そこは王子谷選手も同じ気持ちだと思います。とにかく、優勝目指して、最後までやり切りたいと思います。(電話取材／4月10日)



A modern kitchen with stainless steel appliances, including a range hood, oven, and refrigerator. A small dog is sitting on the wooden floor in the foreground. A green rectangular overlay contains white Japanese text.

日本製鉄が  
つくる暮らしが  
あります。

私たちの暮らしの中にある冷蔵庫や電子レンジ、フライパンなど。

それは昔、船やクルマだったのかもしれない。

鉄は地球に生まれ、たくさん使われ、何度でも何にでも生まれ変わる。

ライフサイクル全体でみると、とても地球にやさしい素材です。

一生を繰り返す鉄。だからこそ、持続可能な社会づくりに貢献できます。

さあ、つぎは何に生まれ変わろうか。



令和6年全日本柔道選手権大会  
予想座談会

特別ルールで、全日本選手権は  
どう変わるのか!?

# 中野寛太、影浦心の初優勝か!? 羽賀、王子谷、原沢ら ベテラン勢の戦いぶりも必見!!

7月末にパリ・オリンピック、そして5月下旬にはアブダビ世界選手権大会を控えているものの、今年も各地区の予選を勝ち抜いた俊英に、昨年王者の王子谷剛志、準優勝の羽賀龍之介を加えた42名が日本武道館に集結し、今年の『柔道日本一』を決する戦いが火蓋を切る。ルールが大幅に変更され、優勝の行方を占うのが非常に難しい今大会。岡田弘隆八段、岡泉茂七段、廣川充志六段に、見どころ、注目カード、優勝予想などを伺った。

(3月27日、講道館にて実施)

●出席者……………岡田弘隆八段 (筑波大学)  
岡泉 茂七段 (日本製鉄株式会社)  
廣川充志六段 (桐蔭横浜大学)



座談会出席者(左から岡泉七段、岡田八段、廣川六段)

## 本大会の見どころと 優勝候補について

岡田 本日はご多忙のところご出席ありがとうございます。

まず、最初に申し上げたいのですが、全日本選手権は、その年の『日本一』を決める国内で最も権威のある大会と認識しています。しかし、本当に日本一を争うと思われる

選手があまり予選に出ていない現状が見受けられます。その要因の一つとして、今夏はパリ・オリンピック、その前の5月にもアブダビ世界選手権があり、両大会の代表や候補選手が軒並み参加を見合わせています。「これでいいのか全日本」というのが正直なところです。選手の立場からしたら、致し方ない部分もありますが、特に重量級の選手たちがこぞって日本一に挑戦できる時期に予選や本大

会を開催することが重要ではないかと思われます。ただ、逆を言えば今年の全日本選手権は、出場者全員に優勝のチャンスがある大会で、特に前年優勝の王子谷剛志、2位の羽賀龍之介、2021年ブダペスト世界選手権100kg超級金メダリストの影浦心、斉藤立とライバル関係にある中野寛太の4選手を軸に優勝争いが展開されることが予想されます。岡泉先生、いかがでしょうか?





岡田弘隆八段

**岡泉** 岡田先生が挙げられた4選手が中心となることに私も同感です。全日本選手権にトップ選手が出場しない現状には一抹の寂しさを感じます。私たちが現役の頃は、県予選から熾烈な争いがあり、地区予選を経て本大会に出場し、重量級以外の選手がベスト8に入ることができれば、一流選手として認めてもらえるような雰囲気がありました。先の4選手以外にも、優勝経験のある原沢久喜や、ベテランの小川雄勢も有力だと思います。当日のコンディションですとか、勝ち上がりによってはさらにチャンスがあるでしょう。重量級の選手には、ぜひこの大会で優勝して、自信をつけて飛躍してもらいたいと思っています。

**岡田** 廣川先生はいかがでしょう？

**廣川** 両先生が挙げられた王子谷、羽賀、影浦、中野の4選手に加え、強豪ひしめく東京地区予選を制した東部直希、重量級を長年牽引してきた原沢にも注目したいです。柔道ファンにとっては、ベテラン勢がどんな柔道を見せてくれるのかという楽しみもあるのではないのでしょうか。また例年より中量級の出場選手が少ない印象ですが、100kgに満たない彼らがどれだけ重量級の選手たちを翻弄してくれるのか、ここも見どころではないかと思っています。特に今回は全日本選手権の特別ルールが採用され、決勝は8分間、それ以外5分間、技による優劣がつかない場合は旗判定で勝敗を決することになります。国際ルールでの延長(ゴールデンスコア)がなく、本戦一発勝負です。中量級選手がラスト1分で攻め立てて、最後の印象によって旗判定で勝つという展開もあるのではないかと思います。今回の特別ルールをどう味方につけるのか、ここにも注目したいです。2012(平成24)年に優勝した加藤博剛のように、中量級が一気に頂点に上り詰めるような展開にも期待したいですね。

**岡田** 貴重なご意見ありがとうございました。

この特別ルールがどう試合内容に影響を及ぼすかは、今大会の一つの見どころになると認識しております。各地区予選を全試合見たわけではないですが、ゴールデンスコア方式の延長戦での試合に慣れた審判員、選手たちがほとんどだと思います。「5分間でどう優勢に試合を進めて勝つか」を考えて戦う選手が、当然この中には多くいると思います。地力のある選手でも、相手の術中にはまって力を出し切れずに敗退してしまう選手も出てくるのが予想されます。旗判定で旗が割れる場面が地区予選でも散見されたので、これが日本武道館の畳の上で起ると、選手や観客の方々が納得できないというような場面も出てくるのではないかと懸念もあります。今回のルールの良し悪しは、大会後にきちんと検証する必要があるでしょう。昨年は延長戦を何試合も積み重ねていく中で体力が尽きていく様子が見られたので、ルールの影響は大きいと思います。

### 一〜三回戦、好試合が期待される対戦について

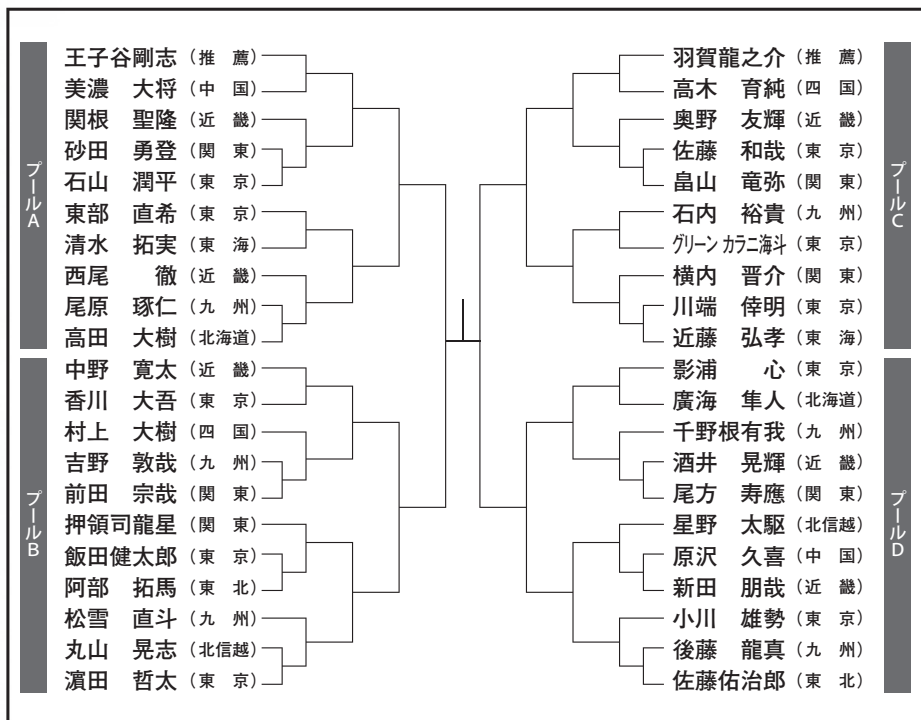
**岡田** 続きまして廣川先生からお話を伺いたと思います。

**廣川** プールAでは昨年の優勝者、王子谷の緒戦が注目です。その下に関根聖隆、砂田勇登、石山潤平の3選手がいますが、重量級に強い関根が砂田か石山と対戦します。もし関根が勝ち上がり王子谷との対戦となれば、会場を沸かせるような内容になるのではないかと思います。その下の山では、東京予選で優勝した東部、寝技が得意で、近畿予選を制した西尾徹との戦いにも興味を引かれます。

プールBは中野が有力です。また関東予選で前田宗哉の試合を見ましたが、気力体力ともに円熟している様子が窺えました。前田が勝ち進み、中野あるいは香川大吾といった重量級の選手に真っ向勝負を挑み、豪快に投げるといったシーンがあることも期待されます。100kg級でパリ・オリンピック代表争いをしていた飯田健太郎も、最近では元気がないですが、高校、大学の時のように、勢いのまま思い切りの良い柔道を見せてほしいと思っています。緒戦の阿部拓馬は非常に動きが良いので、ここでの内容が大事になると思います。

プールCでは昨年2位の羽賀が有力です。奥野友輝、佐藤和哉、畠山竜弥の中では佐藤が若干地力に勝る印象ですが、関東予選で畠山がルールを活かした戦い方を見せており、背負投で翻弄すれば可能性が出てくるのではないかと思います。石内裕貴とグリーンカニ海斗の対戦ですが、九州予選は昨年優勝の王子谷などの強豪がひしめく激戦区の一つであり、そこを制した石内に勢いがあるのではないかと思います。その下は川端倅明と近藤弘孝の試合が注目されます。川端は4月から国士舘大学1年ですが、東京予選ではまだ高校3年でした。若い力の躍動が期待されます。その上の横内晋介は、山梨県で教員をしながら初出場を果たしました。限られた練習環境の中で努力を続け、本大会に出場することは大変立派なことだと思います。おそらく会場には教え子や関係者も応援に来ると思いますので、何かを伝えられるような試合をしてほしいと思います。

プールDは試合巧者の影浦が軸になると思いますが、81kg級で今大会最軽量の尾方寿





應がルールを活かして会場を沸かすような粘り強い試合を展開することにも期待したいと思います。右下の佐藤佑治郎は高校を卒業して山形県警察に就職した若い選手です。様々なキャリアの人が挑戦し、日本一を決めることが本大会の魅力の一つだと認識しています。対する後藤龍真も非常に技の切れる選手ですので、どのような試合になるのか興味深いところです。

**岡泉** 私と廣川先生と同じく、プールAは王子谷、東部の両選手、プールBは中野、プールCは羽賀、佐藤(和)、若手の川端、プールDは影浦と原沢の両選手などを注目しています。

中量級ですが、若手選手の奮起にも期待したいと思っています。東京予選で東部の勝ち上がりを見ていましたが、かつて日本の重量級のエースだった棟田康幸のように身長が低く重心の安定した選手で、闘志溢れる内容で上がり調子の印象でした。中野は力もあり、昨年の予想座談会でも有力視していましたが、二回戦で100kg級の新井道大選手に大内刈で一本負けし、非常に悔しい思いをしたのではないかと想像します。ところが今回も緒戦で実力者の香川と対戦となりますので、ここで苦戦すると今後の勝ち上がりにも影響してくると思われます。その後も力のある前田との対戦が予想され、厳しいブロックにいる印象です。若手の押領司龍星や学生の濱田哲太には、萎縮せずに思い切って戦ってほしいですし、飯田もまだまだ老け込むには早い年齢ですから、気持ちを奮い立たせて試合に臨んでほしいです。

プールCは試合運びに優れ技の切れる羽賀が注目されますが、東京予選で佐藤(和)はケンカ四つの相手の出ている足を巧みに払い、優位に試合を進めていました。九州予選を制した石内の勢い、若手のグリーンの思い切りの良い攻めには見るべきものがあり、両者の対戦は非常に楽しみです。予選時には高校生

だった川端も、大きな相手を苦にしない柔道で、投げられることを恐れず前に出て勝負してもらいたいですね。

プールDは重量級で若手の千野根有我がいます。まだ日本代表になる位置にいないかもしれませんが、影浦を倒すことでチャンスも広がっていくと思うので、ここは思い切って勝負してほしいと思います。優勝経験のある原沢や、以前から優勝候補に上がっている小川といったベテラン選手の粘り強い戦いととも、若手にはこうした強力な壁に挑み、乗り越えて自信をつける気持ちで勝負してほしいですね。

### ベスト4に進む選手たちの対戦について

**岡田** ありがとうございます。両先生から詳細な予想をいただきましてので、それらを総合的に判断し、ベスト4進出者を予想したいと思います。

プールAは四回戦で王子谷と東部の両選手の対戦が予想されます。王子谷は、大型選手に強い関根、東京予選を制した東部、近畿予選を勝ち上がった西尾との対戦が予想されます。年齢は高いものの、4度の優勝経験のある王子谷が地力で勝り、順当に勝ち上がる可能性が高いと予想します。

プールBは、二回戦の中野と香川の対戦が最も注目のカードとなるのではないかと思います。正直予想は難しいですが、中野が総合的な力で勝つと思われます。中野は四回戦で押領司、飯田、濱田、そして受けの強い松雪直斗といった選手たちとの対戦が予想されますが、地力で有利な中野がこうした選手を投げて勝つことができれば、ベスト4まで勝ち上がりではないかと予想します。

プールCでは、万全の体調であれば羽賀の勝ち上がりを予想したいところではあります。ベテランで体の様々な部位に故障を抱えていると思いますので、ベストに近い状態であればベスト4に名乗りを上げるとは思います。そうでなければ佐藤(和)、川端が勝ち上がる可能性があります。石内、グリーンといった有力選手もいますが、川端の若さと勢い、体の柔らかさと重量級を苦しめないスタイルを考慮すると、期待も込めて私は川端のベスト4入りを予想します。

プールDは原沢が小川よりも地区予選の勝ち上がりが高く、影浦と原沢の対戦が予想されます。実力的に互角で予想しづらいところですが、原沢が投技で決めきれない場合は、影浦が担ぎ技で主導権を握り、5分間で優位な展開を作ってベスト4入りする可能性が高いと思われます。岡泉先生はいかがですか？



廣川充志六段

**岡泉** 予選の勝ち上がりを見ますと、王子谷は昨年九州予選で優勝し、勢いに乗って本大会も優勝しました。今回は予選がなく推薦での出場なので、その迎りが気になります。一方、東部は東京予選で良い勝ち方をしているので、勢いに乗って本大会でも勝ち上がる可能性があります。プールBでは、中野が有力ですが、やはり勝ち上がりが鍵になってくると思います。

プールCでは、羽賀と佐藤(和)の両選手が有力ですが、当日のコンディションや勝ち上がりでどのような展開になるのか、予想が難しいところです。グリーンは今後も100kg級で代表争いなどに絡んでいきたいのであれば、ここで存在感を示すような試合をしたいところでしょう。川端も期待のホープですが、緒戦の近藤は身長190cm以上の重量級で、一筋縄にはいかない相手です。最近の選手は重い相手と稽古する機会が少ないためか、大きい相手を攻め切れない場面を見かけることがあります。ここで重量級には意地を見せてほしいですね。皆さんもおっしゃる通り、試合の鍵は新ルールを熟知し、5分間をいかに戦うかということになってくると思います。プールDは私も影浦、原沢の両選手の対戦を予想しますが、影浦がルールを存分に使って先に技を掛けて試合を有利に展開し、原沢が自分の形を作れなければそのまま押し切られるのではないかと思います。

**廣川** まずプールAでは王子谷の勝ち上がりを予想します。重量級が得意な関根との対戦になれば番狂わせが起きる可能性も考えられますが、順調に行けば東部との対戦となり、実力は拮抗しているものの、経験豊富な王子谷がわずかに上回り、勝利するのではないかと思います。

プールBでは、緒戦から中野と香川という屈指の好カードで、その後も飯田、押領司といった有力選手と戦うことが予想されます。



岡泉茂七段



これまでの実績と期待を込め、中野選手がベスト4に勝ち上がるのではないかと思います。去年の大会で期待されながら二回戦敗退と悔しい思いをしていますし、今大会にける意気込みは相当なものだと思います。ただ押領司も背負投の威力がありますので、飯田などを気持ちよく投げて勝ち上がった場合の勢いはあなどれないと思います。

プールCの上は皆さんのおっしゃる通り羽賀が中心となりますが、33歳と最年長で、ここ数年はケガとの戦いだという話も聞いているので、コンディション次第では佐藤(和)、畠山、そして若手の川端が有力視されます。試合時間が5分間ならば体力面での不安が薄らぐため、ベテランにもチャンスがあり、石内などが審判に良い印象を与えてくれることも考えられます。ただ日本代表経験もあり、足技にも優れた佐藤(和)が力を発揮して勝ち上がるのではないかと思います。

プールDは、2022(令和4)年に2位入賞を果たした影浦、優勝経験のある原沢が有力ですが、5分間の中で先手を取り続ける展開が作れば、影浦がわずかに勝ち上がる可能性が高いのではないかと予想します。

**岡田** ベスト4進出者について意見が分かれましたね。整理しますと、プールAが王子谷、プールBが中野、プールDが影浦であることは共通していますね。プールCが羽賀、佐藤(和)、川端の3選手に意見が分かれました。私は番狂わせ的に若手の川端を予想しましたが、他の選手もかなり力がありそうですね。

**岡泉** 佐藤(和)は東京予選でも力を発揮していて、特にケンカ四つでの戦いぶりは目を見張るものがありました。組んでからの技出しが早ければ、審判の印象も良く、旗判定で勝つ可能性もあるのではないかと思います。日本製鉄の道場で多くの大学や企業が集まった

合宿があり、そこでの様子を聞くと、佐藤(和)は足技も効いていて巧さもあり非常に良かったようです。足技から早めに2つ持って技に入れたら、相手は嫌だと思いますね。

**廣川** 審判への見せ方、技出しの早さという点では関東予選での畠山も見るべきものがありました。ラスト1分の怒涛の背負投など、試合展開の作り方が巧みです。ただ佐藤(和)が足技で主導権を握り、畠山の技出しを封じてしまうと、挽回が難しいのではないかと思います。

**岡田** ではプールCは佐藤(和)の勝ち上がりということで、準決勝戦の対戦を予想していきます。

### 準決勝の対戦について

**岡田** さてこれまで予想してきた内容を踏まえますと、準決勝のカードは王子谷と中野、佐藤(和)と影浦との対戦となりました。では廣川先生からお願いします。

**廣川** 当然第1シードの王子谷を過小評価することはできないのですが、両者はケンカ四つで、王子谷は相四つ、中野はケンカ四つが得意です。中野が去年の緒戦敗退の悔しさを晴らすべく、勢いよく勝ち進んできた場合には、僅かに分があるのではないかと考えています。もう一方、佐藤(和)と影浦の準決勝戦は、お互いに混戦の中を勝ち上がってきているので、消耗していると思います。その中で佐藤(和)がどれだけしっかりと技を出せるかが重要ですが、影浦は技出しも早く、内股すかしなどを見せて相手を翻弄するのが上手なので、ここは影浦が勝ち上がるのではないかと思います。

**岡田** ありがとうございます。岡泉先生はいかがでしょうか。

**岡泉** 左の準決勝戦は、廣川先生のおっしゃったような展開になると思われます。王子谷と中野は同じ所属ですが、ここで先輩を乗り越えていかないと世界が見えてこないと思いますので、期待を込めて中野と予想します。右の佐藤(和)と影浦は、講道館杯などでも何度か対戦したことがあり、そこで影浦が勝利して国際大会などに出場して現在のキャリアに至った経緯があります。決勝の8分間であれば佐藤(和)がしっかり組んで投げるような場面も考えられなくはないのですが、5分間という短い時間の中では影浦が巧みに主導権を握り、旗判定で勝ち上がる可能性が若干高いのではないかと思います。

**岡田** 実は私もお2人と同じ予想をしていました。両選手はどちらが勝ってもおかしくないぐらい実力が拮抗しています。相性や、試合時間が5分であるといった条件を考慮すると、ここは全員一致で左の準決勝戦は中野、右は影浦が勝ち上がると予想します。

### 天皇杯のゆくえ

**岡田** それではいよいよ決勝戦の予想ですが、準決勝戦までは5分間、決勝戦のみ8分間という試合時間の変更がどう影響するのか。これまでゴールデンスコアを勝ち上がってきた選手と、本戦の中で決着してきた選手で体力的なところで差があったと思います。今回はどんなに競った試合でも準決勝戦までは5分間ですので、「一本」で勝ち上がり体力を温存できれば、決勝で有利に働くと予想されます。

**岡泉** やはり右下のパートからの勝ち上がりのきつさはあると思います。ゴールデンスコアの延長戦で10分近く戦った場合と比べれば、5分間は短いでしょうが、その辺りがどう影響するのかも難しいところですね。

### 準決勝戦予想 ①



**王子谷剛志 VS 中野 寛太**  
(旭化成) (旭化成)

去年は中野の2回戦敗退により実現しなかったカード。旭化成の同門対決。ベテラン・王子谷が先輩の意地を見せるか、それとも伸び盛りの中野が先輩超えを果たすか注目の一戦だ。

### 準決勝戦予想 ②



**佐藤 和哉 VS 影浦 心**  
(日本製鉄) (日本中央競馬会)

佐藤と影浦、実力者同士の戦い。実績的には影浦が勝るものの、技のキレ、威力に定評のある佐藤が開花するのか。2021年世界王者の影浦が、悲願の全日本王者に向け、一歩前進するのか？



## 決勝戦予想



中野 寛太

(旭化成)



影浦 心

(日本中央競馬会)

30代のベテラン選手が地力を発揮する今大会においてはまだまだ「若手」の中野が初戴冠となるか。それとも一昨年、決勝で斉藤立に敗れ届かなかった「全日本王者」の称号を、影浦が勝ち獲ることになるのか。激戦必至の決勝に注目!

**廣川** 両選手にチャンスはありますが、ポイント技出しの早さ、そして最後の1秒まであきらめずに攻め続ける気持ちだと認識しています。現在のルールでは、担ぎ技を持っていると有利な試合展開を作ることができる印象があります。お互いに背負投などが使えますが、中野が重心の低い影浦を担げるかは未知数です。2022年大会決勝、影浦は斉藤立と14分近い熱戦を繰り広げましたが、あのような粘り強い戦い方をすると、影浦が最終的に有利に試合を終えるイメージがあります。中野は多彩な技で投げてスコアが取れば勝機がありますが、旗判定であれば影浦が有利ではないかと思っています。

**岡泉** 結論から言ってしまうと、中野が勝つのではないかと考えています。廣川先生がおっしゃるように技は多彩ですし、今年派遣されたグランドスラム・パリで3位入賞を果たすなど結果も出てきています。技出しの早さや経験で影浦に一日の長があるでしょうが、中野が掛けられたら必ず掛け返すことを意識して実行すれば、相手が嫌がってチャンスを作っていくのではないかと思います。これは勝敗の予想とは外れるのですが、早めに「指導」が累積し、決勝戦が反則で決まるのではなく、「有効」でも「技あり」でも良いので、技で決ましてほしいと願っています。接戦が予想されますが、中野が多彩な技を繰り出してスコアを奪うのではないかと思います。

**岡田** お2人の予想が割れてしまい、ちょっと困った展開になりました。まず両者のモチベーションについて考えると、互いに全日本選手権の優勝経験がなく、重量級のトップ選手ですので、ぜひこれを獲りたいという気持ちは強いと思います。世界チャンピオンながらまだ本大会で決勝に進みながら優勝を逃し

た影浦、そして昨年も有力視されながら二回戦敗退した中野、いずれも悔しい思いを持っているでしょう。次に相性を考えると、影浦は技出しが早く、背負投と小内刈を軸に組み立ててくることが想像されますが、中野は相手の動きを読んだり対応する力が高いので、何かの技に一発を合わせて投げる可能性があります。影浦は右下の山、インターバルの短いところからの勝ち上がりなので、体力的に厳しく、8分間の決勝を終始攻め続けることができるか難しいところだと思います。

**岡泉** プールDの選手が勝ち上がって優勝した記憶があるのは、2010(平成22)年大会で優勝した高橋和彦ぐらいではないかと思っています。影浦が消耗戦を勝ち上がってたどり着いた場合は、体力面で難しいのではないかと考えています。5分間の試合時間ならば影浦が有利に試合を進めるイメージが浮かびますが、8分間となると、中野が組み勝って技を掛けて勝つシーンも考えられます。

**岡田** 中野に対する期待は当然ありますね。ただ国際大会でも優勝はできておらず、帰国後の近畿予選では西尾に抑え込まれて敗退しており、勝ち切れていない部分があります。一昨年、決勝戦で見た影浦の粘り強い戦いぶりを思い出すと、技数で中野を圧倒していく展開もあるかと思っています。中野にはここは勝たなければいけないという期待を寄せながらも、優勝は影浦ということでもよろしいでしょうか。

**岡泉** それが現実的かもしれませんね。

**廣川** はい。

## 大会への期待

**岡田** 冒頭で全員に優勝のチャンスがある大

会と申し上げましたが、出場者は「日本一強い柔道家を決める」という全日本選手権の趣旨をしっかりと理解してほしいですね。技で勝負する姿が、子どもたちやこれから柔道を志す人の憧れや目標になります。

**岡泉** ルールの変更は今回の予想を複雑にしている一因ですが、逆に言えば選手がいかにルールを味方につけることができるかも重要なところですね。ただ豪快に投げる、関節を極める、絞めるといった技による勝負を積極的にしてほしいですね。

**廣川** 本大会は学生の出場者が少ないのですが、こうした中でも出場権を獲得した日本大学の濱田、天理大学の新田朋哉、国土館大学の川端には伸び伸びとした柔道を期待したいと思います。九州予選から鹿児島刑務所の吉野敦哉が初出場を果たすなど、例年よりも警察、刑務官の方々の出場が多い印象があります。美濃大将や西尾などは固技でも得意の形を持っていますので、固技の攻防にも期待しています。

**岡田** 初出場といえば、関東予選を突破した教員の横内は、山梨県出身者で初めての全日本選手権出場者とのことです。彼は筑波大学のキャプテンで、コロナ禍で試合がなく、稽古もできない時期を経験した学生でしたが、教員採用試験に合格し、卒業後は地元の山梨県で教員となりました。すべての柔道家に挑戦できるチャンスがあることも全日本選手権の魅力だと思います。毎年でなくとも、こういった選手たちが出場してくれると嬉しいですね。

最後になりますが、全日本選手権の優勝争いに日本代表が参加しないことが常態化していますが、最も権威ある大会がこのままでいいのかという危惧があります。

**岡泉** 世界選手権や他の大会の開催時期の兼ね合いがありますよね。

**岡田** 国際柔道連盟をコントロールすることは難しいと思います。また予選から本戦が半年以上空いてしまうのもどうかという問題もありますし、国内の全日本学生、インターハイなど、各カテゴリーの主要な大会も動かすのは難しいと思います。選抜体重別や講道館杯などの開催時期も含めて総合的に検討していけば、全日本選手権に日本代表選手が参加しやすくなり、さらに見応えのある試合が期待できるのではないかと思います。全日本選手権が権威ある大会として今後も益々発展していくことを祈念しまして、予想座談会を終了したいと思います。

(文中敬称略)

(提供：講道館機関誌『柔道』編集部)

# 出場選手データ

※これは、令和6年3月20日にエントリーされた時点でのデータです(段位、年齢、職業は大会当日)

## ■段位

	平31	令2	令3	令4	令5	令6
六段				1	2	1
五段	11	13	10	15	4	9
四段	14	14	14	9	13	12
参段	17	23	21	22	21	20

## ■年齢

	平31	令2	令3	令4	令5	令6	
最高	33	35	33	33	34	33	羽賀龍之介
最低	17	19	19	20	18	18	川端倖明
平均	25.5	25.5	25.9	26.2	25.8	26.2	

## ■身長

	平31	令2	令3	令4	令5	令6	
最高	193	193	193	193	193	194	近藤弘孝
最低	170	156	173	160	170	168	丸山晃志・佐藤佑治郎
平均	182.1	180.0	180.6	179.7	181.9	180.4	

## ■体重

	平31	令2	令3	令4	令5	令6	
最高	165	150	165	160	155	145	王子谷剛志・清水拓実
最低	81	65	73	60	81	81	尾方寿應・佐藤佑治郎
平均	109.7	105.1	107.5	109.2	113.2	109.3	

## ■職業

	平31	令2	令3	令4	令5	令6
警察官	16	14	7	13	12	14
会社員	16	27	24	26	17	20
教職員	2	2	1	1	2	1
刑務官	1		3	1	1	3
学 生	4	6	7	5	6	3
その他	3	1	3	1	2	1

## ■出身校(大学在学を含む)

	平 31	令 2	令 3	令 4	令 5	令 6
東海大	8	15	11	13	15	11
天理大	4	5	4	7	5	8
日本大	4	3	2	4	2	5
筑波大	3	5	3	6	5	5
国士舘大	5	6	8	4	3	3
明治大	5	4	5	6	2	1
近畿大	1	2	2	1	1	1
國學院大	1		2		1	1
日本体育大	1	2			1	1
星槎道都大					1	1
岡山商科大					1	1
山梨学院大	2	2	2			1
鹿屋体育大						1
関西大						1
羽黒高						1
中央大		2	2	1	1	
弘前大			1		1	
福岡大	2	2	1		1	
札幌大			1	1		
金沢学院大			1	1		
埼玉大	1			1		
早稲田大				1		
桐蔭横浜大				1		
松山大	1	1				
大東文化大		1				
星槎道都大	1					
慶應義塾大	1					
龍谷大	1					
国士館高校	1					

## ■職業別

	推薦	東京	近畿	九州	関東	北海道	東北	北信越	東海	中国	四国	計
警察官 刑務官 自衛官			西尾 奥野	吉野 松雪	前田 尾方 砂田	高田 廣海	阿部 佐藤(佑)	星野 丸山	清水 近藤	美濃	高木 村上	18
学生		川端 濱田	新田									3
会社員	王子谷 羽賀	東部 香川 佐藤(和) 石山 小川 影浦 飯田 グリーン	酒井 関根 中野	石内 後藤 尾原 千野根	畠山 押領司					原沢		20
教職員他					横内							1

## ■出身校別(大学在学を含む)

	推薦	東京	近畿	九州	関東	北海道	東北	北信越	東海	中国	四国	計
東海大	王子谷 羽賀	香川 影浦		後藤 松雪	前田 尾方			星野	清水 近藤			11
天理大		石山	西尾 酒井 中野 新田	石内				丸山			高木	8
日本大		東部 佐藤(和) 濱田								原沢	村上	5
筑波大			関根	尾原 千野根	横内		阿部					5
国士舘大		川端 飯田			砂田							3
明治大		小川										1
近畿大						廣海						1
國學院大					押領司							1
日本体育大		グリーン										1
星槎道都大						高田						1
岡山商科大										美濃		1
山梨学院大					畠山							1
鹿屋体育大				吉野								1
関西大			奥野									1
羽黒高							佐藤(佑)					1

# 全日本柔道選手権大会

## ■令和6年 全日本柔道選手権 選手出場回数

回数	氏名	地区	出場年
12	王子谷剛志	推薦	H23 H26 H27 H28 H29 H30 H31 R02 R03 R04 R05 R06
10	原沢 久喜	中国	H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31 R04 R05 R06
7	羽賀龍之介	推薦	H24 H26 R02 R03 R04 R05 R06
	小川 雄勢	東京	H28 H29 H30 H31 R04 R05 R06
	影浦 心	東京	H26 H30 H31 R02 R03 R04 R06
	尾原 琢仁	九州	H28 H31 R02 R03 R04 R05 R06
6	佐藤 和哉	東京	H25 H26 H31 R02 R03 R06
	香川 大吾	東京	H26 H27 H29 R03 R04 R06
	中野 寛太	近畿	H30 H31 R02 R04 R05 R06
5	前田 宗哉	関東	H31 R03 R04 R05 R06
	高木 育純	四国	R02 R03 R04 R05 R06
	石内 裕貴	九州	H30 H31 R02 R03 R06
4	千野根有我	関東	R03 R04 R05 R06
	飯田健太郎	東京	H30 H31 R02 R06
	西尾 徹	近畿	H30 R04 R05 R06
3	石山 潤平	東京	R04 R05 R06
	近藤 弘孝	東海	R02 R05 R06
	廣海 隼人	北海道	R05 R06
	高田 大樹	北海道	H30 R06
2	阿部 拓馬	東北	R04 R06
	尾方 寿應	関東	R04 R06
	グリーン カラニ海斗	東京	R05 R06
	星野 太駆	北信越	R05 R06
	酒井 晃輝	近畿	R05 R06
	関根 聖隆	近畿	R04 R06
	美濃 大将	中国	R05 R06
	後藤 龍真	九州	R02 R06
	松雪 直斗	九州	H29 R06
	佐藤佑治郎	東北	R06
	畠山 竜弥	関東	
	押領司龍星	関東	
初	横内 晋也	関東	
	砂田 勇登	関東	
	東部 直希	東京	
	川端 倖明	東京	
	濱田 哲太	東京	
	丸山 晃志	北信越	
	清水 拓実	東海	
	奥野 友輝	近畿	
	新田 朋哉	近畿	
	村上 大樹	四国	
	吉野 敦哉	九州	



# イベントで働く。

もっと大きな感動が、ここにある。

輝く人びとを本気で支えたい。80年かけて磨いた技術と経験で、  
裏方としてイベントを創る。それが私たちシミズオクトです。



# シミズオクト

シミズオクト





# 令和6年 全日本柔道選手権大会 地区予選主要記録

## 北海道

### 高田大樹が接戦を制し 6年ぶり2度目の代表に

優勝：高田 大樹(旭川刑務所)

2位：廣海 隼人(北海道警察)

3位：小林 修斗(東海大学)

【予選トーナメントAブロック】

▼ブロック準決勝

廣海 隼人○ 合 技 △大洞 立樹  
(北海道警察) (刑務官)

高道祐太郎● 優勢[僅差] △古場 幸能  
(北海道警察) (札幌大)

▼ブロック決勝

廣海 隼人○ 内 股 △高道祐太郎

【予選トーナメントBブロック】

▼ブロック準決勝

宮城 慧也● 優勢[僅差] △佐藤 虎白  
(北海道警察) (東海大札幌高)

高田 大樹○ 大 外 刈 △山口 瑛太  
(旭川刑務所) (北海高)

▼ブロック決勝

高田 大樹○ 肩 車 △宮城 慧也

【予選トーナメントCブロック】

▼ブロック準決勝

小林 修斗● 優勢[僅差] △藤井 隆也  
(東海大) (刑務官)

幾島 裕朗● 優勢[僅差] △中村 亮介  
(旭川刑務所) (國學院大)

▼ブロック決勝

小林 修斗○ 内 股 △幾島 裕朗



入賞者。左から優勝の高田、2位の廣海、3位的小林



高田と小林の熱戦の様子

【決勝リーグ・試合結果】

	廣海 隼人	高田 大樹	小林 修斗	戦績	順位
廣海 隼人		△	● 優勢[有効]	1勝1敗	2位
高田 大樹	● 優勢[僅差]		● 優勢[僅差]	2勝0敗	1位
小林 修斗	△	△		0勝2敗	3位

## 東北

### 阿部拓馬が東北を制して 2年ぶりの本戦出場を決める

優勝：阿部 拓馬(山形・山形県警察)

2位：佐藤佑治郎(山形・山形県警察)

3位：本間 稔永(山形・山形県警察)

▼予選トーナメント2回戦

平根喜代次○ 横 四方 固 △鈴木 誉広  
(福島刑務所) (青森刑務所)

佐藤佑治郎○ 大 外 刈 △鈴木 総太  
(山形県警察) (東北学院大)

船橋龍之介● 優勢[僅差] △坂口 真人  
(青森刑務所) (岩手県警察)

阿部 拓馬● 優勢[技あり] △小嵯 海陸  
(山形県警察) (福島県警察)

本間 稔永● 優勢[僅差] △室井 雄太  
(山形県警察) (福島県警察)

神成 太壽● 優勢[僅差] △後藤 昌毅  
(青森刑務所) (山形県警察)

▼予選トーナメント3回戦

佐藤佑治郎○ 優勢[技あり] △平根喜代次

阿部 拓馬● 優勢[僅差] △船橋龍之介

本間 稔永○ 合 技 △神成 太壽



表彰の様子。左から優勝の阿部、2位の佐藤、3位の本間



熱戦の模様

【決勝リーグ・試合結果】

	佐藤佑治郎	阿部 拓馬	本間 稔永	戦績	順位
佐藤佑治郎		△	● 優勢[僅差]	1勝1敗	2位
阿部 拓馬	○ 内股返		● 優勢[僅差]	2勝0敗	1位
本間 稔永	△	△		0勝2敗	3位



# 関東

## 前田宗哉が圧勝で2年ぶり3度目のV 5度目の全日本に挑む



優勝：前田 宗哉(千葉・自衛隊体育学校)  
2位：畠山 竜弥(千葉・京葉ガス)  
3位：押領司龍星(千葉・京葉ガス)  
4位：横内 晋介(山梨・山梨県立農林高校教員)  
5位：尾方 寿應(神奈川・神奈川県警察)  
6位：砂田 勇登(神奈川・神奈川県警察)

### ▼準々決勝

畠山 竜弥○ 優勢[僅差] △戸高淳之介(京葉ガス) (筑波大学)  
横内 晋介○ 優勢[技あり] △長濱 快飛(山梨農林高校教員) (埼玉県警察)  
前田 宗哉○ 大 外 刈 △砂田 勇登(自衛隊体育学校) (神奈川県警察)  
押領司龍星○ 優勢[技あり] △岩淵 晃大(京葉ガス) (京葉ガス)

### ▼全日本選手権出場者決定戦

尾方 寿應○ 小 内 刈 △三谷 雄大  
砂田 勇登○ 優勢[技あり] △岩淵 晃大

### ▼5位・6位決定戦

尾方 寿應○ 不 戦 △砂田 勇登(神奈川県警察)

### ▼準決勝

畠山 竜弥○ 不 戦 △横内 晋介  
前田 宗哉○ 優勢[技あり] △押領司龍星

### ▼3位決定戦

押領司龍星○ 不 戦 △横内 晋介

### ▼決勝

前田 宗哉○ 縦 四 方 固 △畠山 竜弥

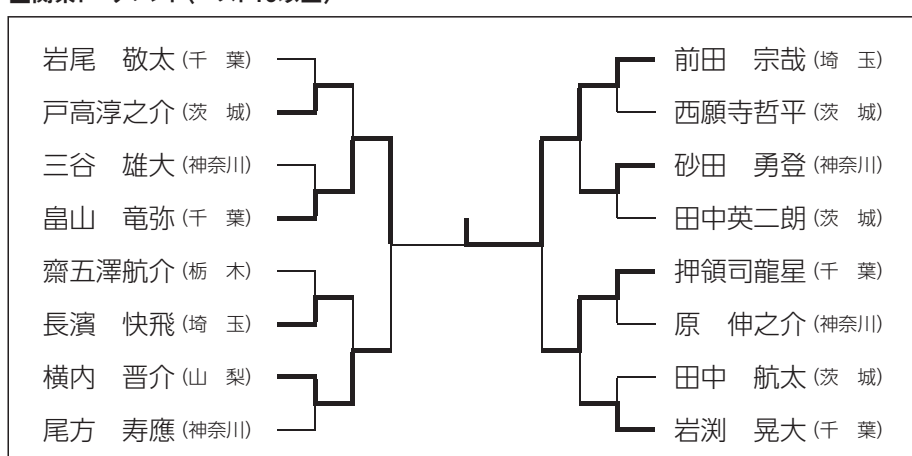


入賞者。右から優勝の前田、2位の畠山、3位の押領司、4位の横内、5位の尾方、6位の砂田



決勝戦。前田が小外刈で畠山から「有効」を奪う

### ■関東トーナメント(ベスト16以上)



# 東京

## 東部直希が東京初優勝で 悲願の全日本出場決める



優勝：東部 直希(日本中央競馬会)

2位：香川 大吾(ALSOK)

3位：佐藤 和哉(日本製鉄)

3位：川端 倖明(国士館高校)

5位：石山 潤平(パーク24)

5位：小川 雄勢(パーク24)

5位：影浦 心(日本中央競馬会)

5位：濱田 哲太(日本大学)

代表選手：飯田健太郎(旭化成)

推薦選手：グリーンカラニ海斗(日本体育大学)

※昨年度2位

### ▼トーナメント4回戦

石山 潤平○ 優勢[僅差] △飯田健太郎  
佐藤 和哉○ 出 足 払 △山口 貴也  
香川 大吾○ 合 技 △朝廣 隆翔  
小川 雄勢○ 優勢[僅差] △制野孝二郎  
川端 倖明○ 優勢[技あり] △濱崎 龍真  
影浦 心○ 浮 落 △増山 香補  
東部 直希○ 払 巻 込 △長井 晃志  
濱田 哲太○ 一本背負投 △込山 龍哉

### ▼代表選手決定戦

飯田健太郎○ 内 股 △増山 香補

### ▼準々決勝

佐藤 和哉○ 小 外 刈 △石山 潤平  
香川 大吾○ 上 四 方 固 △小川 雄勢  
川端 倖明○ 不 戦 △影浦 心  
東部 直希○ 裏 投 △濱田 哲太

### ▼準決勝

香川 大吾○ 反 則 △佐藤 和哉  
東部 直希○ 横 四 方 固 △川端 倖明



入賞者。右から優勝の東部、2位の香川、3位の佐藤、川端、5位の石山、小川、影浦、濱田、代表選手の飯田

### ▼決勝

東部 直希○ 優勢[僅差] △香川 大吾

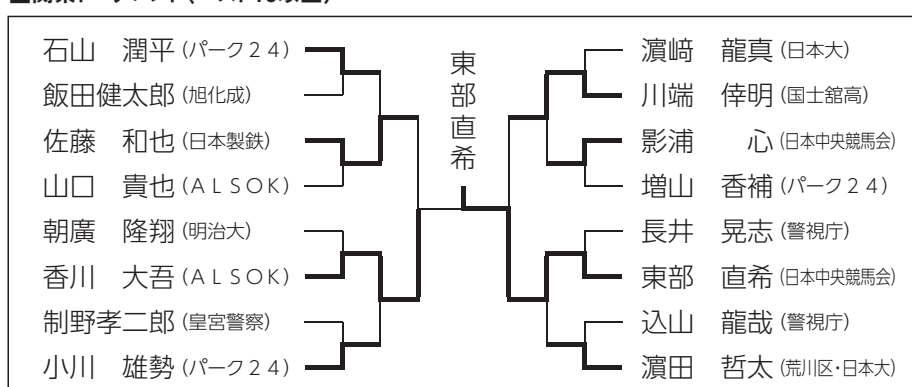


東京都選手権で初優勝を果たした東部



決勝戦。香川を後袈裟固で抑える東部(12秒で解けて「有効」)

### ■関東トーナメント(ベスト16以上)



# 北信越

## 星野太駆が初優勝で 2年連続の全日本選手権へ

優勝：星野 太駆(新潟・新潟県警察)

2位：丸山 晃志(新潟・新潟県警察)

3位：中川 直治(石川・金沢刑務所)

### ▼準決勝

丸山 晃志○ 不 戦

星野 太駆○ 合 技 △中川 直治

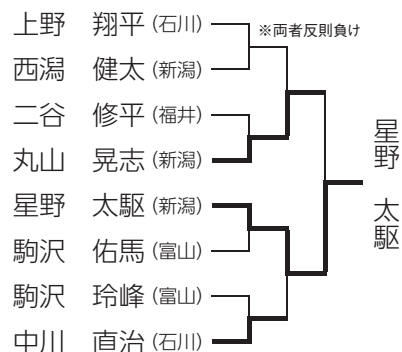
### ▼決勝

星野 太駆○ G S 有効 △丸山 晃志

### ▼敗者復活最終戦(2位決定戦)

丸山 晃志○ 大 内 刈 △中川 直治

### ■北信越トーナメント(ベスト8以上)



入賞者。左から優勝の星野、2位の丸山、星野と丸山の決勝戦の3位の中川



星野と丸山の決勝戦の様子

### ■敗者復活戦



# 東 海

## 大混戦を制して清水拓実が初優勝 近藤弘孝が薄氷の2位で全日本へ

優勝：清水 拓実(愛知・愛知県警察)

2位：近藤 弘孝(愛知・愛知県警察)

3位：米山 竜生(静岡・静岡県警察)

4位：井上 直弥(静岡・天理大学)

### ▼予選Aリーグ順位

1位：米山 竜生(静岡・静岡県警察)

2位：近藤 弘孝(愛知・愛知県警察)

3位：岩崎 渉(岐阜・岐阜県警察)

4位：加藤 翔弥(三重・三重県警察)

### ▼予選Bリーグ順位

1位：清水 拓実(愛知・愛知県警察)

2位：井上 直弥(静岡・天理大)

3位：南 大志(三重・皇學館大)

4位：宮浦 司(岐阜・岐阜刑務所)

### 【決勝リーグ・試合結果】

	米山 竜生	清水 拓実	近藤 弘孝	井上 直弥	戦績	順位
米山 竜生		△	●僅差	○合技	2勝1敗	3位
清水 拓実	○袈裟固		△	○袈裟固	2勝1敗	1位
近藤 弘孝	△	●僅差		○内股	2勝1敗	2位
井上 直弥	△	△	△		0勝3敗	4位

※予選リーグで対戦した対戦者とは決勝リーグでは再戦はせず、予選リーグの結果を決勝リーグの成績として反映させる



熱戦の模様

# 近 畿

## 寝技師・西尾徹が初優勝、 全日本選手権で上位進出目指す

優勝：西尾 徹(大阪・大阪府警察)

2位：酒井 晃輝(奈良・天理大学)

3位：関根 聖隆(滋賀・日本エースサポート)

3位：奥野 友輝(大阪・大阪府警察)

5位：中野 寛太(奈良・旭化成)

5位：新田 朋哉(奈良・天理大学)

### ▼準々決勝

西尾 徹○ 合 技 △中野 寛太

(大阪府警察) (旭化成)

関根 聖隆○ 大 外 刈 △上田 轄麻

(日本エースサポート) (日本製鉄)

奥野 友輝● 優勢[僅差] △中野 隼人

(大阪府警察) (京都府警察)

酒井 晃輝○ 支 釣 込 足 △新田 朋哉

(天理大) (天理大)

### ▼5位決定戦(全日本選手権出場者決定戦)

中野 寛太● 優勢[僅差] △上田 轄麻

新田 朋哉● 優勢[僅差] △中野 隼人

### ▼準決勝

西尾 徹○ 棄 権 △関根 聖隆

酒井 晃輝○ 小 外 掛 △奥野 友輝

### ▼決勝

西尾 徹○ 横 四 方 固 △酒井 晃輝

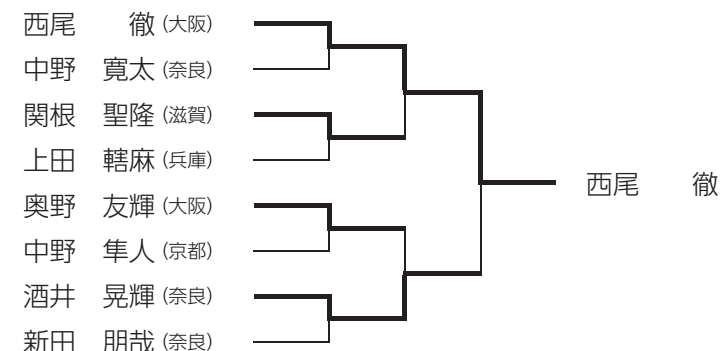


入賞者。右から優勝の西尾、2位の酒井、3位の関根、奥野、5位の中野、新田



熱戦の様子

### ■近畿トーナメント(ベスト8以上)





# 中国

## 原沢久善が全試合「一本」で10度目の全日本出場決める

優勝：原沢 久喜(山口・長府工産)  
2位：美濃 大将(鳥取・鳥取刑務所)  
3位：福本 翼(広島・広島県警察)  
4位：八木 郁実(広島・広島刑務所)

### ▼準々決勝

福本 翼○ GS技あり △上田 虎徹(広島・広島県警察) (島根・開星高教)  
原沢 久喜○ 内 股 △安達 健太(山口・長府工産) (岡山・作陽学園高教)  
美濃 大将○ GS技あり △工藤 瑠希(鳥取・鳥取刑務所) (岡山・作陽学園高)  
八木 郁実○ GS技あり △佐々木優大(広島・広島県警察) (島根・明誠高教)

### ▼準決勝

原沢 久喜○ 内 股 △福本 翼  
美濃 大将○ 縦 四 方 固 △八木 郁実

### ▼3位決定戦

福本 翼○ 棄 権 △八木 郁実

### ▼決勝

原沢 久喜○ 合 技 △美濃 大将



入賞者。右から優勝の原沢、2位の美濃、3位の福本

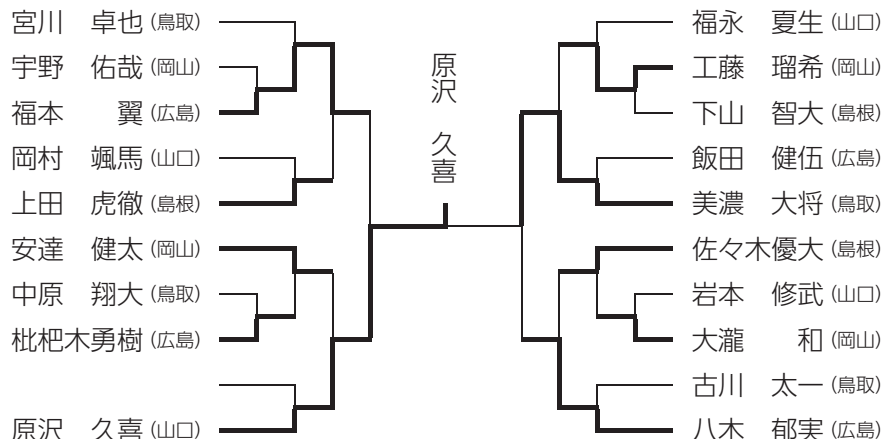


決勝戦。内股で攻める原沢

### ▶3位決定戦

福本 翼(広島)   
八木 郁実(広島)

### ■中国トーナメント



# 四国

## 高木が四国大会5連覇で5度目の全日本選手権に

優勝：高木 育純(香川・香川県警察)  
2位：村上 大樹(愛媛・愛媛県警察)  
3位：岩崎 恒紀(香川・香川県警察)

### 【予選A組リーグ戦】

1位：村上 大樹(愛媛・愛媛県警察)  
2位：岩崎 恒紀(香川・香川県警察)  
3位：松長 佳吾(徳島・徳島県警察)  
4位：川村 陸(高知・高知県警察)

### 【予選B組リーグ戦】

1位：高木 育純(香川・香川県警察)  
2位：河坂 有希(愛媛・愛媛県警察)  
3位：井内 洋介(徳島・徳島県警察)  
4位：内田 秀二(高知・高知刑務所)

### ▼準決勝

村上 大樹○ 優勢[僅差] △河坂 有希  
高木 育純○ 優勢[僅差] △岩崎 恒紀

### ▼3位決定戦

岩崎 恒紀○ 棄 権 △河坂 有希

### ▼決勝

高木 育純○ 優勢[僅差] △村上 大樹



高木と村上の決勝戦の様子

# 九州

## 石内裕貴が九州初制覇で5度目の全日本選手権出場

優勝：石内 裕貴(旭化成)  
2位：後藤 龍真(旭化成)  
3位：吉野 敦哉(鹿児島刑務所)  
3位：尾原 琢仁(旭化成)  
5位：松雪 直斗(福岡県警察)  
5位：千野根有我(旭化成)

### ▼準々決勝

吉野 敦哉○ 優勢[僅差] △江藤 康太(鹿児島刑務所) (熊本県警察)  
石内 裕貴○ 優勢[僅差] △安田 拓洋(旭化成) (長崎日大高教)  
尾原 琢仁○ 合 技 △松雪 直斗(旭化成) (福岡県警察)  
後藤 龍真○ 内 股 △千野根有我(旭化成) (旭化成)

### ▼全日本選手権出場者決定戦

松雪 直斗○ 合 技 △安田 拓洋

千野根有我○ 小 外 刈 △江藤 康太

### ▼準決勝

石内 裕貴○ 内 股 △吉野 敦哉  
後藤 龍真○ 不 戦 △尾原 琢仁

### ▼決勝

石内 裕貴○ 優勢[僅差] △後藤 龍真



入賞者。左から優勝の石内、2位の後藤、3位の吉野、尾原、5位の松雪、千野根



石内と後藤の決勝戦の様子

### ■九州トーナメント(ベスト8以上)





# 全日本選手権を 名選手たち

Vol. 11



## 今川直明

◎出場2回(昭和62、63年)

自分の柔道人生を考えると、やはり国士舘大学の同級生、斉藤仁君の存在は大きい。彼がいたおかげで強くなった。全日本選手権を意識し始めたのも、彼との試合がきっかけでした。全日本ジュニアの決勝で、僅差負け。この試合で、自分ももっと上でやれるんじゃないか、という気持ちが出ました。

ただ学生時代は縁がなかった。大学3年の時は、東ドイツの大会に出場した際に、左足首を骨折し、予選に出られず。4年生の時は、2月にクウェート国際で優勝した際、やはり足首を痛め、東京予選で負けました。卒業後は、群馬県で高校教員になったので、学生時代と比べると練習相手がいません。そこで、国士舘大学の先輩、中嶋宣夫先生が指導されていた上武大学によく出稽古に行きました。中嶋先生が、強い学生を優先して当ててくれたので、息の上がる練習が出来ました。初出場した昭和62年は結婚したばかり。家族の支えも大きかった。妻の文子も柔道家(旧姓桜井。第1回福岡国際女子柔道大会に出場)ですから、全日本選手権の重みはよくわかっていて。厳しく叱咤激励してくれました。当時関東は4枠。筑波大の岡田弘隆さんはまだ学生のバリバリでしたし、大学の先輩、中村均さんも同じ教員で頑張っていた。勝ち抜いた時は、学生時代の優勝よりも嬉しかったですよ。

1回戦の相手は、直前の講道館杯優勝の三戸範之さん。非常に強い選手だったので、私も周りも厳しいと思っていました。ところが、無我夢中で組み合っているうちに内股すかしで一本勝ち。決して得意技ではなかったのですが、自然に体が動きました。2回戦では羽賀善夫さんに内股で「有効」を取られ、優勢負け。学生時代には勝ったこともありましたが、当時は、練習量も彼の方が上。6分が長かったことを覚えています。翌年は子どもが生まれたのが発奮材料になりました。なんとか出場を果たしたものの、前年と学校が替わり、練習量はさらに落ちていたと思います。中林千春さんと「有効」を取り合った末に僅差で敗れました。この年は、指導していた柔道部員が全員応援に来てくれたし、斉藤君の優勝を目の前で見られた。いい思い出です。

全日本選手権に出ることが出来たのは、一生の宝ですね。経験したくても出来ない舞台に立った。柔道にも、家族や支えてくれた方たちにも感謝しています。いまも生徒には「周りの人の支えに感謝することが一番大切」と、話しています。

筑波大学に入ってからすぐの全日本選手権の時に、松井勲先輩の付き人をしたんですね。昭和60年、ロス五輪の翌年だったんですけど、山下泰裕さんや斉藤仁さんらも出ていて、とにかくすごい盛り上がりで、その時に、自分も一回ぐらいはこんな大会に出てみたいと思ったのが全日本を意識した最初でした。

当時、関東予選はレベルが高い上に出場枠が少なく、大学時代に予選を勝ち上がることはできなかったのですが、大学を卒業して大学院生になった年(平成元年)によりやく出場することが出来ました。あの頃、全日本選手権のゼッケンは番号で、野球の背番号みたいでカッコいいな、あのゼッケンをつけたいと思った覚えがあります。最初に出た時の背番号は21番でした。

初出場の時は不思議と緊張感はありませんでした。出られればいい、勝とうなんて思っていなかったのも、逆にリラックスして力を出せたのかなと思います。無我夢中で戦っているうちに、たまたまうまくいって準決勝まで勝ち上がり、準決勝で関根英之さんに旗判定で敗れて3位。

3位に入ったことで、念願だった強化選手に入ることもできて嬉しかったですね。私の学生の時はちょうど学柔連と全柔連の紛争の時期で、私は1年から4年まで学柔連の大会に出場できなかったんです。全日本ジュニアもベスト8で、強化選手になるには全日本選手権しかチャンスがなかったので、この全日本で3位になったことは、私の人生を変える大きなできごとでした。

全日本選手権は緊張しなかったと言いましたが、翌年の茨城県予選、関東予選は非常に緊張しました。3位になったことで、予選で負けるわけにはいかないという思いも働きましたし、茨城も関東も強い選手が多かったですから。

全日本選手権で一番印象に残っているのは、山田利彦さんとの試合(平成2年2回戦)ですね。試合の途中、寝技の際に右足の親指が引っかかってしまい、少し痛みはあったんですけど、試合中はとにかく必死でそのまま試合を続けて、その試合と3回戦の樋川純さんには運良く勝てたのですが、準々決勝の小川直也選手には何もできずに完敗。その時にはもう足がパンパンに腫れ上がっていて、翌日病院に行ったら骨折していました。

嬉しかったのは、自分のことではないのですが、(金沢学院大学の)教え子の中村拓郎が全日本に出たことですね。中村の出場が決まった時は、正直自分が出た時よりも嬉しかったです。全日本選手権は本当に素晴らしい大会なので、これからも全日本に出られるような学生を育てたいと思いますね。



## 渡辺直勇

◎出場3回(平成元年～3年)



# 彩った

昭和23(1948)年から始まった全日本柔道選手権大会は今年で75回目となる。柔道家なら誰もが憧れる日本最高峰の大会であり、全国の厳しい予選を勝ち抜いたひと握りの俊英だけがその量の上に立つことを許される。プログラムの特別企画としてご好評をいただいている「全日本選手権を彩った名選手たち」。かつて全日本選手権に出場した選手に、ご自身の『全日本選手権』の思い出、そして全日本への思いをお聞きた。誌面の都合上、今年もわずか5名ではあるが、試合の合間にもぜひ目を通していただきたい。

取材◎西森 大／林 毅

全日本選手権に出たのは平成7年と9年の2回。新日本製鉄に入って3年間は東京でしたが、その後、広畑に行き、2年目くらいでしたかね。当時の新日鉄は栗原三千男さんが監督で、滝吉直樹、村田正夫、岡泉淳、茂、中谷弘、甲斐康浩、養父直人、増地克之、吉田秀彦など、強い選手が揃っていて、ほとんどの選手が広畑で稽古していましたから、かなりいい練習が出来ていました。全日本には近畿予選を勝ち上がって出場しましたが、新日鉄だけでなく、近畿大、天理大、大阪府警などの選手もいて近畿のレベルは相当高かったと思います。

いろいろな人から、世界選手権やオリンピックもすごいけど、やはり全日本選手権は特別だと、小さい頃から言われていたので、初めて出た時は嬉しかったですね。ただ、量に上がれば、大きい大会も小さい大会もないですし、日本武道館の試合場に立った時も、ワクワク感はありませんでしたが、緊張はしなかったです。講道学舎時代は大きい選手に対し、いつも「なにこれ」という気持ちでぶつかっていましたが、明治大学時代は小川直也先輩とも稽古していましたので、大きい相手というのはまったく苦になりませんでした。当時、86kg級でしたが、全日本選手権でやれる自信はありました。

初めて出場した平成7年は、1回戦で湊谷知幹さんに勝って、2回戦で中村佳央さんに負け。終盤までいい勝負だったと思うんですけど、残り30秒で勝負をかけて大内刈にいったところを返されました。平成9年は、3回戦で優勝候補の真喜志慶治さんに判定勝ち、4回戦で関根英之さんに大内刈「有効」で勝って準決勝に進み、村元辰寛さんに内股で一本負け。3位でした。村元さんとは天理大でよく稽古していて手の内もわかっていましたし、嫌いなタイプではなかったのですが、疲れのせいか判断が一瞬遅れ、返そうと思った時にはもう身体が浮いていました。この年は、真喜志さんと篠原信一さんが優勝候補と言われていたのですが、私が真喜志さんを、そして賀持道明さんが篠原信一さんを破り、「波乱の大会」と言われたのを覚えています。

今は愛知県の大成高校で教員をやっていて、教え子の活躍を楽しみにしています。今年の全日本選手権には、東京予選を優勝した東部直希が出ます。実力からすればもっと早くに出るべき選手です。ぜひ頑張ってほしい。いまは全国で頑張っている教え子たちの活躍を聞いて一喜一憂。今年もあと2〜3人は出られたんじゃないかと、贅沢かもしれませんが、そんなことを思っています。



石田輝也

◎出場2回(平成7年、9年)



藤原康博

◎出場1回(平成12年)

出場した時は23歳。京都産業大学を卒業後、大阪府警察に入り、自分でも「強くなってきたな」と思った時期でした。学生時代は90kg級でしたが、環境が変わり自然に体が大きくなりました。前年の全国警察柔道大会で松本勇治さん、鉄谷竜三さんに勝ち、講道館杯で、窪田茂さんに勝って3位に入るなど、目標としていた選手たちに近づいているという手応えを感じていました。

本番の全日本選手権は緊張しましたね。足の裏に汗をかき、試合場に上がる前にしっかりと拭いても、すぐに湿ってくる。勝ち上がるたびに体が震える感じでした。2回戦で、優勝候補の一人、真喜志慶治さんに対戦しました。当時の得意技は大外刈。それが掛からなければ内股。他の技はほとんど出来ませんでした。器用でないのでもとにかく先に攻めることを意識したのが良かった。相手への「指導」が重なり「警告」で勝ちました。3分半で手がパンパンになったのを覚えています。その後、2試合を内股で勝ってベスト4。正直自分がそこまで勝ち進めるとは思っていませんでした。準決勝では、当時2連覇中の篠原信一さんに対戦。前に出てくる圧力がすごくて、対抗するので精一杯でした。組んだら先に仕掛けていたんですが、最後は袖を絞られて動けず、内股で飛ばされました。豪快に投げられて逆にすっきりしましたね。

3位入賞は嬉しかったのですが、同時に「ここからがしんどいぞ」という気持ちもありました。事実、その後は徹底的に研究されました。私のスタイルは、引き手は相手の脇下、釣り手は奥襟でしたが、これを取らせてもらえなくなりました。苦しみましたね。元々それほど素質がある選手ではなかったので、自分のスタイルを変えることが出来なかった。ただなかなか勝てない時期にいろいろ努力したことが、いま指導する立場になって生きていると思います。28歳で引退。一度柔道と離れました。刑事になり、本部の捜査第四課に異動する機会もいただきましたが、「全日本選手権3位」と紹介してもらい、良くしていただきました。柔道には戻らないつもりでしたが、いろいろな方から「お前は柔道をやるべきだ」とお話をいただき、2年前から署で指導をしています。全日本選手権は、やはり自分の柔道人生で、一番大きな存在でした。出場は1回だけでしたが、3位に入ったことで、人生においても分岐点になったと思います。



# 全日本選手権を彩った各選手たち



## 中田善久

◎出場2回(平成13、15年)

5歳で柔道を始め、幼い頃から柔道と共に人生を歩んできました。全日本柔道選手権が開催される4月29日は私にとって柔道の日です。中学生の頃、古賀稔彦さんが軽量ながら次々と重量級選手を担ぎ上げ、決勝まで勝ち上がった平成2年大会が、一番記憶に残っています。「柔よく剛を制する」姿に感動しました。高校は、当時高知県で一番の強豪校だった高知学芸高校に進学しました。

恩師門田幸延先生は自身も3回の出場経験があり、「全日本選手権は特別な大会。柔道家であれば目指すべきだ」と言ってくださいました。当時の私にとってはまだ憧れでしたが、恩師の言葉をきっかけに、夢にそして徐々に目標に変わっていききました。

大学は当時「日本一厳しい柔道部」と言われた中央大学に進み、津沢寿志先生にご指導いただきました。稽古は厳しかったけれど、同じ目標、夢に向かって共に頑張れる仲間存在は大きかったです。厳しくも楽しく過ごしたこの4年間の鍛錬がその後の柔道人生の土台となっています。

卒業してセコムに入り、81kg級で日本一を目指していた平成13年に国体の関係で故郷の高知から四国予選に挑戦。優勝して出場が決まりました。25歳、初めて全日本の舞台に立ったこの時は、家族、恩師、会社の方々、先輩後輩がたくさん応援に駆けつけてくれました。嬉しかったですね。支えてくださった方々への恩返しのためでもありました。大会最軽量で出場し、2回戦で棟田康幸さんと対戦。勝つためには切ったり絞ったりという柔道をするべきだったのかもしれませんが、どこまで自分の技が通じるか、組み合せて勝負しました。「技あり」を取られ敗退。やはり圧力が強く、力の差を感じました。ただ、負けたことで「この舞台で勝ちたい」という強い気持ちが芽生え、筋トレを本格的に取り入れ、肉体改造を行いました。81kg級から90kg級へ上げ、2年後に2回目の出場。いま思うと心・技・体が一番充実していた時期でした。1回戦で九州代表の佐賀純一郎さんに得意の内股で一本勝ち。投げた瞬間、日本武道館に響き渡った歓声は今も鮮明に覚えています。この舞台で柔道を出来る喜びを感じた瞬間でした。

現在は兄の母校、一橋大学柔道部で師範として学生を指導しています。今も自分の経験を伝えられる場があること、同じ目標に向かって切磋琢磨できる同志がいることに幸せを感じています。これからも柔道の魅力、素晴らしさを伝え、一人でも多くの方が柔道をやりたいと思ってくれる環境を作ることが私の使命だと感じています。



心 技 体 MONTHLY MAGAZINE THE "BUDO" 人を育てる総合誌

## 武道

教育・健康・教養を三本柱に、役に立つ「武道人間学」の情報を満載!

毎月28日発行 定価 556 円(税込) 定期購読 1年間 6,666 円(税、送料込)

### ニュース

## 全日本柔道選手権大会

各種武道大会の様子を豊富な写真とともに紹介。(記事は 2024 年 6 月号に掲載予定)



記事は 2023 年 6 月号のもの

### ●好評連載中

- ・ 武道人の肖像 ・ 私の修業時代
- ・ 柳生新陰流兵法－術理と精神－
- ・ マンガ・日本武道ヒストリア

日本武道館の単行本

## 柔道 その歴史と技法

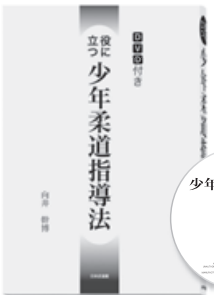


筑波大学名誉教授 藤堂良明 著

柔道の技法が、どのように形づくられてきたのかを、体術の起こり、柔術諸流派の歴史に遡り、丁寧にひもとく。さらには、全日本選手権やオリンピックを始めとした各種競技大会にみられる技法を分析し、今後の課題を探る。

四六判・上製・330頁・定価2,640円(税込)

## 役に立つ 少年柔道指導法



公益財団法人講道館 道場指導部課長 向井幹博 著

少年柔道指導の現場で役立つ好評連載を単行本化。付録のDVDには、写真では伝わりにくい部分を映像で収録。

収録時間170分を超える解説 DVD 付属!

A5判・並製・414頁・DVD付 定価2,640円(税込)



編集・発行 公益財団法人 日本武道館 〒102 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03(3216)5147 FAX 03(3216)5158  
ホームページ<https://www.nipponbudokan.or.jp>





新発売

## サウナスーツ

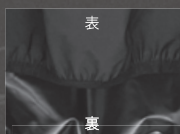
あらゆるシーンで必要な、  
ウェイトコントロールを支える  
サウナスーツが完成。  
着用することで、深部体温を上げ、  
発汗を促進します。

サウナスーツ 上衣  
JSS1C0B ¥12,100 本体価格 ¥11,000

サウナスーツ ズボン  
JSS1P0B ¥12,100 本体価格 ¥11,000

※□=サイズ

○素材:  
本体/ポリエステル89%・  
ポリウレタン11%  
(裏/ポリウレタン100%)  
リブ部分/ポリエステル100%  
○カラー:ブラック  
○中国製



コンパクトに収納。  
持ち運びに便利なポーチ付。



### おすすめの着用方法

トップス：地肌にコンプレッションウェアを着用しその上から  
当製品を着用  
パンツ：地肌にロングスパッツを着用しその上から当製品を着用

### 着用時のご注意

発汗作用を促進することを目的とした製品です。高温多湿や体調がすぐ  
れない場合は使用をお控えください。  
また、トレーニング時には適切な水分補給を行ってください。体調の異  
常を感じたらすぐに使用を中止してください。

ネックリブは、深部  
の熱を逃がさない  
設計。

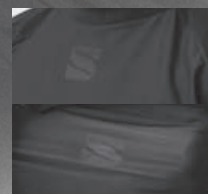


パンツの裾口も、フ  
ライスを広げることで  
フィット感と、動きや  
ずさがあります。

袖のリブはワイドなデザ  
インを採用し、グリップへの  
汗の侵入を軽減。



手首のフライスを広げ  
ることでフィット感があり、  
道衣の中に着用しても、  
もたつきがありません。



軽量で伸縮性があり、動  
作の妨げにならない設計。

### サウナスーツ 適合サイズ

サイズ	0号	1号	2号	3号	4号	5号	6号
身長	130~ 150cm	140~ 160cm	150~ 170cm	160~ 180cm	170~ 190cm	180~ 200cm	190cm~
胸囲	50~ 70cm	60~ 80cm	70~ 90cm	80~ 100cm	90~ 110cm	100~ 120cm	110~ 130cm
ウエスト	~50cm	50~ 60cm	60~ 70cm	70~ 80cm	80~ 90cm	90~ 100cm	100cm~
体重	~40kg	40~ 53kg	53~ 66kg	66~ 80kg	80~ 94kg	94~ 105kg	105~ 116kg

※上記サイズはあくまでも目安です。ご了承ください。

九櫻は、柔道に取り組む すべての人を応援します。

# JOV大将

国内・国際選手用

IJF公認

全柔連規格基準合格品

全柔連認証番号  
JOVC:JU0148  
JOVP:JU0149

JOVC(上衣)  
¥25,850(税込)

JOVP(ズボン)  
¥12,650(税込)

合計価格 ¥38,500(税込)

色/ホワイト  
上衣/綿70%・ポリエステル30%  
ズボン/綿100%  
防炎加工済柔道衣  
上下ロゴ刺しゅう(ゴールド二重線)入  
※二重線刺しゅう生地引張り強度規格値:2200N以上  
※帯別売り



# JOF

国内・国際選手用

IJF公認

全柔連規格基準合格品

全柔連認証番号  
JOFC:JU0127  
JOFP:JU0128

JOFC(上衣)  
¥22,000(税込)

JOFP(ズボン)  
¥12,100(税込)

合計価格 ¥34,100(税込)

色/ホワイト  
上衣/綿70%・ポリエステル30%  
ズボン/綿100%  
防炎加工済柔道衣  
上下ロゴ刺しゅう(ゴールド二重線)入  
※二重線刺しゅう生地引張り強度規格値:2200N以上  
※帯別売り



IJF公認

全柔連規格基準合格品

全柔連認証番号  
JU0018

認定帯 フェルト芯入試合用帯

# JOXB

¥4,620(税込)

●綿製 ●帯幅4.5cm  
●13本縫い(化粧箱入)



## 株式会社 九 櫻

大阪支店 TEL072-973-1021 東京支店 TEL03-3626-5081 九州支店 TEL0942-83-3800



# 「柔道はルール以前に技がある」——吉田寛治——

津村弘三

(講道館技術専門官)

## 成蹊大柔道部中国遠征

昭和55年2月から3月にわたる15日間、成蹊大学柔道部が中国に遠征した。同部OBの川西秀四段(段位は現段位又は最終段位、以下同じ)が、父親が経営する商社の北京駐在員として中国の体育施設建設に関わり、柔道指導を依頼された縁による。前年に国際オリンピック委員会への復帰を果たした中国がオリンピック種目の強化に力を入れ始めた頃で、第二次世界大戦後に中華全国体育総会の正式の要請のもとに柔道不毛の地だった中国で初めて指導をしたのが川西氏ということになる。川西氏は中国に古くから伝わる武術「摔跤」(シュアイジャオ)のチャンピオンらを集めた急造ナショナル柔道チームを指導した。摔跤は投技で成り立つ武術で寝技はない。稽古衣の上衣(写真1)は柔道衣を小さくしたような形態で半袖、競技化のため青白表裏である。後年ブルー柔道衣導入のための苦肉の策としてヨーロッパで考案されたりバーシブル柔道衣を見たとき、摔跤の稽古衣を思い出した。この上衣をロープで締め、下衣はいわゆるトレパンにズック製革底のシューズを履いていた。組み手は柔道という引き手は短い袖に親指を入れて握る。袖を取らずに直接手首を握ることもある。釣り手の方は、上衣が「ちゃんちゃんこ」のように体にぴったりするほど小さいので親指を差しにくく、引き手と同側の襟を、四指の中に取りことが多い。競技では3ラウンド制、柔道の一本勝ち相当のものはなく、技の決まり具合によって3点、2点、1点が与えられ、時間いっぱい戦った合計点数が競われる。投げられたら即負けということではないので、相手のいい技がきたらケレン味なく投げら

れる。理想的な乱取の様相とも言えるが、競技柔道では簡単に受身をとるわけにはいけないので「受ける、がんばる、返す」という感覚を植え付けるのに苦労した」と川西氏は語っていた。(写真2)

この遠征には顧問として講道館総務部長であり全日本柔道連盟事務局長でもあった細川熊蔵九段、講道館国際部長安部一郎十段、柔道部元師範の恩田和也八段(東京教育大学大学院修士課程昭和30年修了)にも同行していただいた。恩田先生と監督の吉田寛治先生(東京教育大学昭和41年卒)の指導や私たち学生との合同稽古では、柔道を習いたいという真摯な態度で懸命に柔道らしい組み手や動き、技を学びとろうという姿勢が見られた。しかし彼らは言わば二軍、三軍の北京体育学院の学生たちで、着替えもせず人民

解放軍のような緑色のコートを着たまま、マットの外から様子を眺めている一団が真のナショナルチームメンバー、中国青年隊だった。合同稽古の合間にそのうちの一人が歩み寄ってきて、私の帯を手に取り刺繍の名前を「チンツンホンサン…」と中国語読みでつぶやき睨みつけてきた。私と同じ体重別階級の選手だったのだろうか、恐ろしい目だった。

そして、試合になると彼らが出てきた。試合となれば勝敗にこだわり、付け焼刃の柔道はかなぐり捨てて摔跤スタイルである。観客8千人注視の柔道vs摔跤の他流試合、異種格闘技戦の様相を呈した。そうすると相手は名うての摔跤の名手たちである。苦戦は免れず、北京、天津、上海と転戦して中国青年隊に2敗、半数は青年隊メンバーでもある北京体育学院



写真1  
摔跤の稽古衣





写真2  
遠征中に披露された摔技のデモンストレーション

チームに1勝1敗、上海チームに2勝という結果に終わった。

この遠征中にアジア柔道連盟代表の国際柔道連盟(IJF)スポーツ委員会委員でもあった安部先生によるIJF審判規程の講習があった。当時のIJFには審判委員会はなく、審判分野はスポーツ委員会の管轄だった。《写真3》

「一本」「技あり」「有効」「効果」の評定の解説のとき、中国選手が、質問があると出てきて摔技の内股で鮮やかに投げ「これは？」と聞いた。安部先生は「一本」と答えられた。続いて同じ技で跳ね上げて腹ばいに落とした。「効果」と安部先生、当時腹ばいに倒したのは「効果」が与えられていた。「腹ばい効果」が廃止されたのは昭和61年(1986)である。続いて柔道で言えば浮落で見事に投げた。まさに投の形のごとくで安部先生はもちろん「一本」、続いて相手を前方にひきずり倒して腹ばいにさせて「これは？」、安部先生は「ノースコア」と答えられた。中国チームは「あっちの腹ばいはスコアで、こっちはなぜノースコアなのか？」と納得できない様子だった。私は吉田先生の隣でこの模様を見ていたが、そのとき先生がポツリとこぼした言葉が、表題の「柔道はルール以前に技がある」だった。

## 投技の評定と“冴え”

学生時代、稽古が終わった後、師範室で吉田先生から教えを受けたり、今流行りの「問答」を繰り返したりした。ときには「広東麺でも食べようか？」と、同

窓生にしかわからない話で恐縮だが、大学正門を出た五日市街道沿いにあった「松楽」という町中華から出前を取ったりして、夜半に及ぶこともあった。

ある晩、この「柔道はルール以前に技がある」の話になったことを記憶している。

先生 「投技の一本とは何か？」

私 「技をかけるか相手の技をはずして、相当の勢い、はずみで、だいたいい仰向けに倒したときです」

先生 「そうだ。“技をかけるかはずして”が前提条件になっているな。“技”とは何か？」

私 「“背負投”とか“内股”とか…」

先生 「柔道やったことがない人にそれがわかるか？」

私 「わからないと思います」

先生 「そのところだ。野球は一塁、二塁、三塁とまわって本塁に戻れば1点、バスケットボールはボールがリングを通れば得点とはっきりしている。ところが柔道では“技”が前提になっているので、“技”を知らない者にはどういう状況か理解できない。そこを私は“柔道はルール以前に技がある”と言っているんだ」

私 「ルールが先だと何がまずいのでしょうか？」

先生 「ルールに迎合した技になってしまう。技には本来あるべき“体”がある。その錬度を上げるのが柔道の修行であってそっちが先だ。試合はその習熟度を競うものと認識すべきなんだ」

試合審判規程上で投技はどのように定義されているか。嘉納師範は講道館の審判規程は「創設の翌年ころから出来ていた」(『新日本史武道篇』大正15年)と述べられており、明治17、8年頃には講道館で月次勝負、紅白勝負が始まったとされているので、何らかの規則、申し合わせのようなものが存在したことは間違いないだろう。ただし証拠となるものは残っていない。現在最も古い試合審判規程で確認できるものは、明治32年(1899)に大日本武徳会範士でもあった師範が委員長となり、講道館ほか大東流、四天流、楊心流、良移心当流、起倒流、竹内三統流、関口流といった諸流派の歴々を委員として定められた「武徳會柔術試合審判規程」である。そこでは投技一本の条件



写真3  
安部先生による審判規程講習の様子

を以下の様に定めている。《写真4》

投技ニシテ一本ノ勝ト認ムベキモノハ左ノ条件ヲ具フルコトヲ要ス

(イ)故意又ハ過チテ倒ルルニアラズシテ一方ヨリ業ヲ仕掛ケ又ハ相手ノ業ヲ外シタルガ為メ倒ルルコト

(ロ)業ノ種類ニヨリ必ズシモ正確ニハ定メ難キモ大体ニ於テ仰向ケニ倒ルルコト

(ハ)相當の「はずみ」又ハ勢ヲ以テ倒ルルコト

この武徳会規程はごく若干修正、追加して翌年明治33年(1900)に「講道館柔道亂捕試合審判規程」となった。投技一本の定めは昭和16年、南郷次郎館長の時代に(イ)項の「業ヲ外シタルガタメ」を「技ヲ外シハカハシタルガタメ」と追加した以外そのまま踏襲された。なお、戦後の昭和26年(1951)に講道館柔道試合審判規程は「学校柔道の復活、諸外国からの強き要請などによって、新時代に即応するよう改訂」(『新講道館柔道試合審判規程』『柔道』昭和26年5月号)され、投技一本の条件は「技を掛けるか又は相手の技を外して相当の勢い或いははずみで、大体仰向けに倒した時」と、戦前の規程の(イ)(ロ)(ハ)を一文にまとめた表現となった。講道館柔道試合審判規程はその後度重なる改正を経てきたが、この条文は現在まで全く手をつけられず残されている。

村上邦夫八段が「柔道理論審判論」(『作興』昭和3年4月号から連載)でこの条項を解説されている。《写真5》

(イ)項は評価に値する投技の前提条件を定めているものであるが、(ロ)(ハ)項について「(ロ)の条項は技の形から述べたもの」「(ハ)の条件は技の質から述べたもの」と棲み分け、(ハ)技の質については以下のように述べられる。

「投技の力の使い方が正しく、且つ巧みに用いられた場合、必ず技は“はずみ”又は“勢い”をもつものである。云い換えると、技らしい技で、力の使い方の鈍い、無理を含むという技には、人を首肯せしめる甘味は生じない。甘味は力の冴えから生ずるので、力の冴える所“はずみ”又は“勢い”が生ずるのである。この条項は特に審判者は勿論修行者も重んずべき事であって、これなくしては技の技たる価値はないと考えてよろしい」

「冴えた技」は「はずみ」「勢い」を伴う、逆に言えば「はずみ」「勢い」は「冴え」の一言で括することができるということで



写真4  
師範による審判規程の解説(『柔道』大正5年)

ある。「冴えた技」こそが一本なのである。さらに村上八段は規程の条文と異なるアプローチの仕方も提言される。

「他の方法で考えて見ると、更に鮮やかに一本の内容を定めることが出来る。それは

- 1 技を掛ける機会の良否
- 2 途中の経過の完不完
- 3 投げた結果の完不完

の三項目から考えて見るのである」

「機会」「経過」「結果」と投技を3つの局面、フェーズに分けて見ることの提唱である。規程の(ハ)、村上八段の言う「技の質」は、2の経過、すなわちプロセスであり、(ロ)の「技の形」は3の結果、リザルトである。村上八段は「ややもすると結果のみに囚われて判断」してしまうことを戒められている。リザルト=着地した体勢だけでなく、プロセス=「勢い」「はずみ」=「冴え」もしっかりと評価しなければならない。厳に注意を要するところである。

この条文の解説の終わりにはこのように記されている。

「審判の標準が高い事は、修行者の目標を高くする事であって、審判が標準を低くすると、知らず知らずの間に修行者の標準を低くし、技として完全なものを修得せしめずに、終わらしめる事にならぬとも限らぬ」

かつて、あるオリンピックで一本の評価がかなり低くなってしまったことがあった。そのときジム・コジマIJF審判理

事が「あんなの一本にしてたら、明日から子どもたちは何を目標に稽古するのよ」と嘆かれていたことを思い出す。なお、当時もジュリー制度は存在していたが「ポイントの高低には口を出さない」という縛りがあり、審判理事といえども進行中の試合の評定に干渉することはできなかったことを申し添えておく。

## 冷暖自知

「冴え」のある理にかなった技が決まったときの感覚は、禅語に言う「冷暖自知」であると思う。この言葉は曹洞宗の開祖道元禅師による大著「正法眼蔵」への導入書「弁道話」などにあるが、冷たい暖かいはずから知る、すなわち体験による自覚の重要性を示し、言語による理解だけでは不十分、さらには不可能なこともあることを論している。試しに広辞苑を引いてみる。広辞苑と言え言葉による物事の解説の拠り所となるものであるが、そこには「冷たい」は「ひややかであること」とある。それでは「ひややか」とは何か引いてみると「つめたいさま」とあり堂々巡りとなる。感覚を言葉で示す限界がここに見られる。「冷たい」をわからせるには、頭で理解させようとするよりも、氷の塊に触らせることだ。触れた瞬間の「ヒヤッ!」で冷たいという意味を完全に理解できる。

柔道も同じようなところがある。五教

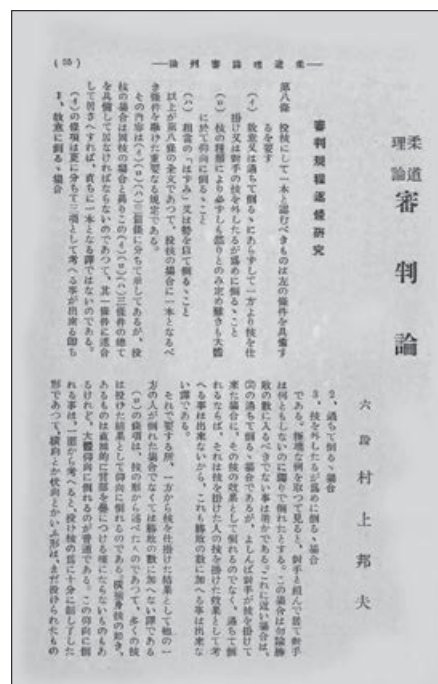


写真5  
村上邦夫八段「柔道理論審判論」



の技の第一教、一番目の出足払は払うタイミングの取り方が難しい。早いと軸足が浮かず、遅いと体重が乗ってしまっているの重くて払えない。道場管理室長を務められていた和村公男八段は、「こんな難しい技を最初にもってきたのは、柔道の投技のタイミングの取り方の難しさ、決まったときの爽快感を最初に味わわせる意味もあると永岡先生に聞いた」とおっしゃっていた。永岡秀一十段は大正9年の五教の技改訂委員の一人である。指導者に絶妙のタイミングの出足払で投げられ、自らも試行錯誤を繰り返してタイミングをとらえることができるようになって、柔道投技の「さえ」を「自知」できるようになる。率直に言って「やって、やられて初めてわかる柔道」であり、そこに逃げたくなることもしばしばだが、言葉で伝える努力は決して怠ってはいない。

## 柔道は敗者を決める競技？

編集部にて在籍し月刊『柔道』の発行に

携わっていた頃、各種大会ではカメラ席で写真撮影をしていた。

IJFの東京グランドスラムの時だった。ゴールデンスコア方式の延長戦で「マテ」がかかるとカメラ席から一斉にため息が漏れる。「取るなよ…」のつぶやきも混じる。カメラマンの方々はスパッとした冴えた技が発揮される瞬間を待ち構えているのだ。しかしその願いも空しく「ハンソクマケ！」の宣告、「またこれかよ…」のぼやきに他社のカメラマンが言い放った。「お前知らなかったのか？ 柔道の大会はな、勝ちを決めるんじゃないんだ。負けを決めてるんだよ」。カメラ席でドッと笑いが起こった。「勝者ではなく敗者を決める試合」と一般の方々にとられている事実はショックだったが勉強になった。なんとかしなければと思った体験だった。

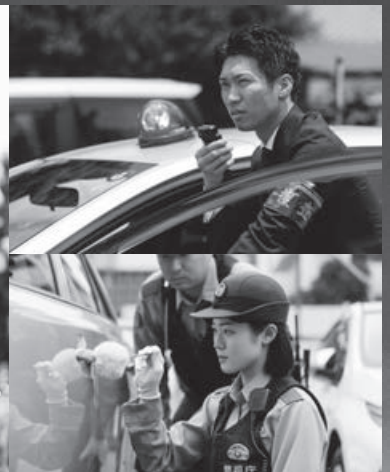
ダイナミックな技の応酬による果敢な試合の展開を期す試みは古くからあった。昭和37年(1962)の第一回東京関東学生体重別選手権大会では、優勢勝ちの基準は技あり以上、延長戦1回でも優劣がつか

なかった場合は両者失格というルールが導入された。《写真6》「負けてはいない、しかし勝てなかった」ことを重視したものである。この大会の結果は、重量級と中量級はともに準決勝戦2試合のうちの1試合が失格となり、決勝戦の実試合なく残っている選手の優勝が決まり、軽量級は準々決勝戦4試合のうち3試合までもが失格試合となり、準決勝戦以上は試合なく、準々決勝戦で唯一残った選手の優勝となった。この大会を報ずる柔道新聞の記事では「勝ち残るためにはいやでも相手を倒さなければならぬという引分失格主義」「一発勝負に出る積極的意欲を盛り立てようとする意識」(昭和37年5月1日号)と、その試みに賛辞を送りながらも、見出しは「決勝戦がない試合」と辛口のものだった。

平成18・19年度(2006-07)の1期だけ全日本柔道連盟審判委員会委員を務めたことがあった。委員会の折には毎回事前に醍醐敏郎十段のお部屋を訪れ、討議される議題についての先生のご意見を伺い、

# 警視庁

警察官採用



令和6年度 第2回 男性警察官[Ⅰ・Ⅲ類]・女性警察官[Ⅰ・Ⅲ類]

第1次試験日: 令和6年9月15日(日)[Ⅰ類]  
令和6年9月14日(土)[Ⅲ類]

申込受付期間: 8月13日(火)午前9時～8月23日(金)午後5時

※インターネット申込みのみ

◇ 警視庁では、武道の段位やスポーツ大会の出場歴など、皆さんがお持ちの資格や経歴などについて、その内容を評定し採用試験の成績の一部としています。

◇ 詳細については、警視庁採用サイトをご確認ください。



警視庁採用センター

0120-314-372 TEL: 03-3581-4321(代表)

令和6年度 第3回 男性警察官[Ⅰ・Ⅲ類]・女性警察官[Ⅰ・Ⅲ類]

第1次試験日: 令和7年1月12日(日)

申込受付期間: 11月29日(金)午前9時～12月10日(火)午後5時

※インターネット申込みのみ

採用  
サイト



LINE



採用  
パンフレット





ご指導を承って会議に臨んでいたが、あるとき先生はおっしゃられた。「講道館柔道と競技柔道を一致させることは難しい」。そして続けられたのが「私がやってしまったことだが講道館の審判規程をIJFの規程に合わせ過ぎたと後悔しているよ。できれば君たちの世代で元に戻してほしい。ルールが精神を変える。精神が技を台無しにしてしまうんだ…」というお言葉だった。

吉田寛治先生も同じようなことをおっしゃっている。最後に中国遠征からの帰国後、先生が『近代柔道』誌昭和55年5月号に「成蹊大学中国遠征日誌」と題する報告を寄稿された中の一文を紹介して終わることにする。

「国際ルールを通じてわかったことは、柔道はルールによって技術を発展・変革する運動種目とは根本的に異なるのではないかということです。柔道においてはルール以前に技術がある。そここのところを理解せずにルールから技術を追求することで大きく変質してしまい、本来の独自性を失ってしまう危険があると思うのです」

昨年の本大会プログラムで醍醐先生の

### 第一回 東京関東学生柔道体重別選手権 大会試合要綱

一、主催 東京関東学生柔道連盟  
二、期日 昭和三十七年四月二十二日（日）午前九時半開場、午前十時試合開始  
三、場所 講道館  
四、申込方法・参加申込先、講道館学柔連事務局（申込締切日）四月九日（月）午後五時。（計量日）四月二十一日（土）午後三時から四時まで、講道館四階第一会議室において行なう。但し関東学柔連の選手で希望する者は二十二日午前八時～九時で差支えない。  
五、試合方法 各級（軽量六八kg未満、中量六八kg～八十kg未満、重量八十kg以上）により、トーナメント試合を行なう。  
六、試合時間 各級とも八分、準決勝、決勝は十分。  
七、審判 講道館柔道試合審判規程による。但し、主審一、副審一とする。（回試合は講道館柔道審判規程三十一條を次の通り試験的に実行する。優勢勝の判定は左の各号によって行なう。）  
（1）試合者の一方が「技有り」をとってもその試合者が禁止事項を犯し警告の判定を受けた時は優勢勝とはならない。  
（2）試合者の一方が禁止事項を犯し警告の判定を受けた時、（3）優勢のつかぬ場合は延長を一回（三分間）しそれでも優勢の判定が困難な場合は両者共失格とする。但し、決勝戦で優勢の判定のつかぬ場合は「アヅカリ」とする。  
八、選手資格 東京関東学柔連加盟大学の在籍者で連盟に登録した選手に限り、昭和三十七年四月一日以後実業団その他の職域チームに属しその試合に出場した者は資格なきものとし、各計量に該当する者で計量を受けた者に限るが、不適当者については補充を認める。  
九、選手 各級につき各校二名の参加を認める。又補欠は各級につき各校一名とする。

写真6  
第一回東京関東学生柔道体重別選手権大会要綱（『柔道』昭和37年4月号）

教えが現在まで続く私の柔道観と述べさせていただいたが、審判規程を考えると吉田先生の「ルール以前に技術がある」が基底になっている。ルールで技を殺さず、ルールで技を活かし、さらにルール

で技を発展させるようにしなければならないと思う。

講道館の審判規程は「規程」となっている年、「規定」となっている年があるが、本稿では「規程」に統一した。

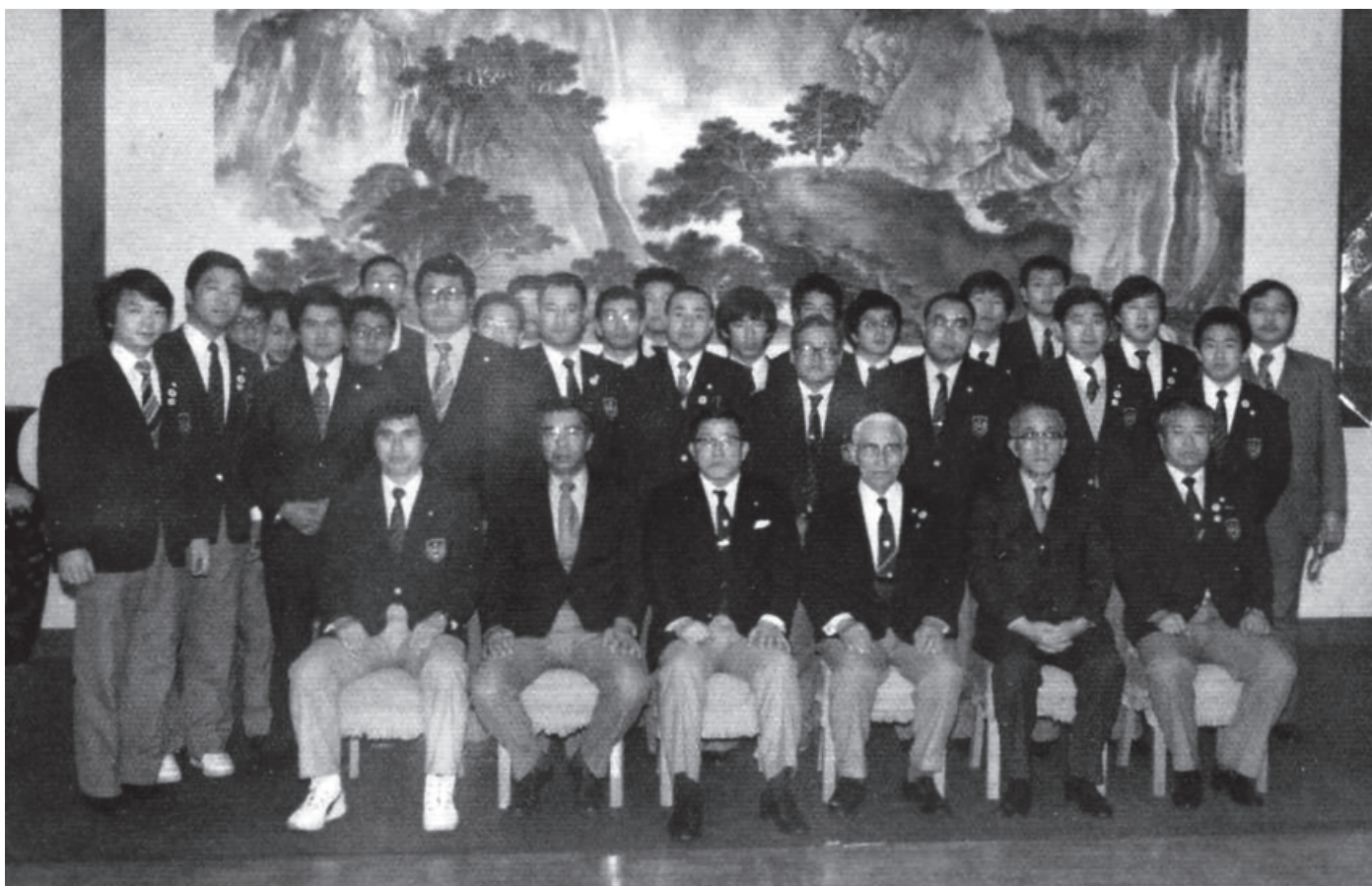


写真7  
上海にて 座位向かって左端が吉田寛治先生、最後列右端が川西秀氏



年度	優勝	第二位	第三位
昭和23	松本 安市	伊藤 徳治	吉松義彦 香月光雄
24	石川隆彦 木村政彦		醍醐敏郎 伊藤徳治
25	石川 隆彦	広瀬 巖	松本敏郎 醍醐安市
26	醍醐 敏郎	吉松 義彦	石川隆彦 羽鳥輝久
27	吉松 義彦	石川 隆彦	醍醐敏郎 山本博
28	吉松 義彦	伊藤 秀雄	石川隆彦 松本市
29	醍醐 敏郎	中村 常男	柄本芳孝 夏昇吉
30	吉松 義彦	夏井 昇吉	曾根康治 伴庭一秀
31	(第1回世界選手権代表決定戦のため中止)		
32	夏井 昇吉	曾根 康治	山舗公義 橋元親
33	曾根 康治	山舗 公義	小田雄三 河野雅英
34	猪熊 功	神永 昭夫	渡辺喜三郎 高橋彰
35	神永 昭夫	猪熊 功	重松正成 小田雄三
36	神永 昭夫	猪熊 功	山岸均 田中章雄
37	竹内 善徳	長谷川博之	佐藤和久 松永満雄
38	猪熊 功	長谷川博之	刀禰政弘 村井正芳
39	神永 昭夫	坂口 征二	長谷川博之 猪熊功
40	坂口 征二	松阪 猛	古賀武 前田行雄
41	松永 満雄	坂口 征二	松阪猛 前島延行
42	岡野 功	佐藤 宣踐	佐藤幸二 松阪猛
43	松阪 猛	岡野 功	佐藤宣踐 松永満雄
44	岡野 功	前田 行雄	村井正芳 園田勇
45	篠巻 政利	河原 月夫	園田勇 安斎奏人
46	岩釣 兼生	佐藤 宣踐	村井正芳 二宮和弘
47	関根 忍	岩田 久和	西村昌樹 佐藤宣踐
48	上村 春樹	高木長之助	藤猪省三 諸井三義
49	佐藤 宣踐	二宮 和弘	重松義成 遠藤純男
50	上村 春樹	高木長之助	山下泰裕 篠巻政利
51	遠藤 純男	上口 孝文	高木長之助 上村春樹
52	山下 泰裕	遠藤 純男	二宮和弘 高木長之助
53	山下 泰裕	高木長之助	遠藤純男 河原月夫
54	山下 泰裕	遠藤 純男	松井勲 上村春樹
55	山下 泰裕	遠藤 純男	松井勲 河原月夫
56	山下 泰裕	遠藤 純男	松井勲 白瀬英春
57	山下 泰裕	松井 勲	日蔭暢年 斉藤仁
58	山下 泰裕	斉藤 仁	藤原敬生 正木嘉美
59	山下 泰裕	斉藤 仁	松井勲 正木嘉美
60	山下 泰裕	斉藤 仁	滝吉直樹 正木嘉美

年度	優勝	第二位	第三位
61	正木 嘉美	藤原 敬生	松井勲 斉藤仁
62	正木 嘉美	元谷金次郎	岡田龍司 岡田弘隆
63	斉藤 仁	正木 嘉美	森成寿 大迫明伸
平成元	小川 直也	関根 英之	渡辺直勇 山本旗六
2	小川 直也	古賀 稔彦	三谷浩一郎 金野潤
3	小川 直也	金野 潤	吉田秀彦 中谷弘
4	小川 直也	大滝 賢司	甲斐康浩 三谷浩一郎
5	小川 直也	金野 潤	養父直人 増地克之
6	金野 潤	吉田 秀彦	養父直人 小川直也
7	小川 直也	篠原 信一	養父直人 中村佳央
8	小川 直也	三谷浩一郎	賀持道明 竹村典久
9	金野 潤	村元 辰寛	石田輝也 増地克之
10	篠原 信一	井上 康生	中村佳央 増地克之
11	篠原 信一	棟田 康幸	猿渡琢海 三谷浩一郎
12	篠原 信一	井上 康生	藤原康博 下出善紀
13	井上 康生	篠原 信一	村元辰寛 小嶋新太
14	井上 康生	棟田 康幸	大村昌弘 猿渡琢海
15	井上 康生	鈴木 桂治	篠原信一 森大助
16	鈴木 桂治	井上 康生	棟田康幸 森大助
17	鈴木 桂治	村元 辰寛	生田秀和 高井洋平
18	石井 慧	鈴木 桂治	生田秀和 泉浩
19	鈴木 桂治	石井 慧	片渕慎弥 井上康生
20	石井 慧	鈴木 桂治	棟田康幸 高井洋平
21	穴井 隆将	棟田 康幸	生田秀和 立山広喜
22	高橋 和彦	立山 広喜	穴井隆将 棟田康幸
23	鈴木 桂治	穴井 隆将	本郷光道 高井洋平
24	加藤 博剛	石井 竜太	百瀬優 鈴木桂治
25	穴井 隆将	原沢 久喜	石井竜太 垣田恭兵
26	王子谷剛志	上川 大樹	永瀬貴規 西潟健太
27	原沢 久喜	七戸 龍	王子谷剛志 西潟健太
28	王子谷剛志	上川 大樹	七戸龍 原沢久喜
29	王子谷剛志	ウルフ アロン	七戸龍 加藤博剛
30	原沢 久喜	王子谷剛志	加藤博剛 小川雄勢
31	ウルフ アロン	加藤 博剛	小川雄勢 太田彪雅
令和2	羽賀龍之介	太田 彪雅	石内裕貴 佐々木健志
3	太田 彪雅	羽賀龍之介	王子谷剛志 垣田恭兵
4	斉藤 立	影浦 心	原沢久喜 小川雄勢
5	王子谷剛志	羽賀龍之介	田嶋剛希 太田彪雅

# 全日本柔道連盟が求める指導者



## 1. 講道館柔道の魅力を正しく伝えることができる指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、嘉納師範の遺された以下の「理想の柔道教師」像をよく理解し、その実践に努めることができる。

理想として、柔道指導者は、攻撃防禦の技術に堪能で、勝負上の理論も心得、同時に、体育家として必要となる知識を有し、かつその方法にも修熟し、また教育者としては、道徳教育の理論にも精通し、稽古の方法にも達し、さらに柔道の原理を社会生活に応用する上において、精深なる知識を有し、方法をわきまえている事が必要である。（意訳）

## 2. 社会に有益な人材を育成する指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、目先の勝敗に拘ることなく、生涯を通じた人間的成長を長期的視点にたって支援することができる。
- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、社会に有益な人材を育成し、豊かな文化の創造や柔道の社会的価値を高めることができる。

## 3. 人権を尊重し多様性に配慮する指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、いかなる差別や暴力・暴言や、ハラスメントも容認せず、すべての人々の権利や尊厳、人格を尊重し、公平に接することができる。

## 4. 安全に配慮しコンプライアンスを徹底する指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、事故を起こさないとの確たる信念を持ち、事故を予防するための十分な知識を有し、事故を予防する行動をとることができる。
- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、法令や社会的規範を守り、社会の一員として模範となる態度・行動をとることができる。

## 5. 柔道 MIND を実践する指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、礼節を重んじ、自らの意思で正しい行動を選択して堂々とふるまい、他者からの尊敬を得られるよう努めることができる。
- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、人々が、お互いに感謝・信頼し合い、かつ協力・融和・協調（「相助相譲」）できる環境をつくることができる。

## 6. 自己研鑽により成長を続ける指導者

- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、柔道修行の究極の目的をよく理解し、目的が達成できるように真摯に取り組みながら、柔道実践者と共に成長することができる。
- ◆全日本柔道連盟が求める指導者は、常に高い向上心を持って学び続け、最新のルールや指導法等にも精通し、それらを柔道実践者に言語的に伝達することができる。



全日本柔道連盟では、「世界で活躍できる選手の発掘・育成は、日々熱心に指導されている指導者の皆さまの並々ならぬ努力と熱意の賜物である」と考えております。そこで、当連盟としては、さらなる柔道の普及・振興を推進するため、平成26年から、優秀な成績を収めた選手を育成した指導者を表彰しております。

今年度は、2023世界選手権ドーハ大会と第19回アジア競技大会のメダリストが指導を受けた指導者を表彰いたします。  
(以下、一覧※敬称略)

No.	指導者名	所属(当時)	選手名	選手所属(大会時)	該当大会	階級	メダル
1	いわなが 晋 岩永 晋	養心会少年柔道部	永瀬 貴規	旭化成(株)	2023ドーハ世界選手権大会	男子 81kg級	銅メダル
2	おかだ ひろたか 岡田 弘隆	つくばユナイテッド柔道	村尾三四郎	ジャパンエレベーター サービスホールディングス(株)	2023ドーハ世界選手権大会	男子 90kg級	銅メダル
3	かたふちけんたろう 片渚健太郎	佐賀市立昭栄中学校	田中 龍馬	筑波大学 4年	第19回アジア競技大会(2022/杭州)	男子 66kg級	金メダル
4	しみず まさかず 清水 正一	河野道場	角田 夏実	SBC 湘南美容クリニック	2023ドーハ世界選手権大会 第19回アジア競技大会(2022/杭州)	女子 48kg級	金メダル
5	こだま くみ 児玉 久美	南筑高等学校	古賀 若菜	山梨学院大学 4年	2023ドーハ世界選手権大会	女子 48kg級	銅メダル
6	ふちさき ふみお 渚先 文雄	兵庫少年こだま会	阿部 詩	パーク 2 4 (株)	2023ドーハ世界選手権大会	女子 52kg級	金メダル
7	わたなべ ひでき 渡辺 秀樹	大明見スポーツ少年団	舟久保遥香	三井住友海上火災 保険(株)	2023ドーハ世界選手権大会	女子 57kg級	銀メダル
8	しらかわ みわ 白川 美和	天理高等学校	新添 左季	自衛隊体育学校	2023ドーハ世界選手権大会	女子 70kg級	金メダル
9	くろいわ ひろたか 黒岩 浩隆	田主丸中学校	素根 輝	パーク 2 4 (株)	2023ドーハ世界選手権大会	女子 78kg超級	金メダル
10	いたがき こうた 板垣 耕太	淑徳高等学校	高市 未来	コマツ	第19回アジア競技大会(2022/杭州)	女子 63kg級	金メダル
11	ありいずみ まさひで 有泉 昌英	高川学園中学校	田中 志歩	JR 東日本	第19回アジア競技大会(2022/杭州)	女子 70kg級	金メダル
12	よしどみ ひさよし 吉富 久悦	山口市柔道協会	廣瀬 順子	SMBC 日興証券(株)	杭州2022アジアパラ競技大会	女子 57kg級	金メダル



# 職人のこだわり お届けします

宮内庁御用達  
懐石料理

# 青山

AOYAMA  
SINCE 1954

仕出し・お弁当・冷凍総菜

東京都渋谷区桜丘町29-31

Tel: 03-3462-5511

Fax: 03-3462-5540

<https://www.kaiseki-aoyama.jp/>





# 技名称一覧

投技 [68 本]	
手技 (てわざ) / 16 本	
1 背負投 (せおいなげ)	
2 一本背負投 (いっぽんせおいなげ)	
3 背負落 (せおいおとし)	
4 体落 (たいおとし)	
5 肩車 (かたぐるま)	
6 掬投 (すくいなげ)	
7 帯落 (おびおとし)	
8 浮落 (うきおとし)	
9 隅落 (すみおとし)	
10 山嵐 (やまあらし)	
11 帯取返 (おびとりがえし)	
12 双手刈 (もろてがり)	
13 朽木倒 (くちきたおし)	
14 踵返 (きびすがえし)	
15 内股すかし (うちまたすかし)	
16 小内返 (こうちがえし)	
腰技 (こしわざ) / 10 本	
1 浮腰 (うきごし)	
2 大腰 (おおごし)	
3 腰車 (こしぐるま)	
4 釣込腰 (つりこみごし)	
5 袖釣込腰 (そでつりこみごし)	
6 払腰 (はらいごし)	
7 釣腰 (つりごし)	
8 跳腰 (はねごし)	
9 移腰 (うつりごし)	

10 後腰 (うしろごし)	
足技 (あしわざ) / 21 本	
1 出足払 (であしはらい)	
2 膝車 (ひざぐるま)	
3 支釣込足 (ささえつりこみあし)	
4 大外刈 (おおそとがり)	
5 大内刈 (おおうちがり)	
6 小外刈 (こそとがり)	
7 小内刈 (こうちがり)	
8 送足払 (おくりあしはらい)	
9 内股 (うちまた)	
10 小外掛 (こそとがけ)	
11 足車 (あしぐるま)	
12 払釣込足 (はらいつりこみあし)	
13 大車 (おおぐるま)	
14 大外車 (おおそとぐるま)	
15 大外落 (おおそとおとし)	
16 燕返 (つばめがえし)	
17 大外返 (おおそとがえし)	
18 大内返 (おおうちがえし)	
19 跳腰返 (はねごしがえし)	
20 払腰返 (はらいごしがえし)	
21 内股返 (うちまたがえし)	
真捨身技 (ますてみわざ) / 5 本	
1 巴投 (ともえなげ)	
2 隅返 (すみがえし)	
3 引込返 (ひきこみがえし)	
4 俵返 (たわらがえし)	

5 裏投 (うらなげ)	
横捨身技 (よこすてみわざ) / 16 本	
1 横落 (よこおとし)	
2 谷落 (たにおとし)	
3 跳巻込 (はねまきこみ)	
4 外巻込 (そとまきこみ)	
5 内巻込 (うちまきこみ)	
6 浮技 (うきわざ)	
7 横分 (よこわかれ)	
8 横車 (よこぐるま)	
9 横掛 (よこがけ)	
10 抱分 (だきわかれ)	
11 大外巻込 (おおそとまきこみ)	
12 内股巻込 (うちまたまきこみ)	
13 払巻込 (はらいまきこみ)	
14 小内巻込 (こうちまきこみ)	
15 蟹挟 (かにばさみ)	
16 河津掛 (かわづがけ) * 禁止技	

固技 [32 本]	
抑込技 (おさえこみわざ) / 10 本	
1 袈裟固 (けさがため)	
2 崩袈裟固 (くずれけさがため)	
3 後袈裟固 (うしろけさがため)	
4 肩固 (かたがため)	
5 上四方固 (かみしほうがため)	
6 崩上四方固 (くずれかみしほうがため)	

7 横四方固 (よこしほうがため)	
8 縦四方固 (たてしほうがため)	
9 浮固 (うきがため)	
10 裏固 (うらがため)	
絞技 (しめわざ) / 12 本	
1 並十字絞 (なみじゅうじじめ)	
2 逆十字絞 (ぎゃくじゅうじじめ)	
3 片十字絞 (かたじゅうじじめ)	
4 裸絞 (はだかじめ)	
5 送襟絞 (おくりえりじめ)	
6 片羽絞 (かたはじめ)	
7 片手絞 (かたてじめ)	
8 両手絞 (りょうてじめ)	
9 袖車絞 (そでぐるまじめ)	
10 突込絞 (つっこみじめ)	
11 三角絞 (さんかくじめ)	
12 胴絞 (どうじめ) * 禁止技	
関節技 (かんせつわざ) / 10 本	
1 腕緘 (うでがらみ)	
2 腕挫十字固 (うでひしぎじゅうじがため)	
3 腕挫腕固 (うでひしぎうでがため)	
4 腕挫膝固 (うでひしぎひざがため)	
5 腕挫腋固 (うでひしぎわきがため)	
6 腕挫腹固 (うでひしぎはらがため)	
7 腕挫脚固 (うでひしぎあしがため)	
8 腕挫手固 (うでひしぎてがため)	
9 腕挫三角固 (うでひしぎさんかくがため)	
10 足緘 (あしがらみ) * 禁止技	

## 大会でよく見られる技解説

### 【内股】

相手を真前、または右(左)前隅に崩し、右(左)脚を相手の両脚の間に振り入れ、後ろ股で内股を払い上げて投げる技



### 【大外刈】

相手を真後、または右(左)後隅に崩し、右(左)脚で、相手の体重の乗っている右(左)脚を、刈り上げて後方へ倒す技



### 【隅返】

相手を真前、または右(左)前隅に崩し、その脚下に仰向けに身体を捨てながら、右(左)すねのあたりで相手の左(右)脚の内 腿を蹴り上げ、前方へ投げる技



### 【背負投】

相手を真前、または右(左)前隅に崩し、右(左)腕を相手の右(左)腋下に入れて、相手の身体を背後に背負い上げ、右(左)肩越しに投げる技



### 【袈裟固】

相手を肩から脇へ、斜めに抑え込む技。そのとき、右(左)足は前、左(右)足は後にバランスよく開き、膝が立たないように踵につける



### 【送襟絞】

相手後方から、一方の手で相手の横襟を握り、他方の手は腋下からその反対襟を握って、両手を引き絞るようにして頸部を絞める



### 【腕挫十字固】

相手の肘関節を逆に伸ばして極める関節技。相手の腕を足で挟み、自分の股を支点として相手の肘関節を逆に曲げる



# はじめてでもわかる！ 皇后盃・全日本選手権大会のルール

監修：全日本柔道連盟審判委員会

## 柔道の始まり

柔道は、1882(明治15)年に教育者として名高い嘉納治五郎師範によって創設されました。

柔道の歴史については、講道館のホームページをご覧ください。

<http://kodokanjudoinstitute.org/doctrine/history/>



## 大会申し合わせ事項

### ■試合時間

準決勝まで5分間、決勝戦は8分間

### ■試合の決着

- ・「一本」を取った場合
- ・「技あり」を2回取った場合(合わせ技一本)
- ・試合終了時に「有効」もしくは「技あり」のスコアで差が出た場合
- ・相手選手が軽微な違反により「指導」を4回受けた場合(累積による反則負け)
- ・相手選手が負傷等により棄権した場合
- ・相手選手が危険行為等を行い「反則負け」となった場合
- ・試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行わず、旗判定にて僅少差をもって勝敗を決する

## スコア

柔道の技の種類は投技が68本、固技が32本あり、併せて100本になります。  
「皇后盃全日本女子柔道選手権大会」および「全日本柔道選手権大会」におけるスコアには「一本」「技あり」「有効」の3種類があります。



一本

### ①投技

技を掛けるか、相手の技を返して、4つの基準「スピード、力強さ、背中が着く、相手をコントロールする」を満たして相手を投げた場合

### ②抑え込み

「抑え込み」が宣告されてから相手が20秒逃げられなかった場合

### ③絞技・関節技

絞技または関節技により相手が「参った」をした場合、もしくは戦闘不能となった場合



技あり

### ①投技

4つの基準「スピード、力強さ、背中が着く、相手をコントロールする」のどれか1つでも満たしていない場合

### ②抑え込み

「抑え込み」が宣告されてから相手が15秒以上20秒未満逃げられなかった場合



有効

### ①投技

4つの基準「スピード、力強さ、背中が着く、相手をコントロールする」の中で2つを満たしていない場合

### ②抑え込み

「抑え込み」が宣告されてから相手が10秒以上15秒未満逃げられなかった場合

旗判定



試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行わず、旗判定にて僅少差をもって勝敗を決します。その基準は試合態度、技の効果と巧拙、及び反則の有無等を総合的に比較し、攻撃を高く評価するため「指導」の数のみを持って判断の材料とはしません。

## ペナルティ

ペナルティには、重大な違反に対する「反則負け」と軽微な違反に対する「指導」があります。

重大な違反とは、相手あるいは自身に危害を及ぼす行為や柔道精神(相手を敬う礼の精神)に反する行為が該当し、軽微な違反とは、消極的な姿勢あるいは消極的な組手が該当します。



# よくみる「指導」(軽微な違反) 9 選

2020-2022 年の国際柔道連盟主催大会で最も多くとられた 9 つの指導を紹介します。



## 消極的な姿勢

戦う精神に反して消極的な姿勢であること

例) 立ち姿勢において組む前にでも組んだ後にでも、何の攻撃動作もとらないこと。



## 偽装的な攻撃

攻撃しているような印象を与えるが、明らかに相手を投げる意思のない攻撃を行うこと



## 組み合わない

相手に攻撃させないことを目的に故意に組み合わないこと



## 場外指導

立ち姿勢、寝技のいずれにおいても、自ら故意に場外に出ること



## 防御姿勢

極端な防御姿勢をとること



## 押し出し

相手を故意に場外に押し出すこと



## 帯から下への攻撃・防御

立ち姿勢において、脚を掴む行為、下穿きを掴む行為、手や腕を使って相手の脚をブロックもしくは押す行為のこと



## 膝や脚を使って組手を切る

膝や脚を使って組手を切ること



## 標準的ではない組手

標準的ではない組手で直ちに攻撃をしないこと

例) クロスグリップ、片襟、帯を掴む、ピストル/ポケットグリップ、等



くわしくは  
全日本柔道連盟  
ホームページ  
をご覧ください



A photograph showing two judo athletes in white uniforms (gi) competing on a yellow mat. One athlete is in a defensive stance, while the other is attacking. A referee in a black shirt is visible in the background. The background also shows a crowd of spectators and a banner for 'METU HOLDINGS' and 'ASAHI'.



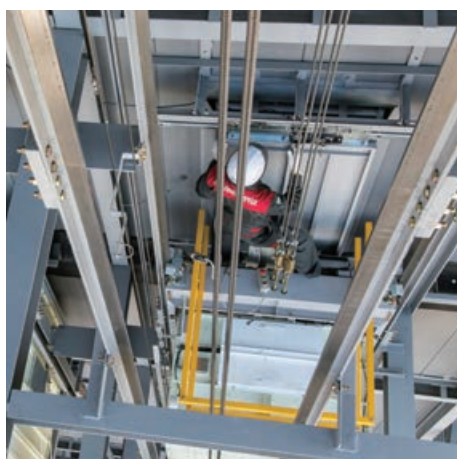
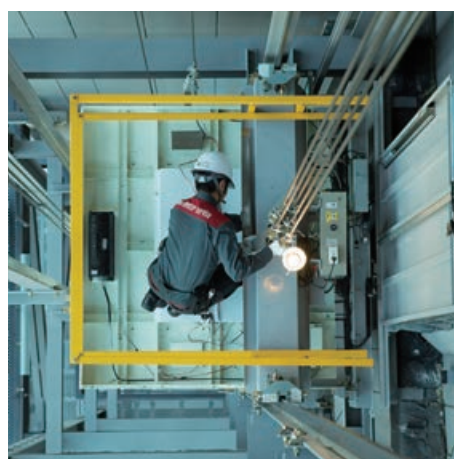
王子谷  
GS反則負







何よりも安全のために  
見えないからこそ手を抜かない  
信頼を礎に



エレベーター等昇降機メンテナンス・リニューアル

エスカレーターメンテナンス

立体駐車場メンテナンス



**japan elevator service**

**ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社**

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル5階 設立:1994年10月/東証プライム市場(6544)

<https://www.jes24.co.jp/>

男子

60

kg級

7/27(土)



永山 竜樹

NAGAYAMA Ryuju

SBC湘南美容クリニック

1996年4月15日生(28歳) 北海道出身  
大成中学→大成高校→東海大学  
世界選手権：2018年,19年3位

# 2024 パリ・オリン 日本代表内定

応援  
よろしく  
お願いします!

66

kg級

7/28(日)



阿部 一二三

ABE Hifumi

パーク24(株)

1997年8月9日生(26歳) 兵庫県出身  
神戸生田中学→神港学園高校→日本体育大学  
世界選手権：2017年,18年,22年,23年優勝,19年3位  
オリンピック：東京2020金メダル

73

kg級

7/29(月)



橋本 壮市

HASHIMOTO Soichi

パーク24(株)

1991年8月24日生(32歳) 静岡県出身  
東海大相模中学→東海大相模高校→東海大学  
世界選手権：2017年優勝,18年,22年2位,21年,23年3位

81

kg級

7/30(火)



永瀬 貴規

NAGASE Takanori

旭化成(株)

1993年10月14日生(30歳) 長崎県出身  
長崎大学教養学部附属中学→長崎日大高校→筑波大学  
世界選手権：2015年優勝,22年,23年3位  
オリンピック：2016年リオ大会銅メダル  
東京2020金メダル

90

kg級

7/31(水)



村尾 三四郎

MURAO Sanshiro

ジャパンエレベーターサービスホールディングス(株)

2000年8月28日生(23歳) アメリカ出身  
姫路灘中学→桐蔭学園高校→東海大学  
世界選手権：2023年3位

100

kg級

8/1(木)



ウルフ アロン

WOLF Aaron

パーク24(株)

1996年2月25日生(28歳) 東京都出身  
文京第一中学→東海大浦安高校→東海大学  
世界選手権：2017年優勝,19年3位  
オリンピック：東京2020金メダル

100

kg超級

8/2(金)



斉藤 立

SAITO Tatsuru

ジャパンエレベーターサービスホールディングス(株)

2002年3月8日生(21歳) 大阪府出身  
上宮中学→国士館高校→国士館大学  
世界選手権：2022年2位





# ピック 選手

階級別個人戦：7月27日(土)～8月2日(金)  
男女混合団体戦：8月3日(土)

東京オリンピックが1年遅れだったこともあり、あっという間にオリンピックイヤーを迎え、3か月後に迫ったパリ・オリンピック。皆さん、盛り上がってきていますか？

柔道人気『世界一』と言われている今年のオリンピック開催地フランス・パリは、オリンピックに向けて、すでに大変な盛り上がりを見せているようです。前回の東京オリンピックでは、日本柔道は9個の金メダルと1個の銀メダル、1個の銅メダルを獲得、史上最高の成績を収めました。東京オリンピック以上の成績を目指し、熱く燃える14人の我が日本代表選手たちに、熱いエールをお願いします！

女子

48

kg級

7/27(土)



**角田 夏実**

TSUNODA Natsumi

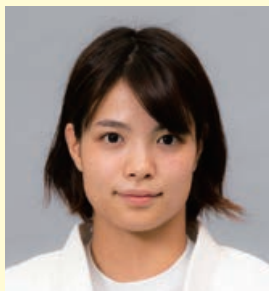
SBC湘南美容クリニック

1992年8月6日生(31歳) 千葉県出身  
勝田台中学→八千代高校→東京学芸大学  
世界選手権：2017年2位(-52kg)  
2021年,22年,23年優勝(-48kg)

52

kg級

7/28(日)



**阿部 詩**

ABE Uta

パーク24(株)

2000年7月14日生(23歳) 兵庫県出身  
夙川学院中学→夙川学院高校→日本体育大学  
世界選手権：2018年,19年,22年,23年優勝  
オリンピック：東京2020金メダル

57

kg級

7/29(月)



**舟久保 遥香**

FUNAKUBO Haruka

三井住友海上火災保険(株)

1998年10月10日生(25歳) 山梨県出身  
富士学苑中学→富士学苑高校  
世界選手権：2022年,23年2位

63

kg級

7/30(火)



**高市 未来**

TAKAICHI Miku

コマツ

1994年4月7日生(30歳) 東京都出身  
相原中学→淑徳高校  
世界選手権：2018年,19年2位,14年,15年3位  
オリンピック：2016年リオ大会5位,東京2020代表

70

kg級

7/31(水)



**新添 左季**

NIIZOE Saki

自衛隊体育学校

1996年7月4日生(27歳) 奈良県出身  
天理中学→天理高校→山梨学院大学  
世界選手権：2023年優勝,22年3位

78

kg級

8/1(木)



**高山 莉加**

TAKAYAMA Rika

三井住友海上火災保険(株)

1994年8月27日生(29歳) 宮崎県出身  
沖水中学→鹿児島南高校

78

kg超級

8/2(金)



**素根 輝**

SONE Akira

パーク24(株)

2000年7月9日生(23歳) 福岡県出身  
田主丸中学→南筑高校  
世界選手権：2019年,23年優勝  
オリンピック：東京2020金メダル

# 2024世界選手権 日本代表選手

## 男子



60  
kg級

5/19日

永山 竜樹

NAGAYAMA Ryuju  
SBC湘南美容クリニック

1996年7月15日生(28歳) 北海道出身  
大成中学→大成高校→東海大学



60  
kg級

5/19日

中村 太樹

NAKAMURA Taiki  
国士舘大学4年

2002年7月14日生(21歳) 山梨県出身  
国士舘中学→国士舘高校



66  
kg級

5/20月

田中 龍馬

TANAKA Ryoma  
SBC湘南美容クリニック

2001年12月28日生(22歳) 佐賀県出身  
昭栄中学→佐賀商業高校→筑波大学



66  
kg級

5/20月

武岡 毅

TAKEOKA Takeshi  
パーク24(株)

1999年6月5日生(24歳) 大阪府出身  
興本扇学園中学→足立学園高校→國學院大学



73  
kg級

5/20月

石原 樹

ISHIHARA Tatsuki  
ジャパンエレベーターサービス  
ホールディングス(株)

2001年6月26日生(22歳) 群馬県出身  
宝泉中学→前橋商業高校→日本体育大学



81  
kg級

5/21(火)

老野 祐平

OINO Yuhei  
旭化成(株)

2001年6月6日生(22歳) 福岡県出身  
白銀中学→長崎日大高校→帝京平成大学



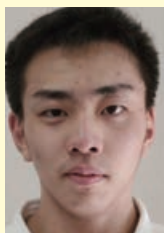
90  
kg級

5/22(木)

田嶋 剛希

TAJIMA Goki  
パーク24(株)

1997年7月27日生(26歳) 千葉県出身  
国士舘中学→国士舘高校→筑波大学



100  
kg級

5/23(金)

新井 道大

ARAI Dota  
東海大学2年

2005年1月29日生(18歳) 埼玉県出身  
埼玉栄中学→埼玉栄高校



100  
kg超級

5/23(金)

太田 彪雅

OTA Hyoga  
旭化成(株)

1997年12月9日生(26歳) 栃木県出身  
足利第一中学→白鷗大足利高校→東海大学

## 団体戦代表

5/24(金)



73kg以下

田中 龍雅

TANAKA Ryuga  
(19歳/筑波大学2年)



90kg以下

川端 倖明

KAWABATA Komei  
(18歳/国士舘大学1年)



90kg超

中野 寛太

NAKANO Kanta  
(23歳/旭化成(株))



# アブダビ大会

5/19  
-5/24

5月19日(日)から5月24日(金)まで(24日は男女混合団体戦)、アブダビで開催される世界柔道選手権大会。2か月後にはパリ・オリンピックが行われるため、本人の希望により出場する60kg級の永山竜樹以外は、パリ・オリンピックの代表

選手は出場せず。パリ・オリンピックに向けて熾烈な代表争いをしてきた有力選手、あるいは、次代のエース候補と呼ばれる選手たちが日本代表として世界に挑みます。熱い声援をお願いします!

## 女子

**48**  
kg級

5/19(日)

**古賀 若菜**  
KOGA Wakana  
JR東日本

2001年6月28日生(22歳) 福岡県出身  
田主丸中学→南筑高校→山梨学院大学

**52**  
kg級

5/19(日)

**白石 響**  
SHIRAISHI Hibiki  
コマツ

2001年5月31日生(22歳) 熊本県出身  
天明中学→熊本西高校→環太平洋大学

**52**  
kg級

5/19(日)

**大森 生純**  
OMORI Kisumi  
JR東日本

2000年11月28日生(23歳) 大阪府出身  
高槻第七中学→帝京高校→帝京大学

**57**  
kg級

5/20(月)

**玉置 桃**  
TAMAOKI Momo  
三井住友海上火災保険(株)

1994年9月16日生(29歳) 北海道出身  
岩見沢市立光陵中学→藤村女子高校

**63**  
kg級

5/21(火)

**堀川 恵**  
HORIKAWA Megumi  
パーク24(株)

1995年10月18日生(28歳) 長野県出身  
丘中学→松商学園高校→筑波大学

**70**  
kg級

5/22(水)

**田中 志歩**  
TANAKA Shiho  
JR東日本

1998年6月29日生(25歳) 山口県出身  
高川学園中学→聖光高校→環太平洋大学

**78**  
kg級

5/22(水)

**濱田 尚里**  
HAMADA Shori  
自衛隊体育学校

1990年9月25日生(33歳) 鹿児島県出身  
国分南中学→鹿児島南高校→山梨学院大学

**78**  
kg超級

5/23(木)

**富田 若春**  
TOMITA Wakaba  
コマツ

1997年4月9日生(27歳) 東京都出身  
相原中学→埼玉栄高校

**78**  
kg超級

5/23(木)

**新井 万央**  
ARAI Mao  
日本体育大学3年

2003年5月23日生(20歳) 東京都出身  
東松山北中学→埼玉栄高校

## 団体戦代表

5/24(金)

**57kg以下**

**高野 綺海**  
TAKANO Ayami  
(26歳/日本エースサポート(株))

**70kg以下**

**本田 万結**  
HONDA Mayu  
(19歳/東海大学2年)



## 医療法人 仁寿会

〒569-0802

大阪府高槻市北園町 13 番 19 号

TEL 072-684-3377 / FAX 072-684-2333



## 社会福祉法人 春樹会

〒569-1131 大阪府高槻市郡家本町 13 番 18 号

TEL 072-681-2020 / FAX 072-681-5151



## 地域の医療

## 福祉の明日を見つめる



## 日本エースサポート株式会社

〒569-0802 大阪府高槻市北園町 13 番 19 号

TEL 072-684-2217 / FAX 072-684-2266



# 先輩が、刑務所に入った。

柔道が強く、格好良くて、私の憧れだった先輩。今年の春から刑務所で働いているという。「先輩、警察官になったんですか?」と聞くと、「違うよ、刑務官」だと言って笑った。知らなかった、そんな職業があったのか。罪を犯してしまった人の更生をお手伝いすることが、主な仕事らしい。「大変そうですね」と言ったら、「でも、お給料は高めだし、安定もしているし」と大人な意見。そして最後に、「誰かの未来につながる仕事だしね」と誇らしげな顔をした先輩は、やっぱり私の憧れた先輩だった。



**刑務官募集**

<http://www.moj.go.jp/>



**法務省**  
MINISTRY OF JUSTICE



# スマホ防犯は、ALSOK。



今の時代、「暮らしの安心」もみんなのものになるべきだ。

そう考え ALSOK がたどり着いたのが、

身近なスマホを使って自分で防犯ができるスマホ防犯です。

カメラとスマホアプリが連携し、リアルタイムで自宅をチェック。

取付もかんたんで月額料金もおトク。

誰でも気軽に始めやすく、アップグレードもでき、

生涯にわたって家族の安全安心がしっかり守られます。

これぞまさに、新時代のホームセキュリティです。

**HOME ALSOK Connect**

24時間  
365日受付 |  0120-39-2413

サンキュー

ツヨイ

ミカタ



# Challenge

柔道は、相手に対する「尊敬」と「感謝」の信念を持って戦うスポーツです。  
〈みずほ〉はその信念に共感し柔道競技を応援し、  
アスリートたちとともに、未来へ向かって挑戦し続けます。



〈みずほ〉は、柔道と挑戦するすべての人を応援しています。

ともに挑む。ともに実る。

**MIZUHO**

年間スポンサー 一覧

**Times**

**PARK24 GROUP**

**Mizuno**

**Knt 近畿日本ツーリスト**

**東洋水産**

**SEIKO**

**KOMATSU**

**三井住友海上**  
MS&AD INSURANCE GROUP

**JAL**

**POCARI SWEAT**

**JR東日本**

**シニズオクト**

**大和証券  
グループ**

**MIZUHO**

**V-TECHNOLOGY**

**airweave**

**HTS 羽田タートルサービス(株)**

**AsahiKASEI**

**日本エースサポート  
仁寿会**

**japan elevator service**  
ジャパンエレベーターサービスグループ

**センコー**

**ALSOX**  
Always Security OK

**NEX NIPPON  
EXPRESS**  
日本通運株式会社

**TPR**

**豆蔵**  
MAMEZOU  
K2TOP HOI DINGS

**Caen**

**伊藤超短波**

**KUSAKURA**

**BESTERRA**  
壊すことを、美しく。ベストセラ

**登める柔道場  
Fujitas**

**青山**

**JR九州**



私たちは全日本柔道連盟を応援しています

## 特別賛助会員 一覧



伊藤忠商事



今治造船株式会社



信越化学工業株式会社



双日株式会社

トヨタ自動車株式会社



NIPPON STEEL



日鉄物産

NIPPON STEEL TRADING



HANWA

2023年9月1日現在 五十音順

## 賛助会員一覧(法人・団体)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 株式会社タナチョー

東急ホテルズ&リゾーツ株式会社 ニッセイ保険エージェンシー株式会社

日本中央競馬会

公益社団法人愛知県柔道整復師会

公益社団法人茨城県柔道整復師会

株式会社オオヤギ

川崎市柔道協会

医療法人光仁会 光仁会病院

興和ティムス株式会社

三荘企業株式会社

鈴木レディースクリニック

株式会社大興

株式会社ディーウェイスペース

公益財団法人戸高育英会

公益社団法人新潟県柔道整復師会

日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社

学校法人花田学園 日本柔道整復専門学校

公益社団法人福岡県柔道整復師会

公益社団法人北海道柔道整復師会

公益社団法人青森県柔道整復師会

ACSジャパン株式会社

公益社団法人香川県柔道整復師会

公益社団法人岐阜県柔道整復師会

宗教法人 高念寺

興和ビルメンテナンス株式会社

株式会社三友社

関彰商事株式会社

医療法人社団高橋胃腸科内科医院

学校法人東海大学 望星学塾

公益社団法人栃木県柔道整復師会

株式会社西鐵工所

公益社団法人日本柔道整復師会

株式会社ビックバン

株式会社フジテレビジョン

公益社団法人宮城県柔道整復師会

EBAテック株式会社

SISビジョン株式会社

公益社団法人神奈川県柔道整復師会

京葉ガス株式会社

光文堂株式会社

公益社団法人埼玉県柔道整復師会

公益社団法人静岡県柔道整復師会

公益財団法人全国高等学校体育連盟柔道専門部

公益社団法人千葉県柔道整復師会

東京広告株式会社

医療法人積心会 富沢病院

日鉄建材株式会社

公益財団法人日本中学校体育連盟柔道競技部

医療法人社団白毫会

株式会社不動テトラ

公益社団法人山口県柔道整復師会

有限会社伊志嶺商会

公益社団法人大阪府柔道整復師会

神奈川県柔道連盟 警察地区

健心館島中道場

株式会社光陽社

有限会社サハスネット

湘南地区柔道協会

株式会社ソーケン

株式会社千葉薬品

公益社団法人徳島県柔道整復師会

公益社団法人長野県柔道整復師会

日鉄鋼板株式会社

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

公益社団法人広島県柔道整復師会

株式会社ブレインズ・ネットワーク

横須賀地区柔道協会

匿名10社

敬称略、地区順、五十音順

2024年4月1日現在

# 子どもたちの明日を育てるために

## 賛助会員募集

嘉納治五郎師範が終生取り組まれた、礼節を重んじ、柔道を通じた人づくり。柔道で培った逞しさと品性、知性といった精神性を併せ持つ、りっぱな青年をつくりあげて社会に送り出すことを目指しておられました。本連盟では、この原点に立ち返り、青少年の育成に取り組んでおります。賛助会員制度とは、みなさまから賜りましたご支援をそのために活用させていただく制度です。柔道を愛するみなさまの深いご理解とご賛同をお待ちしております。

### 年会費

法人・団体会員 1口 50,000円  
個人会員 1口 5,000円



<法人・団体会員>

### 入会方法

ご入会は連盟ホームページ <http://www.judo.or.jp> を  
ご確認のうえ、下記の方法でお申込みください。



<個人会員>

- (1) WEBフォーム 右記QRコードを読み取ってお申込みいただけます。  
(2) F A X 03-3812-3995  
(3) 郵送 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館本館5階  
公益財団法人全日本柔道連盟 企画課宛

### 会員資格有効期限

入金日が所属する年度の4月1日から翌年3月31日まで  
ただし、1月1日から3月31日までの期間に入金した場合には、翌年度の会員資格を得ます。

### 会員種別

お申込み口数により賛助会員の種別が異なります。

ゴールド会員：10口以上  
シルバー会員：5～9口  
ブロンズ会員：1～4口

### 特典

会員種別に応じた特典を設けさせていただいております。  
資格を得た時点から遡って特典を受けることはできません。

	法人会員			個人会員		
	ゴールド	シルバー	ブロンズ	ゴールド	シルバー	ブロンズ
連盟ホームページ・各種紙面への氏名掲載	任意	任意	任意	任意	任意	任意
広報誌「まいんど」送付(年4回)	●	●	●	●	●	●
記念色紙	3枚	3枚	2枚	2枚	1枚	—
柔道手帳	2冊	2冊	1冊	2冊	2冊	1冊
新年会・壮行式へのご招待	●	—	—	—	—	—
各種大会へのご招待						
全日本選抜体重別選手権大会	—	—	—	—	—	—
皇后盃全日本女子選手権大会	指定席10枚	指定席6枚	指定席2枚	指定席4枚	指定席2枚	指定席1枚
全日本選手権大会	1F指定席4枚	1F指定席2枚	自由席2枚	指定席2枚	自由席2枚	自由席1枚
講道館杯全日本体重別選手権大会	自由席 1口毎に各日2枚(上限各日10枚)			自由席4枚	自由席2枚	—
グランドスラム東京	自由席 1口毎に各日2枚(上限各日10枚)			自由席4枚	自由席2枚	—

※各種大会へのご招待につきましては、社会情勢等により変更になる場合がございますのでご了承ください。



# 講道館情報局

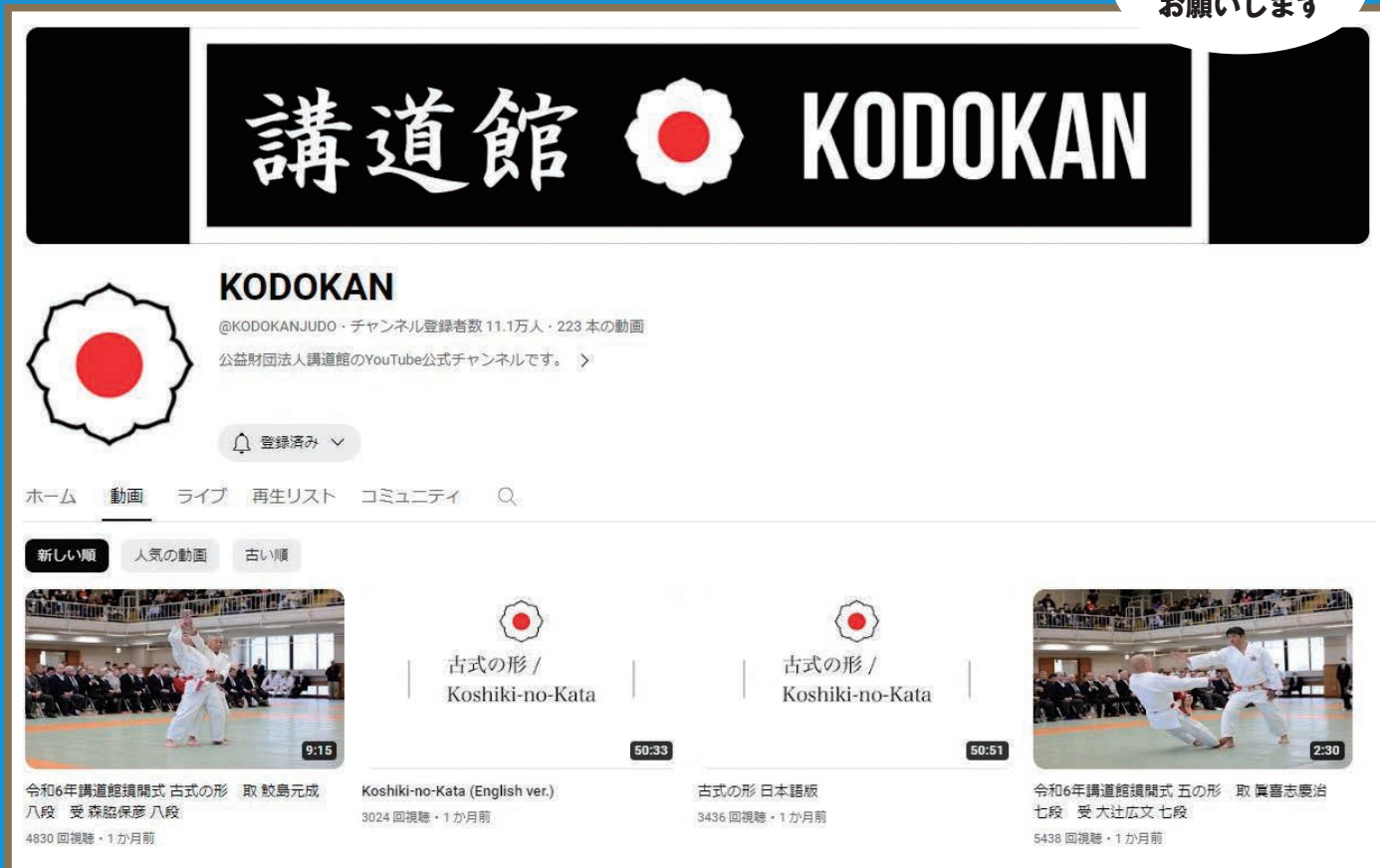
## 公式YouTubeチャンネル開設!



- すべての技の動画が無料でご覧いただけます。
- 安全な指導法、名選手・指導者の技動画も好評更新中。

試合の決まり技の確認や稽古にご活用ください!

チャンネル登録  
お願いします



## 講道館ホームページ



本大会に関する情報も掲載中!

- 大会概要
- 地区予選結果
- 組み合わせ
- チケット情報
- 全日本柔道選手権大会とは

新URL <https://kdkjudo.org/>



## 講道館の機関誌『柔道』



1898(明治31)年10月創刊以来、  
柔道界の正確な記録と  
指導者の教養作りを  
担ってまいりました。  
『故きを温ねて新しきを知る』ために、  
ぜひご活用ください。

### 雑誌『柔道』購読

全国の主要な書店で購入するか、講道館編集部へ直接お申し込みください。

定価 590円(税込)

※お申し込み

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館編集部

Tel.03-3818-4191 / Fax.03-3811-5765

好立地、アクセス抜群!

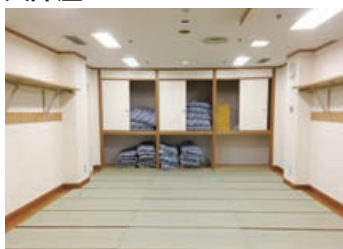
# 講道館の宿泊施設を ぜひご利用ください!!



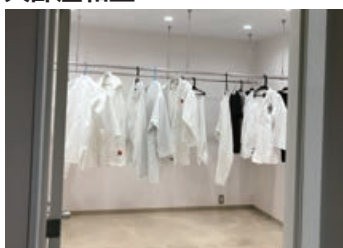
東京の中心・水道橋という好立地にある  
講道館国際柔道センター新館3階の宿泊施設は  
館員であればどなたでも利用可能です。  
講道館での合宿等はもちろん、  
プライベート、ビジネス利用を問わず、  
都内へお越しの際にはぜひご利用ください。



大部屋



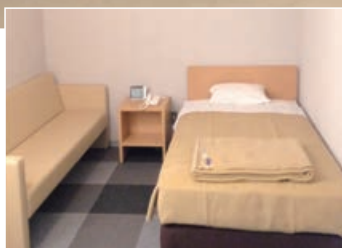
大部屋和室



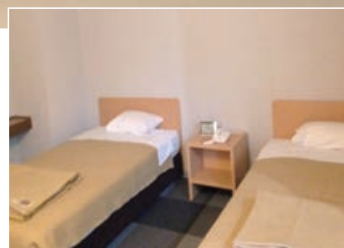
乾燥室



シングルルームの洗面台



特別シングルルーム



特別ツインルーム

## ■料金表

※税込価格

大部屋 (12人部屋) : 和室 1、2段ベッド部屋 4	5部屋 (内1部屋は女子専用)	1名1泊	3,300円
シングルルーム	16部屋	1名1泊	6,600円
特別シングルルーム (バス・トイレ付)	4部屋	1名1泊	8,800円
特別ツインルーム (バス・トイレ付)	2部屋	1室1泊	14,300円
ソファベッドご利用料金 (シングルルーム、特別シングルルーム、 特別ツインルームでご利用いただけます)		1名1泊	3,300円

※2024年4月1日より料金を改定させていただきます。

※キャンセルポリシー  
当日のキャンセルは宿泊料金の100%をいただきます。  
前日および2日前のキャンセルは宿泊料金の50%をいただきます。  
3日前までのキャンセルにはキャンセル料はかかりません。

お問い合わせ

(公財)講道館 総務部 Tel.03-3811-7155 Fax.03-3818-3614



# 柔道界から 暴力・パワハラ・セクハラ をなくそう!



(公益財団法人) 全日本柔道連盟      コンプライアンス委員会

## これまでのコンプライアンス委員会活動状況とリーフレット作成の目的

全日本柔道連盟は、2013年8月に「暴力行為根絶宣言」の発出とともに「コンプライアンスホットライン」「目安箱」を制定し、「柔道における暴力の存在は決して許さない」という強い決意のもと、柔道指導者に限らず柔道を行うすべての者に対し、いかなる暴力行為も行わないことを強く求めてきました。加えて、2015年5月に「暴力・体罰・セクハラ問題を学ぶためのガイドブック」を発行し、2018年10月には「柔道界からパワハラをなくそう」リーフレットを発刊、全柔連HP・大会プログラム等に広く掲示し、「暴力・パワハラ・セクハラ」のない柔道界を目指してきました。

しかし、一時は改善の兆しを見せたかに思えた「暴力・パワハラ・セクハラ」問題でしたが、「選手の能力向上のためには指導の中で暴力も必要である」と妄信する指導者や年長者による問題

行為は収まることなく、今日までに多くの「暴力・パワハラ・セクハラ」等事案を処分の対象としてきました。また、表に出て処分の対象になった事案だけでなく、「指導とパワハラの境界線が不鮮明」と捉えてしまい、「指導の一環である」として表面化しない問題事案も多く存在すると言われています。

今回のリーフレットでは、実際に柔道指導に当たっている指導者が持っている「自分の指導は、大丈夫だろうか?」という問いに答えるべく、過去にあった事例を取り上げ、より具体的に、「自分自身にも起こりうる」として考えることができるようにすることを目標にしました。

このリーフレットが、柔道指導者がより良い指導を実現する一助になれば幸いです。

## 「暴力・パワハラ・セクハラ」を起こさないために

### 1. 勝負がすべてではありません

柔道には、負けて学ぶことも多くあります。「勝敗」以外にも大事なものがあつたことを認識し、勝利至上主義に陥らないようにしましょう

### 2. 加害者も、被害者も不幸になります

「暴力・パワハラ・セクハラ」は、被害者だけでなく、加害者にとつても不幸をもたらすことを自覚し、思わず手が出そうになったり、暴言を吐きそうになったときには、自分を抑える忍耐力、コントロールする能力を持ちましょう。他者を支配できると思つてはいけません

### 3. プレーヤーの自発性を引き出すコーチング

プレーヤーの気づきを促して、自ら考え、工夫することを通して成長へと導いていく指導を基本としましょう

### 4. 学び続ける姿勢を持つ

コーチングに関する最新の情報を手に入れ、プレーヤーに新しい技術や知識などを的確にアドバイスできるよう、指導者自らが常に学び続ける姿勢を持ちましょう



実践! グッドコーチング  
～暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して～  
PHP 研究所

## 柔道 MIND 活動のねらいを、今一度考えてみましょう

相手への尊敬、信頼を示すものが礼法であり、他人に依存していることを自覚するのが真の「自立」です。それにより相手への感謝、尊敬の念が生じ「礼節」となります。さらに、「**M 礼節**」と「**I 自立**」の相互作用により正々堂々とした「**N 高潔**」さが示され、自ずと信頼が寄せられるようになり「**D 品格**」が完成されます。木を成長させていくことで、この相乗成長する過程をデザインして、柔道 MIND をわかりやすく表現いたしました。



嘉納治五郎師範は、「世の中の為に有為な人間を育成する教育理念」を最も重視しました。師範は、柔道を学ぶ者が到達すべき最高の目標として、

「**精力善用**」(善を目的に心身の力を最も有効に使用すること)

「**自他共栄**」(自分と他人との調和をはかり、お互いが繁栄して行くようにすること)

という言葉を残されました。この2つの言葉の意味をしっかりと理解するとともに、日々鍛錬し技を磨く中で、心の修養に努め、「自己を完成し、世の中の役に立つ人になる」という究極の目的に向かって努力して行くことが最も大切なことです。柔道修行は、人として正しく成長する為に有用であるばかりでなく、望ましい社会を作りだすことにも大きく貢献できる要素を持っています。





# 柔道界における

暴力

パワハラ

セクハラ

最近の主な実例

## 分類

## 内容

暴行・傷害を発生させる行為(必要以上に強く投げたり、マイッタしても絞め続ける行為も含む)

Q1 指導の一環であれば、多少殴ったり、けったりしても良いのではないですか？

Q2 体罰は愛のムチであり、選手も親も望んでいます。「勝たせるため」にしているのだから許されますよね？

Q3 生徒の言動に大きな問題(悪ふざけ、いじめ等)がありました。このような場合、体罰も必要ではないですか？

事例1 顧問が練習中、気合いが入っていない部員の顔をプラスチック製バットで殴打し、ケガを負わせた。

事例2 監督が選手の試合に臨む態度、結果が気に入らないと、出場した2名に対して顔を平手打ち、足蹴り、突飛ばす等の暴力行為を行った。

事例3 生徒が絞め技・関節技に弱いことを懸念した指導者が、「自分たちもこの厳しさを乗り越えて強くなった」という信念で、乱取り稽古中に何度も生徒を絞め技で失神させた。



**Answer** 「暴力行為や暴言、精神的圧迫などで威嚇して、自分の言うことを聞かそうとする行為」は、虐待的行為として社会的に大きな問題とされています。残念ながら、柔道活動の現場では、「性根を叩きなおす」「気合を入れる」「愛のムチ」等の言葉を大義名分に、指導の為には必要なこともあると黙認されることがあります。しかしながら、現代社会において決して許されるものではありません。指導者自らが学ぶことを忘れず、選手との対話を通して、言葉での説明や手本を示すことで指導し、本人の気づきを大切にしながら励まして行くといった指導を心掛けましょう。

脅迫・名誉棄損・侮辱・暴言・ひどい叱責(人格を否定するような言葉、むやみに怒鳴る行為も含む)

Q1 高い目標を達成するためには、集中力が必要です。「気を抜いたり、ミスをすると指導者に叱られる」という緊張感は必要なのではないですか？

Q2 指導者の「熱い思い・情熱」を選手たちに伝える為、あえて怒鳴ったり、厳しい言葉で叱責することは必要なことではないですか？

事例1 ある柔道部顧問は練習態度や試合結果が気に入らないと、「死ね」「殺す」「ごみ」などの罵声を繰り返して浴びせた(暴力・体罰を伴う)

事例2 ある選手が、部のルールに違反した。指導者は、「連帯責任」という名目で、同学年の選手全員を寮の外出禁止とし、食事当番や電話当番を強制したため、選手は学生の本分である授業や練習に出ることができなくなった。

事例3 ある指導者は、気に入らない選手が挨拶しても無視し、アドバイスを求めても「お前にはしない」と言い放った。



**Answer** 当然、相手を侮辱したり、差別発言を繰り返すことは、パワハラとなります。指導者としては、「反発心を力に変える」「気合を入れなおす」「叱咤激励する」といった考えで、あえて大声で怒鳴ったり、汚い言葉を使っているつもりでも、選手は自尊心を傷つけられ精神的に落ち込むことが多いものです。暴言によって生徒や選手が精神的に追い込まれ、自殺に至ったケースもあります。暴言は、ときに人権侵害に結びつくのです。スポーツ指導においては、肯定的な言葉がけや矯正を目的とした言葉がけが重要であるとされています。それはまた、主体的に考え行動できる選手を育てることにつながります。指導者と選手に上下はなく、対等な関係であるという意識を持ち、一般社会で受け入れられる言動を心がけ、互いに気持ちよく活動できる環境をつくりましょう。

## ① 身体への攻撃

## ② 精神的な攻撃

## 隔離・仲間外し・口をきかない等の行為(無視、練習相手をしない、指導をしない行為も含まれる)

**Q 1** 生意気で指導者の言うことを聞かない選手には、その行為が皆に迷惑をかけることをわからせるために無視することも必要なのではないですか？

**Q 2** 部の伝統に逆らったり、集団の輪を乱す部員には、「試合に出さない」「稽古に参加させない」等の罰は、必要なのではないですか？

**事例1** 先生から急な連絡を受けた上級生が、「練習に遅刻を繰り返す」「指示されたことを守らない」下級生にだけわざと、練習場所や時間の変更を伝えなかった。

**事例2** ある指導者が選手に対し、「俺の前でよく柔道ができるな」「あんな身勝手な奴とは稽古するな」等の理不尽な発言を繰り返し、稽古をさせなかった為、選手は孤立した。



**Answer** 指導者の方針に従わない選手に対して、「無視」「稽古に参加させない」「試合に出さない」等によって、集団から孤立させる行為は、パワハラとなります。これが、「いじめ」等に発展し、退部や転校等につながれば社会的問題にもなりかねません。上下関係による「強制と服従」での指導は、選手が自発的に柔道を楽しむ権利を奪い、「選手自らが考え工夫する力」を育むことを阻害してしまいます。指導者は、「自分が一番正しいという妄想」を改め、他の人の意見にも耳を傾け、常に学び続ける姿勢を持ちましょう。

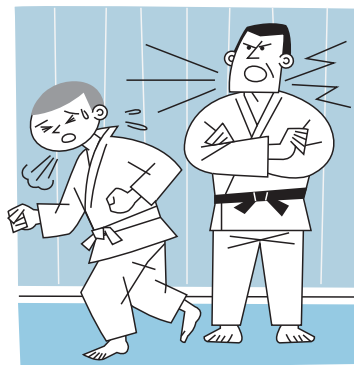
## 明らかに不要なことや実行不可能なことを要求すること(合理的な理由のない過度な練習も含む)

**Q 1** ある選手が手を抜いた稽古をしたので、罰として猛暑の道場で倒れこむまで打込みをさせました。気合を入れる為には、問題ないですよね？

**Q 2** 勝敗を決めるのは、最後は精神力です。最後に勝てる強い選手を育てる為、限界を超えるくらいの練習をさせることは、問題ないですよね？

**事例1** ある指導者は、試合で負けると、人が変わったように不機嫌になり、次の練習時に、腕立て伏せ千回、スクワット千回、打ち込み千回等の、過度な練習をさせるので、生徒や保護者は怪我をしないかととても不安だが、怖くて言いだせない。

**事例2** ある指導者は、なかなか技の要領を覚えられない生徒に対していらだちを隠せず、「ろくに柔道の稽古ができないやつは、グラウンドでも走っている」とつきはなし、その後3時間もランニングを続けさせた。夏の暑い日で、あやうく熱中症になるところだった。



**Answer** ただ単に「精神力を高める」「根性をつける」等のために、厳しい稽古・長時間の練習を強いることは、パワハラというべきレベルだと考えられます。「過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高めること」をよく理解し、「柔道の特性等を踏まえた科学的指導法」を学んだ上で、個人差等にも配慮して練習メニューを設定しましょう。指導者は最新の指導法を学び、選手が競技として柔道をしている間だけでなく、競技を終えた後も「生涯柔道」を楽しむことができるような指導を心掛けましょう。

## 合理的な理由なく、程度の低いことをさせる、活動をさせない等の行為(1人だけ別メニューも含む)

**Q 1** 指導方針にいちいち異を唱える選手に対し、「私の方針に反対なら、何もするな」と言い、見取り稽古だけにしました。問題ないですよね？

**Q 2** ちょっとしたことでもケガをしたといってくる選手がいます。煩わしいので、「元立ち」や「投込み」はさせません。問題ないですよね？

**事例1** ある柔道部では、選手の練習にのぞむ態度が少しでも気に入らないと、「もう何もしなくていい」「道場の隅で正座でもしてろ」「帰れ」「道場の外に出て入ってくるな」と冷たく言い放つ為、練習の雰囲気が悪くなり、みんな徐々にやる気を失っている。

**事例2** ある指導者は、指導に従わない道場生に対し、みんなが見ている前で「俺の言うことが聞けないなら、道場から出ていけ」と追い出したきり、その後何のフォローもしなかった。



**Answer** 合理的な理由なく、「仲間とは違う程度の低いメニューを行わせる」「活動をさせない」等の行為は、「いじめ」「仲間外れ」に類する行為でパワハラとなります。また、「人間関係からの切り離し」に近い性質も持っています。どうしても、ある選手だけを別メニューにする必要がある時は、「どうして、その選手だけが違う練習をしなければならないのか」、その理由を本人だけでなく仲間にも丁寧に説明し、全体が納得した上で行うようにしましょう。



私的事項に過度に立ち入ること。家族関係・恋人の有無・休日の予定等、私的領域に踏み込む行為

- Q1 選手の生活を正しく管理することは、指導者の大事な役割です。プライベートなこともすべて知っておく必要があるのではないですか？
- Q2 試合で結果が出ない選手に対して、柔道の邪魔になる「男女交際」をやめるように言いました。問題ないですね？

- 事例1 ある先輩が、柔道部の上下関係を利用して、新入生のプライバシー（恋人、家族関係など）に立ち入ってきて、いろいろなことを言うので後輩たちは皆まいている。
- 事例2 ある指導者は、必ず親の職業を聞きだし、職によっては自分に便宜を図るように仕向けさせるので評判が悪い。



**Answer** 上司と部下、教師と生徒、先輩と後輩、指導者と教え子等の関係性において、「私的事項に過度に立ち入る」といったことが起こることがあります。柔道の指導とは全く関係がないのに、立場を利用して、家族関係、恋愛関係、休日の予定等のプライベートなことについて詮索することは、ハラスメントとなります（その行為が、男女関係に発展させることを意図したものであればセクハラ）。また、個人情報相手を許可なく漏洩することは違法な行為となる場合があります。「立場を利用して、無意識にプライバシーを詮索していることもある」ということを意識して行動しましょう。

当事者の意に反した性的な性質の言動を行うこと。それによって一定の不利益を与えたり、活動環境を悪化させること

- Q1 「胸が大きいな」「ケツでかいな」等は、単なる冗談の一つです。大丈夫ですね？
- Q2 女子選手は、生理の関係で調子に影響が出ます。選手の生理について把握し、状況を知る為に、常に質問しても問題ないですね？
- Q3 選手とマッサージしながら会話することで、体調管理を行なうとともにコミュニケーションをとっています。異性ですが、問題ないですね？

- 事例1 ある指導者が教え子に対し、寮や合宿中に「わいせつ行為」を繰り返した。
- 事例2 Tシャツの上から胸をじろじろ見てきて、「下着が透けてるぞ」などと言ってくる。
- 事例3 寝技などの練習中、不必要にお尻や胸を触ってくる。
- 事例4 試合中、柔道衣が汗で濡れて透けていたり、Tシャツの首の部分が伸びている時を狙って写真を撮ってくる。



**Answer** セクハラとは、「相手を不快にする、性的な言動」のことです。その行為が性別や意図的であるなしに関わらず、被害者や周りの人にとって不快なものであれば、セクハラとなります。柔道界では、時に指導者が選手に対して「絶対的権力」を有している状況が見られます。その関係性から、寮生活、合宿や遠征等で多くの時間と空間を共有する中、指導を口実とした身体接触（稽古中不必要に尻や胸を触る/無資格者によるマッサージや、密室の空間に2人きりになる等）が当然のことのように行われている現状があるのです。柔道にたずさわる人々が、安全に楽しく活動できるように、「柔道界においてセクハラは絶対に許さない」という強い姿勢を社会に示していきましょう。

## 生徒間の暴力・指導者/関係者の黙認・指導者の指示による学生間の暴力・私的交流におけるトラブル

- 事例1 生徒間の暴力・指導者の黙認**－校内、道場、寮で上級生から下級生へ殴る、蹴る等の暴力や恐喝行為が繰り返されていた。
- 事例2 パワハラ・体罰が行われている場に居ながら、制止せず傍観**－問題行動があった生徒に対し、ある指導者が、稽古中に「叩きつけるような投げ方」「故意に絞め落とし気を失ったところをビンタ」等を行った。副顧問も稽古に参加していたが、制止せず傍観していた。
- 事例3 指導者の指示による学生間の暴力**－ある大学指導者が先輩部員に対し、遅刻するなど生活態度が悪い部員を厳しく指導しろと指示した。先輩部員は、練習でしごき（殴る、蹴る、絞め落とす等）、私生活でも暴力が常態化した。
- 事例4 柔道関係者の私的交流におけるトラブル**－県の柔道行事のあと飲食、二次会で行きつけのスナックに行った。Aが言葉遣いを叱責したところ、Bが従わず口論となり、Bが首筋を掴みかかる等の行動に出て、Aも相手の顔面を殴る等の暴力を加えた。



**Answer** 「あらゆる暴力やハラスメントは、しない・させない・許さない」という強い意識を常に持って指導に当たることが大切です。自身が気を付けるだけでなく、コンプライアンスに問題のある行動を見かけたら、黙認や隠ぺいをせず改善に向けた適切な行動をしましょう。指導者・選手・関係者全員が、「暴力や暴言は許されない」ということをしっかりと認識し、自由に意見を言い合うことのできる組織、チーム・環境を作ることを心掛けましょう。

## ご相談窓口

全日本柔道連盟ホームページ(<https://judo.or.jp>)から「全柔連について」→「ご相談窓口」へ進んでください。

### 都道府県柔道連盟(協会)

都道府県柔道連盟に関することは、都道府県窓口担当者にご相談ください。

### 全日本柔道連盟「柔道目安箱」

- ☐ **対象者**：どなたでもご利用できますが、内容によって、全日本柔道連盟が対応する場合と都道府県柔道連盟が対応する場合があります。
- ☐ **受付方法**：封書またはメール  
※全柔連HPの「ご相談窓口」から「柔道目安箱」を選択し、「**投稿フォーム**」に記入してご送付ください。  
(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- ☐ **郵送先**：〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 全日本柔道連盟 倫理推進室「柔道目安箱」係
- ☐ **メール送付先**：rinri@judo.or.jp

### 全日本柔道連盟「内部通報制度(コンプライアンスホットライン)」

- ☐ **対象者**：全柔連登録会員、全柔連及び加盟団体の役職員
- ☐ **受付方法**：封書またはメール  
※全柔連HPの「ご相談窓口」から内部通報制度(コンプライアンスホットライン)を選択し、「**受付表**」に記入してご送付ください。窓口は2ヶ所あります。(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- ☐ **郵送先**：〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-8 弁護士ビル 807 号  
あたらし橋法律事務所 赤堀文信弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- ☐ **メール送付先**：akahori@atarashibashi.com
- ☐ **郵送先**：〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-7 赤坂光陽ビル 5 階  
山田・尾崎法律事務所 山田奈美香弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- ☐ **メール送付先**：n.yamada@yamada-ozaki.com





国際柔道連盟（IJF）が運営する「JUDO TV」で  
IJFワールド柔道ツアーを楽しもう！

大会のライブ配信、結果速報、選手のプロフィール  
などの情報を無料でご覧いただけます。  
プレミアム会員でアーカイブ映像や広告なしでの視聴  
も可能です。みなさんの応援が選手の力になります！



日本限定のプレミアム会員  
割引コードは  
全柔連ホームページにて！  
（年間100€⇒90€に割引）



▲アカウント登録方法はこちら



# NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、  
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

## 『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、  
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、  
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



Japanese  
Olympic  
Committee





# 2024-25 年 国内国際大会日程表

2024.4.15 現在

月	日付	国内大会	日付	国際大会
1	20～21	日本ベテランズ国際大会（講道館）	26～28	グランプリ リスボン（ポルトガル）
2	24～25	全日本シニア体重別選手権大会（堺市・大浜だいしんアリーナ）	2～4	グランドスラム パリ（フランス）
			16～18	グランドスラム バクー（アゼルバイジャン）
3	19～20	全国高等学校選手権大会（日本武道館）	1～3	グランドスラム タシケント（ウズベキスタン）
			8～10	グランプリ リンツ（オーストリア）
	23～24	全国中学生大会（横浜武道館）	22～24	グランドスラム トビリシ（ジョージア）
			29～31	グランドスラム アンタルヤ（トルコ）
4	6～7	全日本選抜体重別選手権大会（福岡国際センター）		
	21	全日本女子選手権大会（横浜武道館）		
	29	全日本選手権大会（日本武道館）		
5	4～5	全国少年大会（講道館）	3～5	グランドスラム ドゥシャンベ（タジキスタン）
			10～12	グランドスラム カザフスタン（カザフスタン）
			19～24	アブダビ世界選手権大会（UAE）
6	1	全日本形競技大会（講道館）		
	8～9	全日本実業団体対抗大会（長浜市・長浜伊香ツイナアリーナ）		
	22～23	全日本学生優勝大会（日本武道館）		
7	22～24	金鷲旗高校大会（照葉積水ハウスアリーナ）	27～8/3	パリオリンピック（フランス）
8	4	全日本少年少女武道錬成大会（日本武道館）		
	4	全国高等学校定時制通信制大会（講道館）		
	10～14	インターハイ柔道競技（大分市・レジナック武道スポーツセンター）		
	20～23	全国中学校柔道大会（佐久市・長野県立武道館）		
	25	全日本小学生育成プロジェクト（横浜武道館）		
	31～9/1	全日本実業個人選手権大会（尼崎市・ベイコム総合体育館）	28～9/1	世界カデ選手権大会（チリ）
9	3	全国警察選手権大会（日本武道館）	5～7	パリパラリンピック（フランス）
	7～8	全日本ジュニア体重別選手権大会（群馬・高崎アリーナ）	13～15	グランプリ ザグレブ（クロアチア）
	22	マルちゃん杯全日本少年大会（東京武道館）		
10	5～6	全日本学生体重別選手権大会（日本武道館）	2～6	ドゥシャンベ世界ジュニア選手権大会（タジキスタン）
	12～14	国民スポーツ大会柔道競技（SAGAサンライズパークSAGAアリーナ）	18～20	グランドスラム アブダビ（UAE）
	22	全国警察大会（日本武道館）		
	19～20	全日本学生体重別団体優勝大会（尼崎市・ベイコム総合体育館）		
11	2～3	講道館杯全日本体重別選手権大会（群馬・高崎アリーナ）	4～7	ラスベガス世界ベテランズ選手権大会（アメリカ）
	23	全日本産業別大会（講道館）	9～10	ラスベガス世界形選手権大会（アメリカ）
12	14	文武両道杯全国高校大会（講道館）	7～8	グランドスラム 東京（東京体育館）
1				
2	22～23	全日本シニア体重別選手権大会（堺市・大浜だいしんアリーナ）		
3	19～20	全国高等学校選手権大会（日本武道館）		
	22～23	柔道マガジン杯全国中学生大会（横浜武道館）		

◎…主任

○…副主任

## 総務部

総務係

◎郷田 博史

○黒田 正人

○大辻 広文

○向井 幹博

黒田 正人

大辻 広文

佐久間俊輔

倉科 理恵

高橋満智子

坂本芙美子

## 競技部

進行係

◎小池 雅彦

○渡辺 崇

南保 徳双

時計係

吉田 敏男

福地賢志郎

記録係

山岸 裕二

高橋 靖信

山田 恒平

薪谷 翠

技名称係

小坂 良行

村田 豊

田中このみ

放送係

津村 弘三

山本三四郎

VTR係

内海 秀一

福島 千紘

大型ビジョン係

鈴木 尊輝

橋上 葵

村井 暁音

選手係

野原 天虎

井上 英司

渋谷 海斗

沖田 旭燦

審判員係

松岡 圭一

前田 城治

西田 一幸

新井 栄二

大川 和也

高野 真

式典係

小林 樹青

関根 善晴

川下 裕一

田中 泰三

千品 洋一

総務係

石山 隆英

岩村 衝

時田瞳(兼)

蒲原光一(兼)

佐々木由美(兼)

前田徳重(兼)

関口 裕喜

小林 幹佳

城地 直輝

井上登志晴

杉並 伸勉

合田 基起

渡辺 崇

寺下 浩陽

## 広報部

広報係

◎大塚 由香

動画配信係

大塚 由香

田中 愛恵

時田 瞳

加納 幸喜

フランピエール

インフォメーションデスク

今川文也ジャスティン

小林幹佳(兼)

斎藤 康則

上田 晶子

岩永 憲門

## 接遇部

受付係

◎小志田恵一

○黒田 正人

○仮屋 力

来賓係

◎黒田 正人

高橋 秀明

市川 裕子

多田 美穂

増田沙由美

VIP控室係

有川 勇貴

西坂 朋子

大野 春美

高崎 康子

芦田 将輝

岩永 洸輔

食堂係

◎仮屋 力

○有川 勇貴

本橋端奈子

田中愛恵(兼)

時田瞳(兼)

蒲原 光一

片山 深雪

鈴木 綾子

高橋満智子

内藤 純子

櫻井千恵子

篠原 季帆

鐘ヶ江真裕美

市川やす子

## 会場部

場内整理警備係

◎長沼 太

○畠山 洋平

宮本 健司

渡辺 崇

竹村 誠司

下山 陽邦

藤中 拓馬

真境名元司

田崎 駿斗

佐々木由美

シミズオクト

## 財務部

経理係

◎加藤 弘人

プログラム販売係

◎金子 浩幸

籠谷 彩

三浦 健一

前田 徳重

チケットぴあ

◎前田 梨衣

笹原 綾香

## 雑誌柔道編集部

◎春日井淳夫

佐藤伸一郎

前川 直也

桐生 習作

鮫島 康太

竹園 隆浩

## 医療衛生部

救護係

◎渡辺 通平

救護補助係

◎柵山 尚紀

井汲 彰

立石 智彦

瀧澤 一裕

助川 悟志

金城 洋平

稲川 郁子

三浦 理沙

NFR

◎渡邊 紳一

リードDCO

◎古川 雅貴

DCO

野村 裕之

黒木 大輔

芦澤 拓郎

倉持 幸太

水島 浩平

選手招聘係

田中 嘉朗

村岡 大輔

田中 友幸

小西 マウロ貞次郎





阿部 一二三(パーク24株式会社)  
阿部 詩(パーク24株式会社)

新添 左季(自衛隊体育学校)  
永瀬 貴規(旭化成株式会社)

村尾 三四郎(ジャパニエレベーターサービスホールディングス株式会社)  
舟久保 遥香(三井住友海上火災保険株式会社)

角田 夏実(SBC湘南美容クリニック)  
素根 輝(パーク24株式会社)

斉藤 立(国士舘大学)  
橋本 壮市(パーク24株式会社)



**MIZUNO JUDO**

🌐 [mizuno.jp](http://mizuno.jp) ☎ 0120-320-799

※記載価格は消費税抜きのメーカー希望小売価格です



商品の詳細はコチラ





# Smiles for All.

すべては、笑顔のために。



東洋水産は全日本柔道連盟の  
オフィシャルサプライヤーです。

## 東洋水産は、 柔道を応援しています。

1986年より“マルちゃん杯少年柔道大会”を主催。年々規模を拡大し、現在では全国7地区にて開催。

また、2012年からは、全日本柔道連盟のオフィシャルサプライヤーとして、日本柔道の支援を行っています。



<https://www.maruchan.co.jp/>

【写真提供: オールスポーツコミュニティ <https://allsports.jp/>】



東洋水産